KAWAI

ご使用前の準備

ピアノを演奏する

レッスン機能を楽しむ

演奏を録音再生する

USBメモリーを使う

様々な設定を操作する

付録

DIGITAL PIANO
CN34
取扱説明書

このたびは、KAWAIデジタルピアノCN34をご購入
くださいまして、誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただ
くためにも、この取扱説明書をよくお読みになり、
大切に保管してくださいますようお願い申し上げます。

■ 付属品(お確かめ下さい)

- ☐ 保証書
- ☑ 取扱説明書(本書)
- ☐ カワイデジタルピアノ　ユーザー登録のご案内
- ☐ アフターサービスと音楽教室のご案内
- ☐ 楽譜集ご案内
- ☐「コンサートマジック曲集」注文払込用紙
- ☐ 木製高低自在椅子
- ☐ 電源コード
- ☐ ヘッドホン
- ☐ ヘッドホンフック
- ☐ スタンド組立図

はじめに

■ 取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（8ページ）からお読みください。各部の名称と機能や、電源コードの接続や電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、CN34をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録にはCN34の組立方法や音色一覧などの資料を見ることができます。

■ 表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、[　]で囲まれた文字は、ボタン名を表し、[PIANO 1]ボタン、のように表記します。

■ 本製品の特徴

本格的なピアノタッチを実現

弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地と優れた連打性能を備えたレスポンシブ・ハンマー・アクションII（RH II）鍵盤を搭載。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合いを備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）により、汗がついても滑りにくく心地よいタッチの感触が得られます。また、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を再現するレットオフフィールも搭載、細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイコンサートグランドピアノEX の音を余すことなく再現する、『88鍵ステレオサンプリング』

世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノEXの音を、88個の鍵盤一つ一つに丁寧に録音した秀逸の新ピアノ音を搭載、弱打から強打までのスムーズな音色変化や、和音の濁りが少なく減衰に伸びのあるリアルなピアノ音を再現することに成功しました。

また、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きを再現した「新ダンパーレゾナンス」や、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現した「ストリングレゾナンス」など、グランドピアノの音の響きをディテールまで表現する性能を備えています。

グランドピアノ のペダルの踏み心地を再現する、『Grand Feel Pedal System』

CN34は、新開発の「グランド フィール ペダル システム」を搭載しています。グランドピアノに3本あるペダル"ダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダル"これら全てのペダルの踏み心地を忠実に再現、グランドピアノに大きく近づきました。ダンパー・ペダルは従来同様、ハーフペダルに対応しています。

簡単に、お好みのピアノの状態へ調整可能な『コンサートチューナー』

CN34は、調律師が行う様々なピアノの調整を簡単に行う事が出来る「コンサートチューナー」機能を搭載しています。ダンパーペダル時の共鳴音（ダンパーレゾナンス）の音量や、グランドピアノで鍵盤が戻る時に発生する特有の音（キーアクションノイズ、キーオフエフェクト）の音量調整が可能です。これらの設定は、本体やUSBメモリーに保存することによりいつでも再現することが可能です。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

■ 製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」にある、お近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

⚠警告

100V 以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

本機を分解、修理、改造しない

この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない

故障・感電・発火の原因になります。

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

故障の原因になります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。

電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

指をはさまれないよう注意

鍵盤蓋で指などをはさまないよう注意する

鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

持ち運びは2人で行う

電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

使用しない

イスは次のように使用しない

- **イスを不安定な場所に置かない**
- **イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない**
- **イスには2人以上で座らない**
- **イスに座ったまま高さ調節をしない（調節機能付きの場合）**
- **ネジの緩んだイスに座らない**

イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

タコ足配線禁止

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない	色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

＊お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■ 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

はじめに 3
安全上のご注意 4
目次 6

ご使用前の準備

各部の名称とはたらき 8
電源を入れる / アジャスターの調整 10
鍵盤蓋を開ける / 閉める 11
譜面立てを利用する 11
音量を調整する / ヘッドホンを使う 12

ピアノを演奏する

いろいろな音色を楽しむ 13
ペダルを使う 14
デモ曲を聴く 15
2つの音色を重ねる（デュアル） 16
2つの音色を並べる（スプリット） 18
連弾演奏する（4ハンズモード） 20
音に効果を加える 22
1 リバーブ 22
2 エフェクト 24
パネル・ロック 26
タッチカーブ 27
移調する（トランスポーズ） 28
コンサートマジックを楽しむ 30
1 コンサートマジックとは？ 30
2 コンサートマジックを演奏しよう 31
3 コンサートマジック曲を聴いてみよう 32
メトロノームを使う 33
パネル設定を記憶する（レジストレーション） 35

レッスン機能を楽しむ

レッスン機能を楽しむ 37
1 練習したい曲を選ぶ 37
2 練習曲を聴く 38
3 練習曲の途中から聴く / 片手で練習する / テンポを変更する 39
4 フレーズを指定して練習する 40
5 練習曲に合わせて録音する 41

演奏を録音再生する

Int.（内部ソング）レコーダー 42
1 本体のメモリーに録音する 42
2 内部ソングを聴く 44
3 録音済みのパートを消去する 46
USBレコーダー 47
1 オーディオファイルを録音する 47
2 オーディオファイルを聴く 49
3 MIDIファイルを録音する 51
4 MIDIファイルを聴く 53
5 内部ソングをオーディオファイルにする 55
6 USBメモリー内のファイルを消去する 56

USBメモリーを使う

USBメモリーの接続 57
USBメニューについて 58
1 内部ソングをロードする 59
2 レジストレーションをロードする 60
3 SMF（MIDIファイル）形式で保存する 61
4 内部ソング形式で保存する 62
5 レジストレーションを保存する 63
6 ファイル名を変更する 64
7 ファイルを消去する 65
8 フォーマット（初期化）する 66

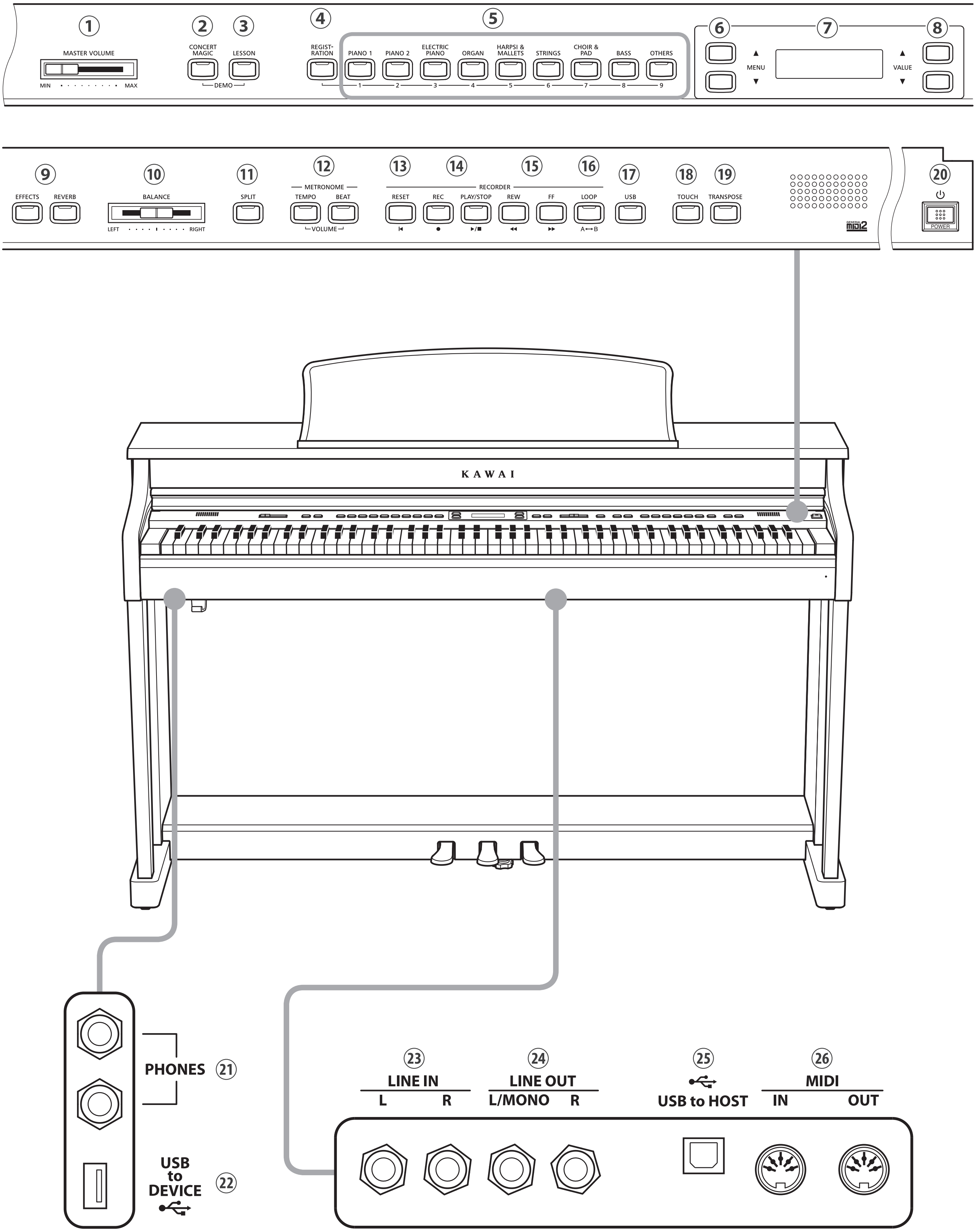
様々な設定を操作する

設定メニューについて 67
ベーシックセッティング 68
1-1 全体の音質を変える（イコライザー）... 69
1-2 スピーカーボリューム 71
1-3 ヘッドホンボリューム 72
1-4 ラインアウトボリューム 73
1-5 オーディオ録音レベル 74
1-6 チューニング 75
1-7 ダンパーホールドのON/OFF 76
1-8 4ハンズモードのON/OFF 77
1-9 ユーザーメモリーの使い方 78
1-10 ファクトリーリセットの使い方 79
1-11 表示言語の設定 79
コンサートチューナー 80
2-1 ダンパーレゾナンス 81
2-2 ストリングレゾナンス 82
2-3 キーオフエフェクト 83
2-4 キーアクションノイズ 84
2-5 音律の設定 85
音律の主音の設定 86
キーセッティング 87
3-1 ロワーオクターブシフト 88
3-2 ロワーペダルのON/OFF 89
3-3 レイヤーオクターブシフト 90
3-4 レイヤーダイナミクス 91
MIDIセッティング 92
MIDIについて 92
4-1 MIDI送受信チャンネル 94
4-2 プログラムナンバー送信 95
4-3 ローカルコントロール 96
4-4 プログラムナンバー送信のON/OFF ... 97
4-5 マルチティンバーモード 98
チャンネルミュート 99
USB MIDIについて（to HOST端子） 100
電源オン / オフの設定 101
5-1 電源セッティング（オートパワーオフ）..... 101

付録

他の機器との接続 102
困ったときは？ 103
デモ曲一覧/レッスン曲一覧 104
コンサートマジック曲目一覧 105
送受信プログラムナンバー一覧 106
ドラム音色一覧 115
リズム一覧 118
CN34の組み立て方 119
主な仕様 122
MIDIエクスクルーシブデーター覧 123
MIDIインプリメンテーションチャート 124

各部の名称とはたらき



① MASTER VOLUME
MIN MAX
② CONCERT MAGIC
③ LESSON
DEMO
④ REGIST-RATION
⑤ PIANO 1
PIANO 2
ELECTRIC PIANO
ORGAN
HARPSI & MALLETS
STRINGS
CHOIR & PAD
BASS
OTHERS
1 2 3 4 5 6 7 8 9
⑥ MENU
⑦
⑧ VALUE
⑨ EFFECTS
REVERB
⑩ BALANCE
LEFT RIGHT
⑪ SPLIT
⑫ METRONOME
TEMPO
BEAT
VOLUME
RECORDER
⑬ RESET
⑭ REC
⑮ PLAY/STOP
REW
FF
⑯ LOOP
A↔B
⑰ USB
⑱ TOUCH
⑲ TRANSPOSE
⑳ POWER
KAWAI
PHONES ㉑
USB to DEVICE ㉒
㉓ LINE IN
L R
㉔ LINE OUT
L/MONO R
㉕ USB to HOST
㉖ MIDI
IN OUT

①［MASTER VOLUME］（マスターボリューム）スライダー
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。
※ラインアウトには効きません。PA機器等に接続して使用する場合、ラインアウトの音量はそのままに内蔵スピーカーの音量を調節できます。ラインアウトの音量変更については73ページを参照してください。

②［CONCERT MAGIC］（コンサートマジック）ボタン
コンサートマジックモードに入る際に使用します。

③［LESSON］（レッスン）ボタン
レッスンモードに入る際に使用します。

④［REGISTRATION］（レジストレーション）ボタン
音色やエフェクト等のパネル設定をあらかじめ記憶しておき、ボタン操作ひとつで簡単にお好みの設定を呼び出して演奏することができます。

⑤音色ボタン
音色を選択するボタンです。1つの音色ボタンに、複数の音色が割り当てられており、再度同じボタンを押すことで他の音色が選べます。
押されたボタンに赤のランプが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

⑥［MENU］（メニュー）ボタン
設定や機能の設定など様々な場面で使用します。

⑦ディスプレイ
音色名を表示したり、いろいろな機能を使うときに値や状態などを表示したりします。
※ディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用下さい。

⑧［VALUE］（バリュー）ボタン
表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へ移動したり、値の変更など様々な場面で使用します。

⑨［EFFECTS］（エフェクト）/［REVERB］（リバーブ）ボタン
エフェクト、リバーブ機能の選択、またはオン/オフを設定します。

⑩［BALANCE］（バランス）スライダー
デュアル演奏、スプリット演奏などの際に使用し、音のバランスを調整します。

⑪［SPLIT］（スプリット）ボタン
スプリット演奏、4ハンズモード（連弾演奏）を使う際に使用します。

⑫［METRONOME］（メトロノーム）ボタン
メトロノーム音を鳴らしたり設定を変更します。

⑬［RESET］（リセット）ボタン
レコーダーの曲の頭出しに使います。

⑭［REC］（レック）/［PLAY/STOP］（プレイストップ）ボタン
レコーダーの録音/再生に使います。

⑮［REW］/［FF］ボタン
レコーダーの巻戻し/早送りに使います。

⑯［LOOP］（ループ）ボタン
レコーダー曲の一部分を繰り返し再生できます。

⑰［USB］（ユーエスビー）ボタン
USBモードに入る際に使用します。

⑱［TOUCH］（タッチ）ボタン
鍵盤を弾く強さと音量の関係を設定します。

⑲［TRANSPOSE］（トランスポーズ）ボタン
弾き方を変えずに簡単に移調することができます。

⑳［POWER］（パワー）スイッチ
電源をオン/オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。
※CN34は節電のため、自動的に電源をオフするオートパワーオフ機能を備えています。（→101ページ）

㉑［PHONES］（ホーンズ）端子
ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2つまで接続できます。

㉒［USB to DEVICE］（ユーエスビーデバイス）端子
USBメモリーやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、CN34で録音した曲をUSBメモリーに保存することもできます。

㉓［LINE IN］（ラインイン）端子
他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子とこの端子を接続すると、CN34の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力することができます。

㉔［LINE OUT］（ラインアウト）端子
CN34の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

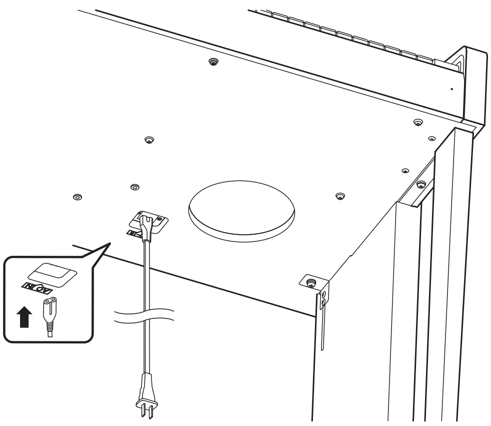
㉕［USB to HOST］（ユーエスビーホスト）端子
市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

㉖［MIDI IN / OUT］（ミディインアウト）端子
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

電源を入れる / アジャスターの調整

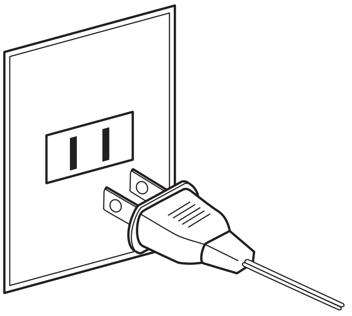
1. 電源コードを本体に接続する

付属の電源コードを、本体底面に差し込みます。



2. 電源コードをコンセントに接続する

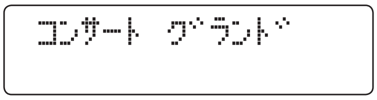
電源コードをAC100V のコンセントに差し込みます。



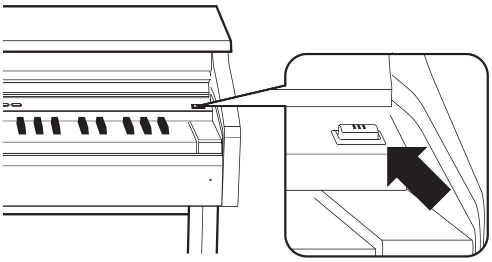
3. 電源を入れる

［POWER］スイッチを押して電源をオンにします。

［POWER］スイッチを押すと音色ボタンの［PIANO 1］が点灯し、LCD ディスプレイに「コンサートグランド」と表示されます。また電源ランプも点灯します。

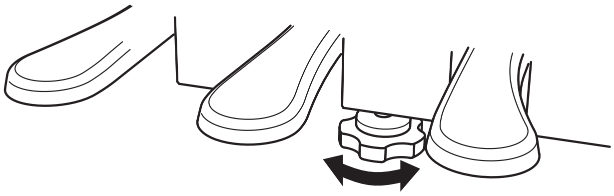


電源を切るときは、もう一度［POWER］スイッチを押します。画面の表示が消え、ボタン・電源ランプも消灯します。



■ アジャスターを調整する

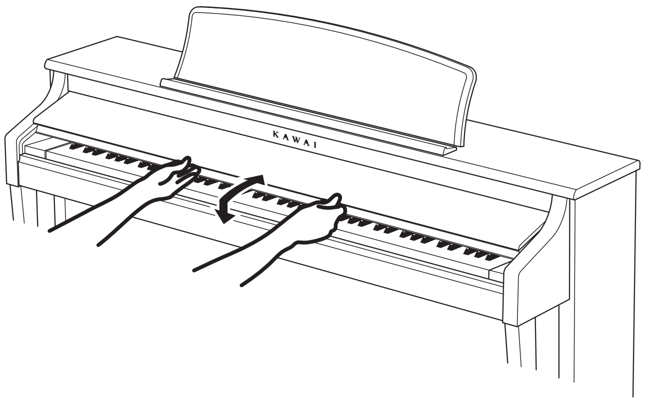
ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。



鍵盤蓋を開ける / 閉める

■ 鍵盤蓋を開ける

取っ手を両手で軽く持ち上げ、奥に押し込みます。



■ 鍵盤蓋を閉める

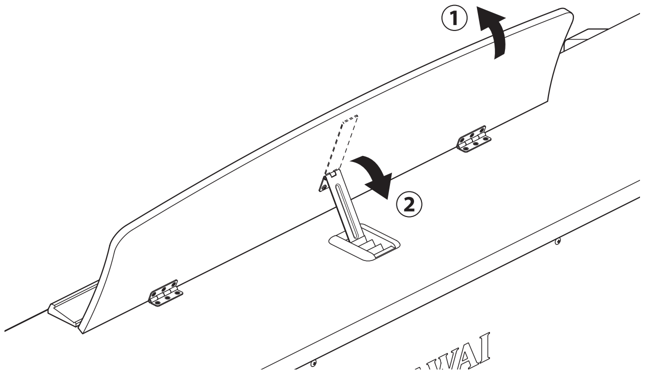
取っ手を両手でゆっくりと手前に引き、下へ静かに降ろします。

* 鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

譜面立てを利用する

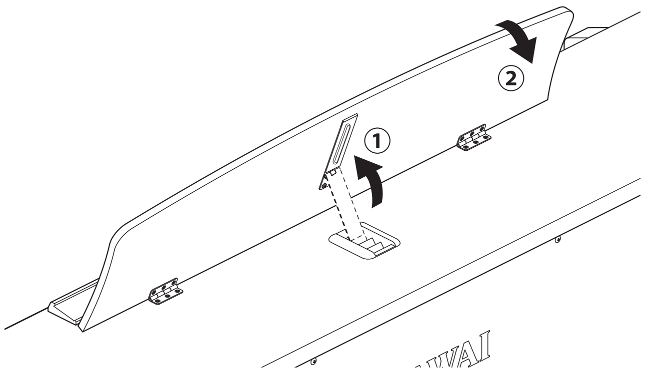
■ 譜面立てを起こす / 角度を調整する

① 譜面台を手前に起こします。
② 譜面台金具を金具ホルダーのお好みの場所に設置します。
（角度は3段階に調整することができます。）



■ 譜面立てを倒す

① 金具を起こします。
② 譜面立てをゆっくりと倒します。



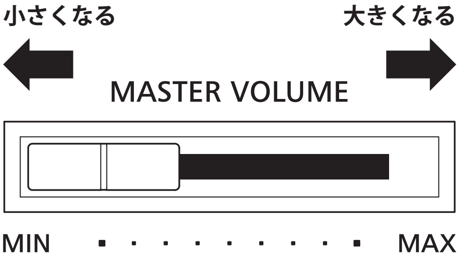
音量を調整する / ヘッドホンを使う

■ 音量を調整する

本体右にある[MASTER VOLUME]スライダーで音量を調整します。右側に動かすと音量が大きくなり、左側に動かすと小さくなります。

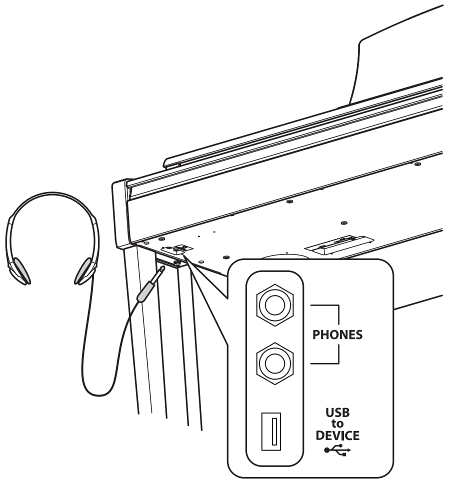
実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。

* [MASTER VOLUME]スライダーでは[LINE OUT]端子の出力レベルは調整できません。ラインアウトボリューム設定（73ページ）にて行ってください。



■ ヘッドホンを使う

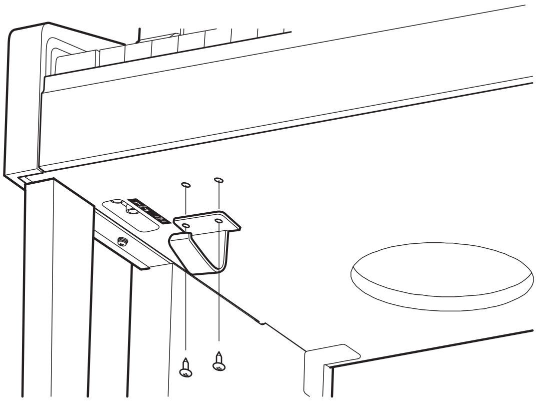
ヘッドホンを[PHONES]端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。



■ ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。

ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。



いろいろな音色を楽しむ

CN34にはたくさんの音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色はそれぞれ音色ボタンに割り当てられています。

［OTHERS］ボタンには20種類のカテゴリーに分けられた300音色が含まれています。

初期状態では、「PIANO 1 / コンサートグランド」の音色が選ばれています。

■ 音色名一覧

PIANO 1	
1	コンサート グランド
2	スタジオ グランド
3	メロー グランド
4	モダン ピアノ

PIANO 2	
1	コンサート グランド 2
2	スタジオ グランド 2
3	メロー グランド 2
4	ロック ピアノ

ELECTRIC PIANO	
1	クラシック E. ピアノ
2	モダン E. ピアノ
3	60'sエレクトリックピアノ
4	モダン E. ピアノ 2

ORGAN			
1	ジャズ オルガン	5	チャーチ オルガン
2	ブルース オルガン	6	ディアパソン
3	バラード オルガン	7	フル アンサンブル
4	ゴスペル オルガン	8	オクターブ ディアパソン

HARPSI & MALLETS	
1	ハープシコード
2	ハープシコード 2
3	ビブラホン
4	クラビ

STRINGS	
1	スロー ストリングス
2	ストリング パッド
3	ウォーム ストリングス
4	ストリング アンサンブル

CHOIR & PAD	
1	クワイア
2	クワイア 2
3	ニューエイジ
4	アトモスフィア

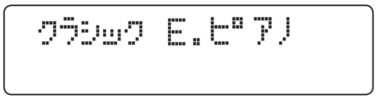
BASS	
1	ウッドベース
2	エレクトリック ベース
3	フレットレス ベース
4	ウッドベース & ライド

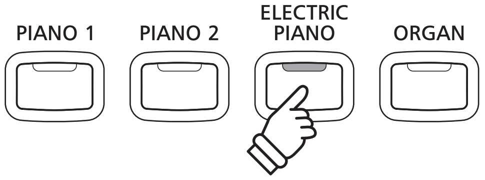
OTHERS
300音色

1. 音色ボタンを押して音色を選ぶ

選んだ音色ボタンが点灯し、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。鍵盤を弾いてみましょう。

ディスプレイには、現在選ばれている音色名が表示されます。



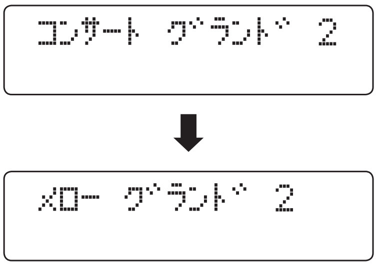


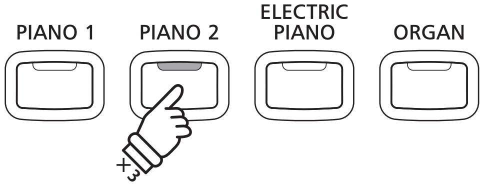
例：ELECTRIC PIANOカテゴリーを選びます。

2. 音色を変更する

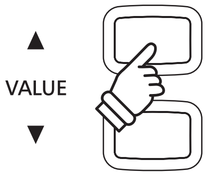
他の音色ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。

また選択されている音色と同じ音色ボタンを押すと、そのグループ内の次のバリエーションが選ばれます。





例：［PIANO2］ボタンを3回押して「メローグランド2」を選びます。

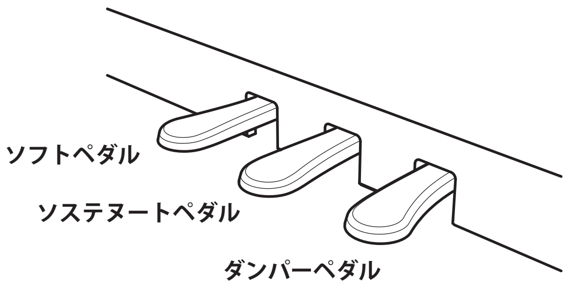


［VALUE］ボタンを押すと順番に音色を変更することができます。

一方の［VALUE］ボタンを押しながら他方の［VALUE］ボタンを押すことで、次のカテゴリーに移動することができます。

ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。



■ ダンパーペダル（右のペダル）

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます（ハーフペダル対応）。

■ ソステヌートペダル（中央のペダル）

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

■ ソフトペダル（左のペダル）

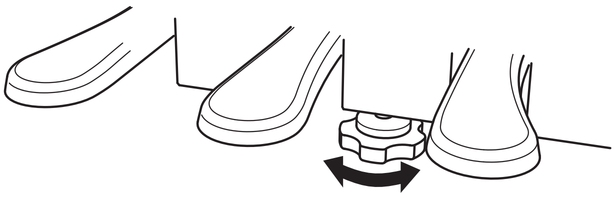
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

［EFFECTS］ボタン を押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード（Slow / Fast）を切り替えます。

* 音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

■ アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。



■ ペダルのお手入れについて

表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。シルバーペダルは、布で拭いても問題ありません。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

■ グランドフィールペダルシステムについて

CN34のペダルにはグランドフィールペダルシステムが搭載されています。従来のペダルより荷重が重く、3本のペダルそれぞれがよりグランドピアノEXに近い踏み心地となっています。

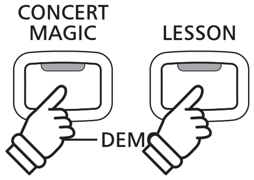
デモ曲を聴く

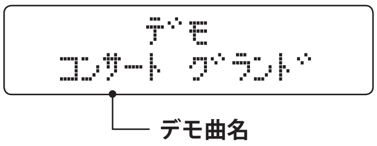
CN34には各音色ボタンごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。内蔵デモ曲についてはデモ曲一覧（104ページ）をご参照ください。

1. デモ曲の再生

［CONCERT MAGIC］ボタンと［LESSON］ボタンを同時に押します。

［CONCERT MAGIC］ボタンと［LESSON］ボタンが点灯し、ピアノ1の音色デモ曲が演奏されます。ピアノ1のデモ曲演奏後は、各音色のデモ曲が順不同で演奏されます。



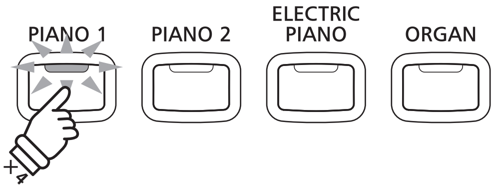


2. デモ曲を選ぶ。

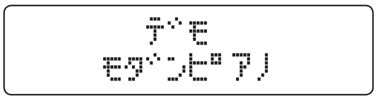
音色ボタンを押して聴きたいデモ曲を選びます。

選んだ音色ボタンが点滅して、デモ曲が再生されます。

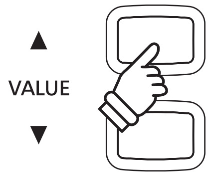
押した音色ボタンに含まれる曲が再生された後、他の音色のデモ曲が順不同に再生されます。



例：［PIANO1］ボタンを4回押して「モダンピアノ」デモを選びます。



また、［VALUE］ボタンでもデモ曲を選択できます。



3. デモ曲の停止

［CONCERT MAGIC］ボタンまたは［LESSON］ボタンを押します。

［CONCERT MAGIC］ボタンと［LESSON］ボタンが消灯し、デモ曲が止まります。

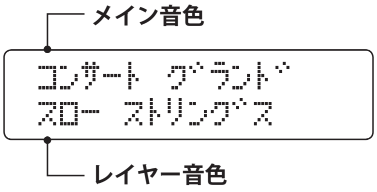
2つの音色を重ねる（デュアル）

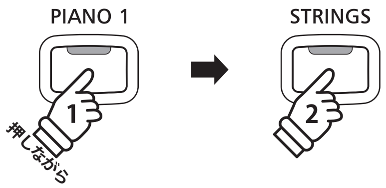
デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色が同時に発音されメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

1. デュアル演奏に入る

組み合わせたい音色の片方（メイン音色）を選び、その音色ボタンを押しながら、もう一方の音色ボタンを押して重ねる音色（レイヤー音色）を選びます。

両方のボタンが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。



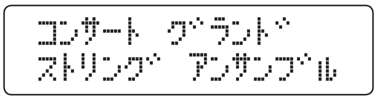


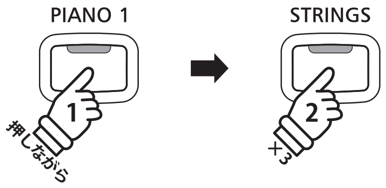
（例）［PIANO1］ボタンを押しながら［STRINGS］ボタンを押して、コンサートグランドとスローストリングスを組み合わせます。

2. デュアル演奏での音色変更

レイヤー音色のバリエーションを変更する：

メイン音色の音色ボタンを押しながら、レイヤー音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。

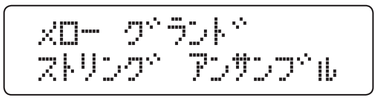


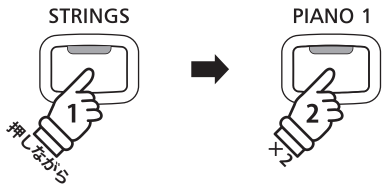


（例）［PIANO1］ボタンを押しながら［STRINGS］ボタンを3回押して、スローストリングスをストリングアンサンブルに変更します。

メイン音色のバリエーションを変更する：

レイヤー音色の音色ボタンを押しながら、メイン音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。

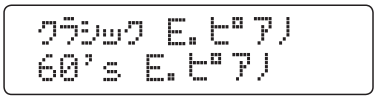


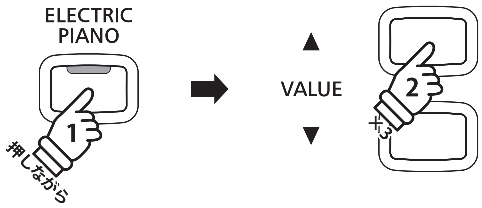


（例）［SRINGS］ボタンを押しながら［PIANO1］ボタンを2回押して、コンサートグランドをメローグランドに変更します。

同じボタンの音色を重ねる：

音色ボタンを押しながら、［VALUE］ボタンを押して、バリエーションを選びます。





（例）［ELECTRIC PIANO］ボタンを押しながら［VALUE ▲］ボタンを3回押して、クラシックE.ピアノと60'sエレクトリックピアノを重ねます。

* これらの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→35ページ、78ページ）

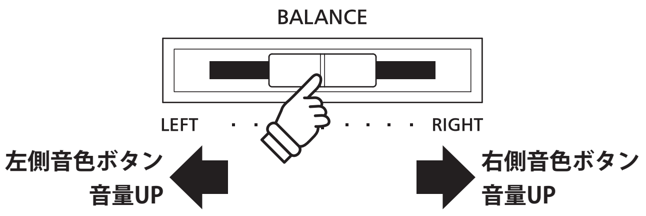
3. デュアルの音量バランスを調節する

スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調節することができます。

* 音量バランスの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→35ページ、78ページ）

* キーセッティングメニューの「レイヤーオクターブシフト」でレイヤー音色のオクターブを変更することができます。（→90ページ）

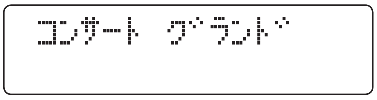
* キーセッティングメニューの「レイヤーダイナミクス」でレイヤー音色のタッチ変化の幅を変更することができます。（→91ページ）

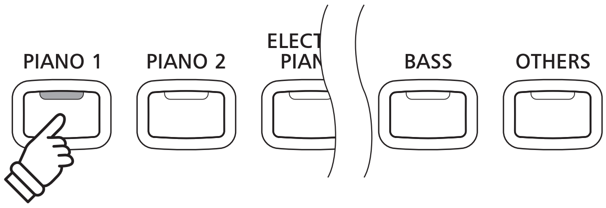


4. デュアル演奏を終了する

デュアル演奏の解除は、音色ボタンのいずれかを1つ押します。

押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。





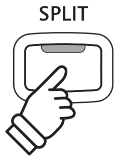
2つの音色を並べる(スプリット)

スプリット演奏とは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

1.スプリット演奏に入る

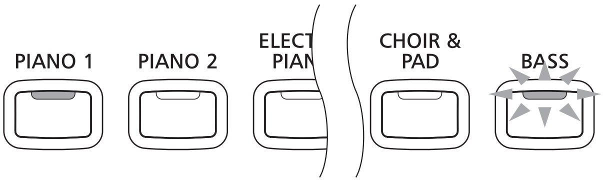
［SPLIT］ボタン を押します。

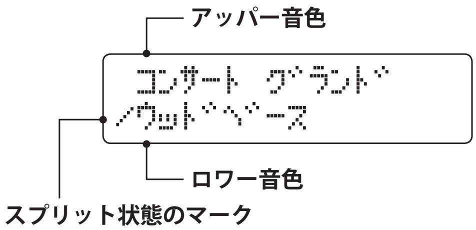
［SPLIT］ボタンが点灯し、鍵盤の音色がスプリットポイントで分割されます。



* スプリットポイントの初期値はC3(ド)に設定されており、鍵盤はB#3とC3の間で分割されます。

点灯している音色ボタンは、［SPLIT］ボタンを押す前に選ばれている高音側の音色(アッパー音色)、点滅している音色ボタンは、低音側の音色(ロワー音色)です。

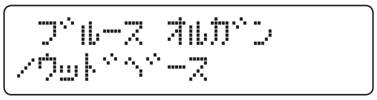


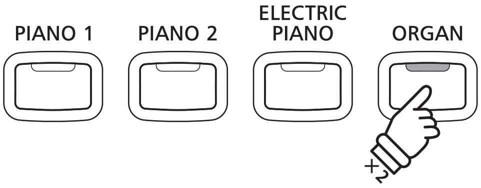


* 初期状態では、ロワー音色はウッドベースに設定されています。

2.高音側・低音側の音色変更

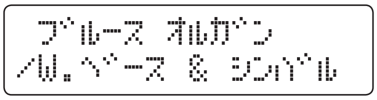
高音側の音色(アッパー音色)は、音色ボタンを押して変更します。

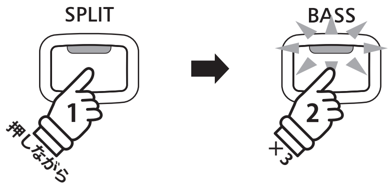




(例)［ORGAN］ボタンを2回押して、ブルースオルガンを選びます。

低音側の音色(ロワー音色)は、［SPLIT］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します





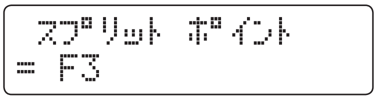
(例)［SPLIT］ボタンを押しながら［BASS］ボタンを3回押して、W.ベース＆シンバルを選びます。

* これらの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。(→35ページ、78ページ)
* キーセッティングメニューの「ロワーオクターブシフト」でロワー音色のオクターブを変更することができます。(→88ページ)
* キーセッティングメニューの「ロワーペダルセッティング」でロワー音色にペダルが効くか効かないかを設定することができます。(→89ページ)

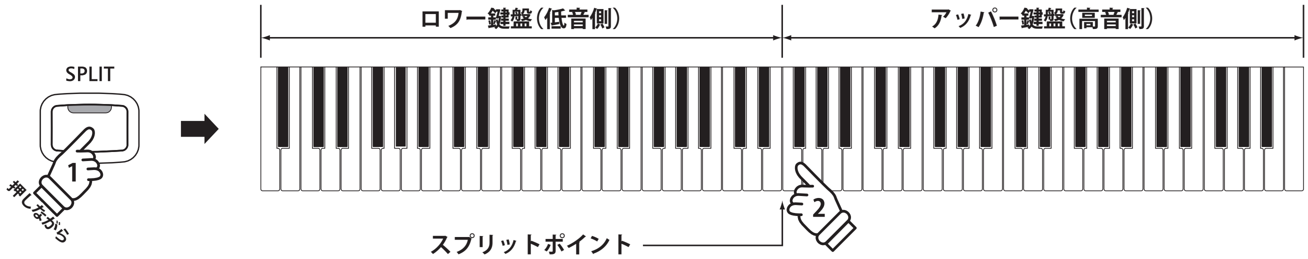
3. スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、［SPLIT］ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が高音側の最低音になります。

スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。



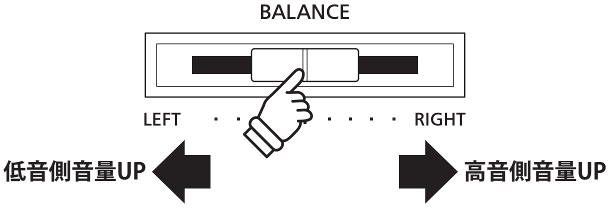
（例）［SPLIT］ボタンを押しながらF3（ファ）の鍵盤を押して、スプリットポイントをF3（ファ）に設定します。



4. スプリットの音量バランスを調整する

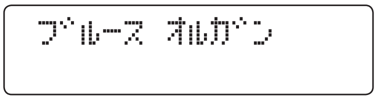
スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調節することができます。

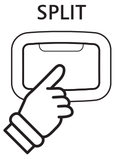
* 音量バランスの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→35ページ、78ページ）



5. スプリット機能をオフにする

スプリット演奏を解除する時は、再度［SPLIT］ボタンを押します。［SPLIT］ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。





ピアノを演奏する

連弾演奏する（4ハンズモード）

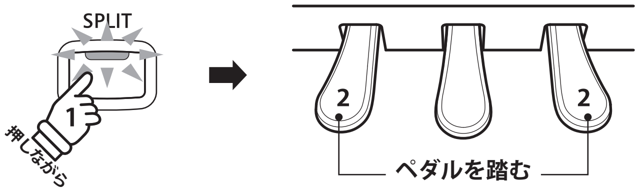
スプリットポイントを境にして右側と左側に鍵盤を分け、それぞれ同じ音域で演奏することができるので、2台のピアノのように連弾演奏を楽しむことができます。 初期状態の設定では、通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は2オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は2オクターブ上がります。鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

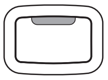
* 4ハンズモードはベーシックセッティング（77ページ）からでも入ることができます。

1. 4ハンズモードに入る

［SPLIT］ボタンを押しながらダンパーペダル（右ペダル）とソフトペダル（左ペダル）を踏みます。

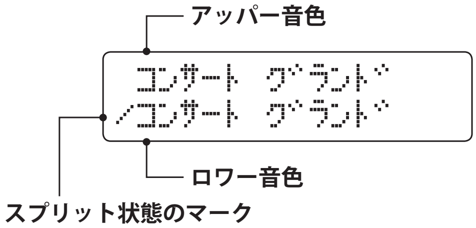
［SPLIT］ボタンが点滅し、4ハンズモードに入ります。





* 初期状態ではスプリットポイントはF3（ファ）に設定されており、鍵盤はE3とF3の間で分割されます。

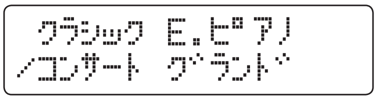
ディスプレイ上段に右側の音色（アッパー音色）、下段に左側の音色（ロワー音色）が表示されます。

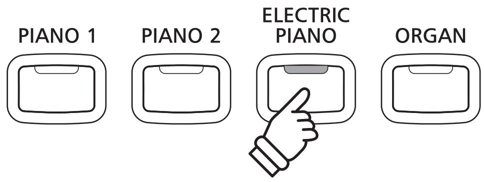


* 初期状態では、アッパー、ロワー音色ともにコンサートグランドに設定されています。

2. 右側・左側の音色変更

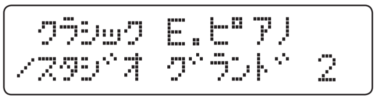
右側の音色（アッパー音色）は、音色ボタンを押して変更します。

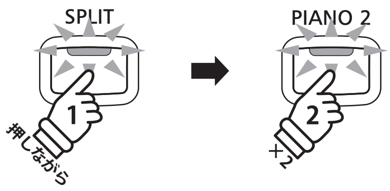




（例）［ELECTRIC PIANO］ボタンを押して、クラシック E. ピアノを選びます。

左側の音色（ロワー音色）は、［SPLIT］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します





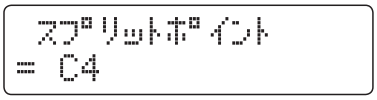
（例）［SPLIT］ボタンを押しながら［PIANO2］ボタンを2回押して、スタジオグランド2を選びます。

* 4ハンズモードの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→35ページ、78ページ）

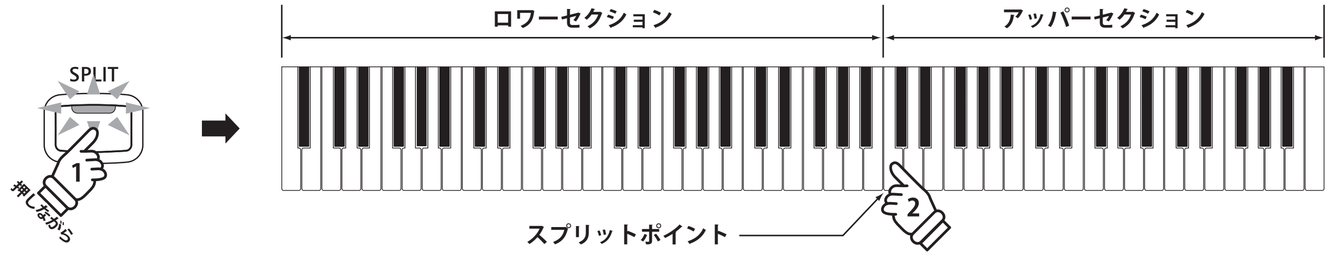
3.スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、［SPLIT］ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が右側の最低音になります。

スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。



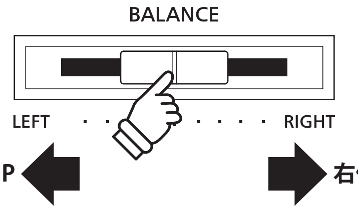
（例）［SPLIT］ボタンを押しながらC4（ド）の鍵盤を押して、スプリットポイントをC4（ド）に設定します。



4.4ハンズモードの音量バランスを調整する

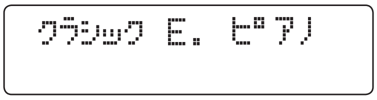
スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調節することができます。

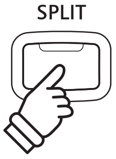
* 音量バランスの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→35ページ、78ページ）



5.4ハンズモードを抜ける

4ハンズモードを抜ける時は、再度［SPLIT］ボタンを押します。
［SPLIT］ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。





ピアノを演奏する

音に効果を加える

CN34は、効果（リバーブ/エフェクト）を加えて音の表情を変えることができます。これらの効果は、予め推奨の設定が音色ごとに用意されていますが、好みに合わせて変更・調節することができます。

これらの変更内容は、レジストレーションに記憶することができ（→35ページ）、また、ユーザーメモリーに記憶すれば、音色を選んだときの設定状態も保存できます（→78ページ）。

1 リバーブ

リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。CN34は6種類のリバーブを用意しています。

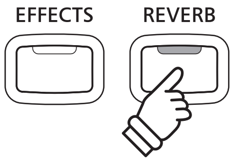
■ リバーブの種類

種類	効果
ルーム	室内で演奏しているような残響効果が得られます。
ラウンジ	ラウンジやロビーで演奏しているような残響効果が得られます。
スモールホール	小規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
コンサートホール	大規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
ライブホール	ライブホールやステージで演奏しているような残響効果が得られます。
カテドラル	大聖堂で演奏しているような残響効果が得られます。

1. リバーブのオン/オフ

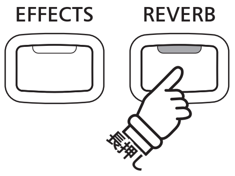
［REVERB］ボタンを押して点灯させるとリバーブ効果がかかり､画面に現在選択されているリバーブの種類が表示されます。

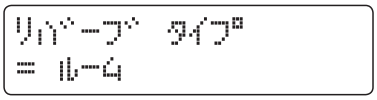
再度［REVERB］ボタンを押すと消灯し、リバーブ効果は解除されます。



2. リバーブの変更画面へ入る

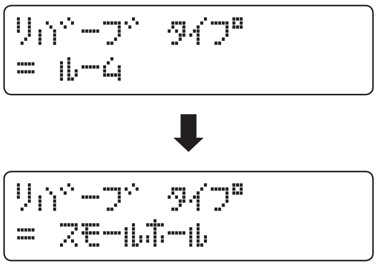
［REVERB］ボタンを長押しするとリバーブ変更画面が表示されます。

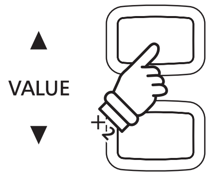




3. リバーブの変更

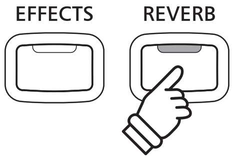
　リバーブ変更画面が表示されている間に［VALUE］ボタンを押すと、リバーブの種類が切り替わります。





（例）［VALUE▲］ボタンを2回押して、ルームをスモールホールに変更します。

　［REVERB］ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。



* 変更内容は、音色ごとに設定されます。
* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。
* 各音色の変更内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

2 エフェクト

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。エフェクトは、音に奥行き感や厚みを加える効果です。

CN34は13種類のエフェクトを用意しています。

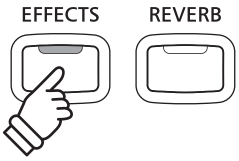
■ エフェクトの種類

種類	効果
コーラス	音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
クラシックコーラス	ビンテージのエレピに適したコーラスです。
ステレオディレイ	反射音を左右同時に出力します。
ピンポンディレイ	反射音を左右交互に出力します。
トリプルディレイ	反射音を中央、右、左と順に出力します。
トレモロ	音に"ゆらぎ"を与える効果です。
クラシックトレモロ	ビンテージのエレピに適したトレモロです。
フェイザー	位相変調を行い音にうねりを与えます。
ロータリー1	ロータリー(回転式)スピーカーを使って得られる効果です。 ソフトペダル(左のペダル)を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、音の聞こえる位置を周期的に変化させるオートパンと組み合わせた効果です。

1. エフェクトのオン/オフ

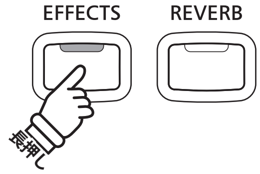
[EFFECTS]ボタンを押して点灯させるとエフェクト効果がかかり、画面に現在選択されているエフェクトの種類が表示されます。

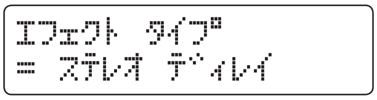
再度[EFFECTS]ボタンを押すと消灯しエフェクト効果は解除されます。



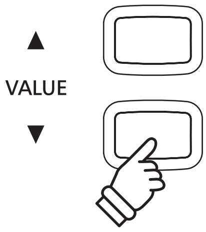
2. エフェクトの種類を変更する

[EFFECTS]ボタンを長押しするとエフェクト変更画面が表示されます。

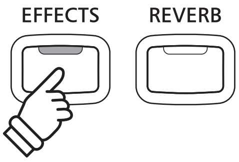




[VALUE]ボタンを押すと、エフェクトの種類が切り替わります。



［EFFECTS］ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。



* 変更内容は、音色ごとに設定されます。

* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。

* 各音色の変更内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

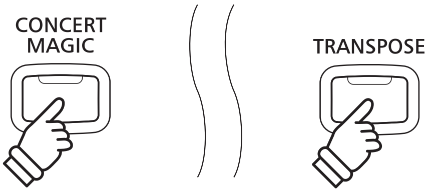
パネル・ロック

パネル・ロックは、演奏中の誤操作を防止する為に、鍵盤とペダル以外のボタンの機能を一時的にロックすることができます。

1. パネル・ロックをオンにする

［CONCERT MAGIC］ボタンと［TRANSPOSE］ボタンを同時に押して、パネル・ロックをONにします。

パネルロックオンのメッセージ画面が表示され、パネルのボタンがロックされます。



ﾊﾟﾈﾙ ﾛｯｸ
ｵﾝ

パネル・ロックがONになっているときパネルボタンを操作すると、次の画面が表示されます。

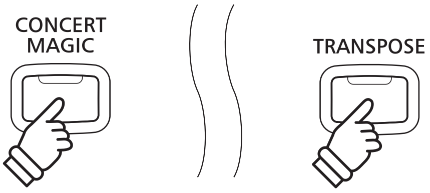
ﾊﾟﾈﾙ ﾛｯｸ
C.MAGIC+TRANS.

* 電源をオフにしてもパネルロックは解除されません。

2. パネル・ロックを解除する

［CONCERT MAGIC］ボタンと［TRANSPOSE］ボタンを、再度同時に押します。

パネルロックオフのメッセージ画面が表示され、ロックが解除されます。



ﾊﾟﾈﾙ ﾛｯｸ
ｵﾌ

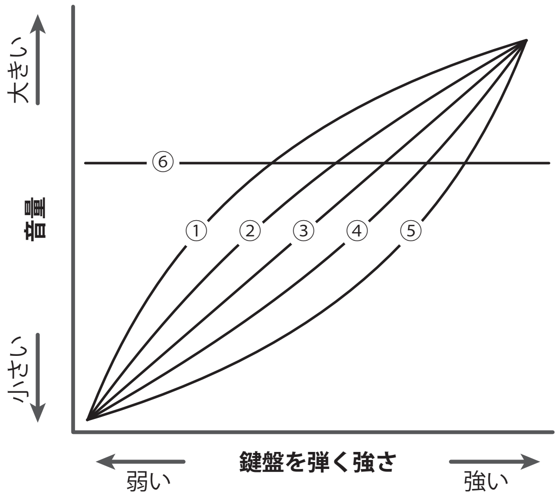
タッチカーブ

ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

CN34では、6種類のタッチカーブを搭載しています。

■ タッチカーブの種類

種類	効果
ライト＋	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
ヘビー＋	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。

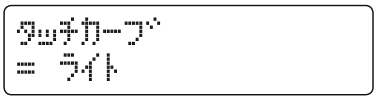


①	ライト＋
②	ライト
③	ノーマル
④	ヘビー
⑤	ヘビー＋
⑥	オフ

■ タッチカーブの設定を変更する

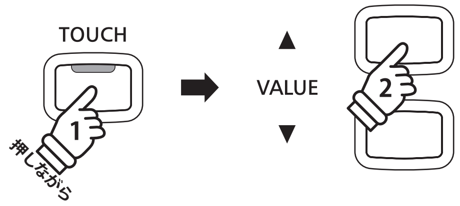
［TOUCH］ボタンを押しながら［VALUE］ボタンを押してタッチカーブの種類を選びます。

［TOUCH］ボタンが点灯し、ディスプレイに現在選ばれているタッチカーブの種類が表示されます。



ここで選択したタッチカーブは、［TOUCH］ボタンのランプが点灯時に有効になります。

［TOUCH］ボタンを押して消灯させると、ノーマルに設定されます。



* タッチカーブの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* タッチカーブの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。(→35ページ、78ページ)

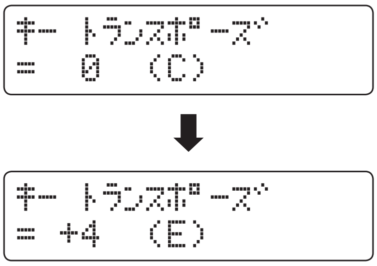
移調する（トランスポーズ）

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

■ 鍵盤を移調する（キー トランスポーズ）：方法1

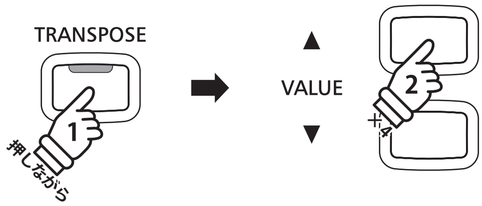
［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、［VALUE］ボタンを押して調節します。

移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

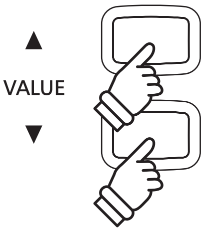


* 半音単位、上下1オクターブずつ（-12〜+12）の範囲で設定できます。

* 2つの［VALUE］ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。



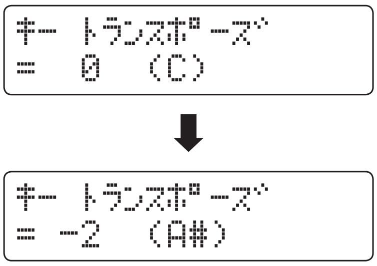
（例）［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、［VALUE▲］ボタンを4回押して移調を+4にし、音程を4半音上げます。



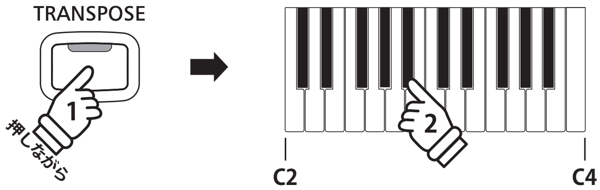
■ 鍵盤を移調する（キー トランスポーズ）：方法2

［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、C2〜C4の鍵盤を押して指定します。

移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。



* C2からC4（-12〜+12）の範囲で設定できます。



（例）［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、B♭2鍵盤を押して移調を-2にし、音程を2半音下げます。

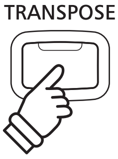
■ 鍵盤の移調（キー トランスポーズ）のオン/オフ

［TARANSPOSE］ボタンを押して、鍵盤の移調をオン/オフすることができます。

［TARANSPOSE］ボタンを消灯させると、鍵盤の移調がオフされます。

* 指定した鍵盤の移調の値は［TARANSPOSE］ボタンを消灯した後も、電源を切るまで保持されますので、その都度設定する必要はありません。

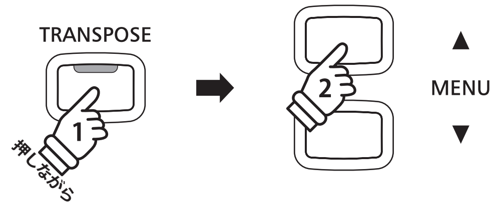
* 指定した鍵盤の移調の値は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）



USBから再生されるソング（SMFファイル）、内部レコーダーのソングを移調することができます。（デモ曲を移調することはできません。）

■ 曲を移調する（ソング トランスポーズ）

［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、［MENU］ボタンを押して、ソング トランスポーズを選びます。

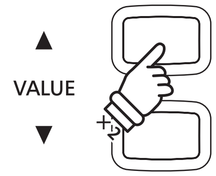


ソング トランスポーズ画面が表示されている間に［VALUE］ボタンを押して調節します。

```
ソング゛ トランスポ゜ース゛
=   0   (C)
```

↓

```
ソング゛ トランスポ゜ース゛
= +2   (D)
```



（例）ソング トランスポーズ画面で［VALUE▲］ボタンを2回押して移調を+2にし、音程を2半音上げます。

* 半音単位、上下1オクターブずつ（-12～+12）の範囲で設定できます。
* 2つの［VALUE］ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。
* 曲を選ぶと、移調の値は0にリセットされます。

コンサートマジックを楽しむ

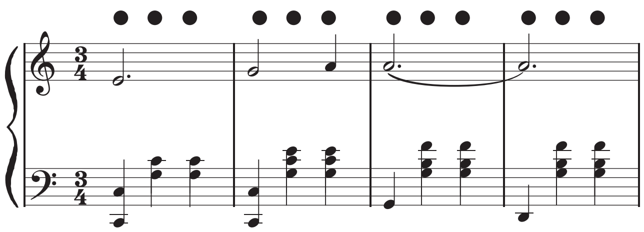
1 コンサートマジックとは？

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。CN34にはコンサートマジック曲を88曲内蔵しており、下記の3つのモードで演奏を楽しむことができます。曲名についてはコンサートマジック曲目一覧（105ページ）をご参照ください。

■ マジカルタクトモード

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

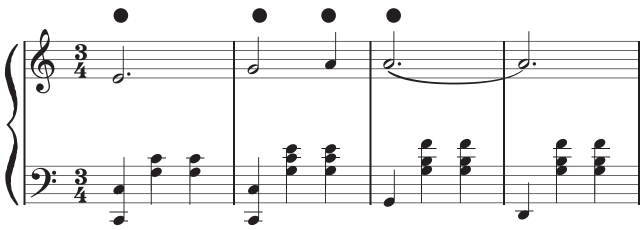
*「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。



■ マジカルメロディーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

*「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。

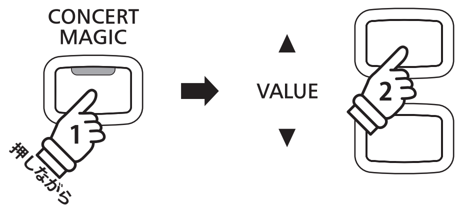


■ マジカルメロディー＆キーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。

■ モードの選びかた

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら［VALUE］ボタンでモードを変更します。



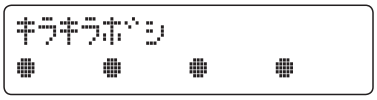
ピアノを演奏する

2 コンサートマジックを演奏しよう

ここでは、内蔵のコンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

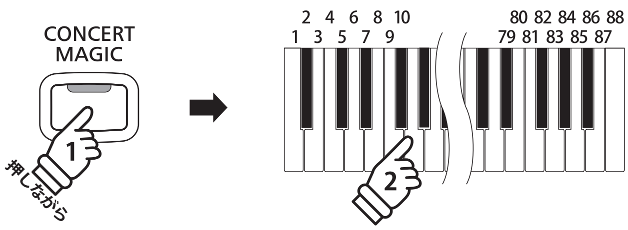
1. コンサートマジックモードに入る

［CONCERT MAGIC］ボタンを押します。
選ばれている曲名がディスプレイに表示されます。



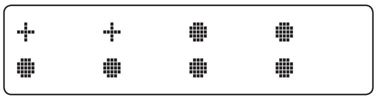
2. 曲を選択する

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら鍵盤を押します。88曲のコンサートマジック曲は、各鍵盤に1曲ずつ割り当てられており、鍵盤で曲を選択します。
［VALUE］ボタンを押して曲を変更することもできます。



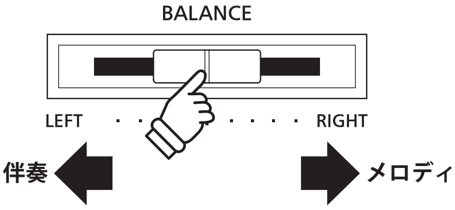
3. コンサートマジックを楽しむ

ひとつの鍵盤を弾いてみましょう。鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。
演奏を進めていくに伴って、ディスプレイの黒丸(●)がプラス(+)表示へと変わっていきますので、鍵盤を押すタイミングをつかんでください。



通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲はメロディーと伴奏の2パートからできており、［BALANCE］スライダーで2パートの音量バランスを調整することができます。



4.コンサートマジックモードを終了する

［CONCERT MAGIC］ボタンを押すとコンサートマジックモードを終了します。

3 コンサートマジック曲を聴いてみよう

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

■ 通常再生

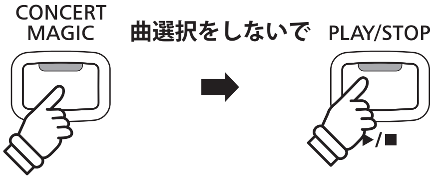
［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後、［PLAY/STOP］ボタンを押します。

選択されている曲が繰り返し再生されます。

演奏を止めるにはもう一度［PLAY/STOP］ボタンを押すか、［CONCERT MAGIC］ボタンを押します。

■ チェイン再生

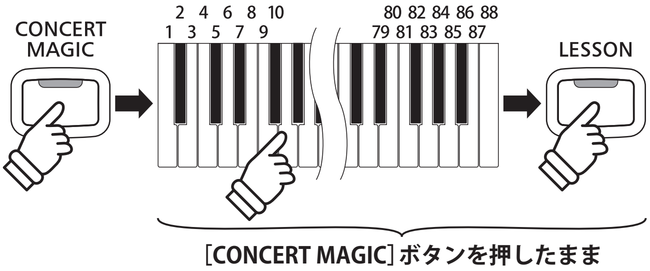
コンサートマジックモードに入り鍵盤で曲選択をせずに、［PLAY/STOP］ボタンを押します。1曲目から88曲目まで順番に繰り返し再生します。



■ グループ再生

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲し、そのまま（［CONCERT MAGIC］ボタンを離さないで）［LESSON］ボタンを押します。選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

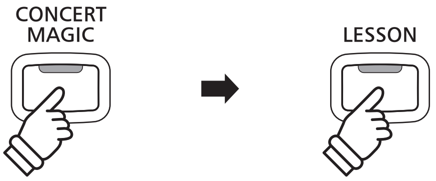
例えば、No.41の「聖者の行進」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.41〜No.49のグループ「アメリカのクラシック音楽」を繰り返し再生します。



■ ランダム再生

［CONCERT MAGIC］ボタンを押した後、手を離し［LESSON］ボタンを押します。その後ストップするまでコンサートマジック内蔵曲がランダムに演奏されます。

ただし1曲目は「きらきら星」です。



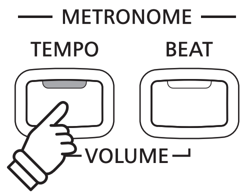
＊［TEMPO］ボタンを押しながら［VALUE］ボタンを押してテンポを調節できます。

メトロノームを使う

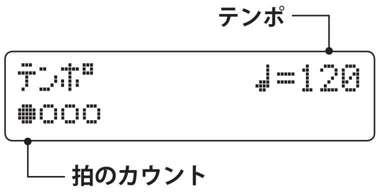
メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

1. メトロノームのオン/オフ

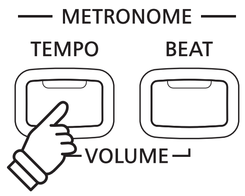
［TEMPO］ボタンまたは［BEAT］ボタンを押します。ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。



ディスプレイにテンポの値、または拍子が表示されます。

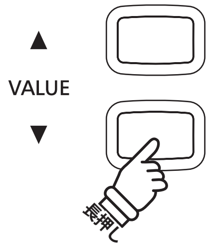


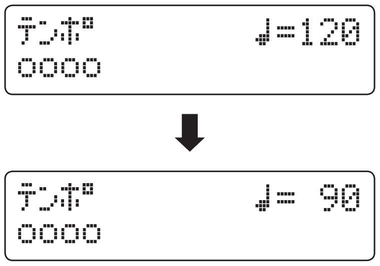
再度［TEMPO］ボタンまたは［BEAT］ボタンを押すとメトロノームが止まり、ボタンが消灯します。



2. テンポ/拍子の設定

ディスプレイにテンポ画面が表示されている間に、［VALUE］ボタンを押してテンポを調節します。

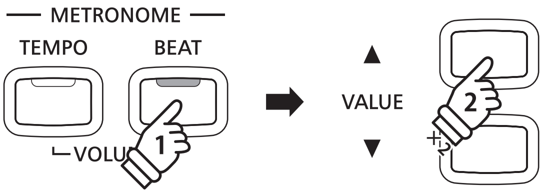




（例）［VALUE▼］ボタンを長押しして、テンポを下げます。

* メトロノームのテンポは、10〜400の範囲で設定できます。
（3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、20〜800）

ディスプレイにビート画面が表示されている間に、［VALUE］ボタンを押して拍子を選びます。



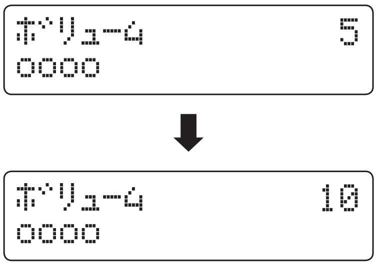
（例）［BEAT］ボタンを押してビート画面を選び、ビートが1/4のときは、［VALUE▲］ボタンを2回押して、3/4を選びます。

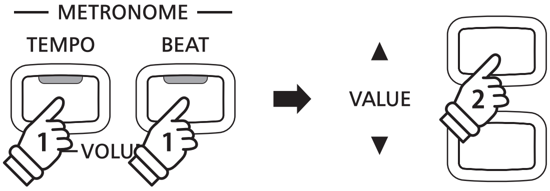
* 拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。リズムは100種類より選択することができます。（118ページをご参照ください。）

3. 音量の設定

［TEMPO］ボタンと［BEAT］ボタンを同時に押します。

［TEMPO］ボタンと［BEAT］ボタンが点灯し、メトロノームが発音し、ディスプレイにボリュームの値が表示されます。





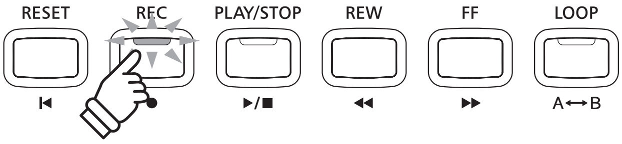
* メトロノームのボリュームは、0〜10の範囲で設定できます。

* メトロノームの設定は、電源をオフすると初期値に戻ります。必要な変更内容はレジストレーションやユーザーメモリーに保存してください。（→35ページ、78ページ）

■ メトロノームを使って録音する

メトロノーム発音中に［REC］ボタンを押すと録音待機状態になり、USBメモリー装着時はInt.レコーダーかUSBレコーダーかを選びます。

このときメトロノームも［TEMPO］ボタンまたは［BEAT］ボタンが点灯したまま待機状態になります。



［PLAY/STOP］ボタンを押すと、1小節のカウントの後、メトロノームの発音とともに録音が始まります。

* レコーダーの詳細は42ページを参照して下さい。

パネル設定を記憶する（レジストレーション）

レジストレーションとは音色やエフェクト等のパネル上の設定をあらかじめ記憶することです。レジストレーションを使うと、ワンタッチで記憶した設定を呼び出すことができます。

CN34のレジストレーションは、9つのメモリーに以下の設定を記憶することができます。

■ 記憶される設定の一覧

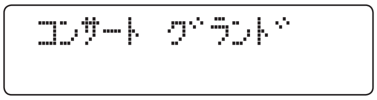
パネル	設定メニュー
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）	ベーシックセッティング
デュアル / スプリットバランス、スプリットポイント	コンサートチューナー
リバーブ、エフェクト	キーセッティング
トランスポーズ（キートランスポーズのみ）	MIDIセッティング
メトロノーム設定	

＊ベーシックセッティングのスピーカーボリューム、ヘッドホンボリューム、ラインアウトボリューム、録音レベルは記憶されません。
＊電源セッティングは記憶されません。

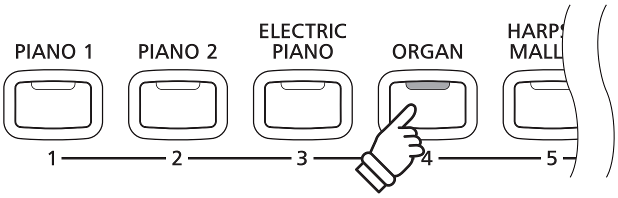
■ レジストレーションを呼び出す

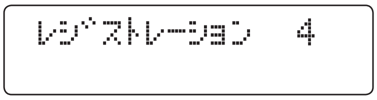
［REGISTRATION］ボタンを押して点灯させると、あらかじめ選ばれていたレジストレーションが呼び出されます。

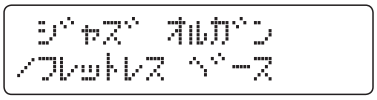
ディスプレイには、そのレジストレーションによって設定された音色名が表示されます。



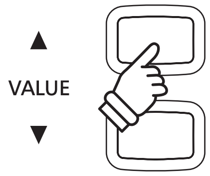
このとき音色ボタン［1］～［9］のいずれかを押すと、ボタンに割り当てられたレジストレーションを呼び出すことができます。







［VALUE］ボタンを押すと、全9レジストレーションを連続して選択できます。



■ レジストレーションモードを抜ける（前の状態へ戻る）

再度［REGISTRATION］ボタンを押すと、ボタンが消灯し通常演奏画面へ戻ります。

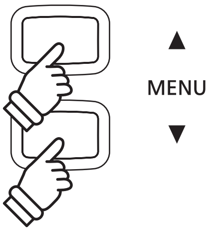
このとき、レジストレーションを呼び出す前の通常演奏画面のパネル設定が再び呼び出されます。

パネル設定を記憶する（レジストレーション）

■ レジストレーションモードを抜ける（設定を通常演奏状態へ展開する）

2つの［MENU］ボタンを同時に押してレジストレーションモードを抜けます。

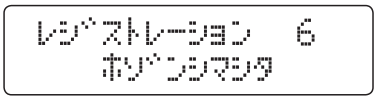
レジストレーションモードで選ばれていた設定のまま、［REGISTRATION］ボタンが消灯し、通常演奏画面へ戻ります。

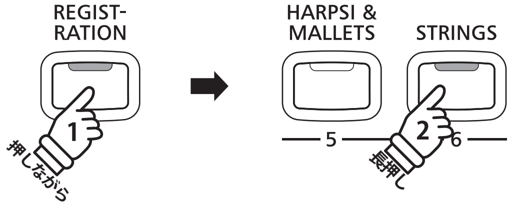


■ レジストレーションに記憶する

［REGISTRATION］ボタンを押しながら、設定を記憶させたい番号の音色ボタン［1］～［9］を長押しします。

メッセージ画面がディスプレイに表示され、現在のパネル設定が記憶されます。

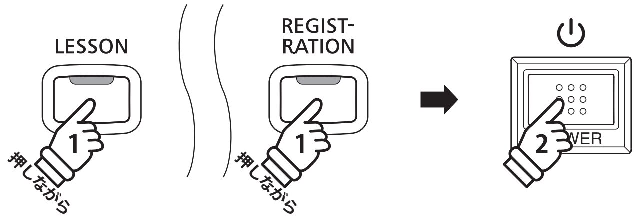




（例）［REGISTRATION］ボタンを押しながら、［6］ボタン（［STRINGS］ボタン）を長押しして、メモリー「6」に設定を記憶させます。

■ レジストレーションを初期状態に戻す

［REGISTRATION］ボタンと［LESSON］ボタンを押しながら電源を入れると、レジストレーションの設定を購入時の状態に戻すことができます。



レッスン機能を楽しむ

1 練習したい曲を選ぶ

CN34はピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵し、楽しみながら様々なレッスンをすることができます。

ここではレッスン機能を使ってできることと練習したい曲を選ぶ方法を説明します。レッスン曲集の種類についてはレッスン曲集一覧(104ページ)をご参照ください。

■ レッスン機能を使って

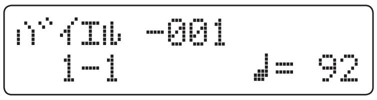
内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

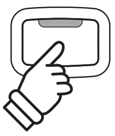
1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
5. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートの演奏を録音して聴いてみる。

* これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
* 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変らない場合があります。
* 練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時(フォルテ)の音量を下げてあります。
* 練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用下さい。(104ページ参照)

1. レッスンモードに入る

[LESSON]ボタンを押してレッスンモードに入ります。





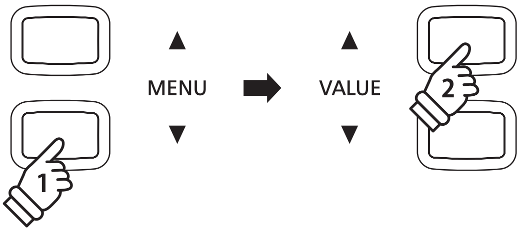
* [PLAY/STOP]ボタンを押すと練習曲が再生されます。

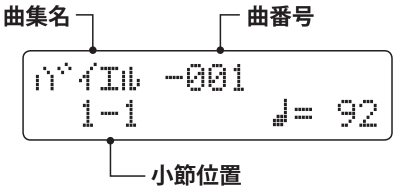
2. 練習したい曲を選択する

練習したい曲を選びます。[MENU]ボタンで曲集を、[VALUE]ボタンで曲を選択します。

[LESSON]ボタンを押しながら鍵盤を押すことで曲番号の選択を行うことも可能です。

再生中でも曲選択は操作可能です。ただし練習を録音中の場合は操作できません。





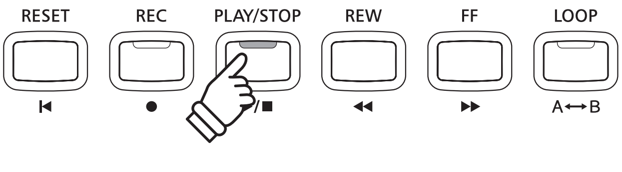
2 練習曲を聴く

ここではバイエル、チェルニーなどの練習曲を聴く方法を説明します。

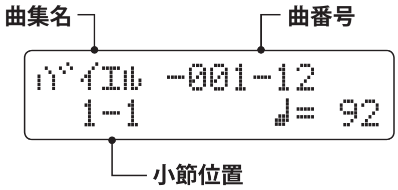
1. 練習曲を聴く

（前ページ、曲を選択した後）

［PLAY/STOP］ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴った後、見本曲が再生されます。



* この間は現在の位置より1小節前の小節が表示されます。弱起の曲の場合、最初の小節位置はゼロになります。



見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には、［TEMPO］ボタンをオンにします。

［PLAY/STOP］ボタンをもう一度押すと見本曲の再生が止まります。もう一度［PLAY/STOP］ボタンを押すと、1小節メトロノームが鳴った後、止めた小節の最初から再生が始まります。

最初から再生したい場合には、［PLAY/STOP］ボタンを押して演奏を止めてから、［RESET］ボタンを押します

2. レッスンモードを終了する

［LESSON］ボタンを押すとレッスンモードを終了します。

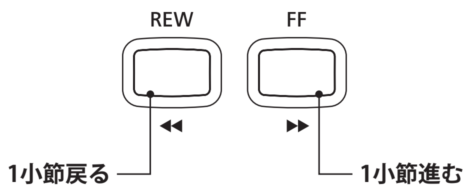
3 練習曲の途中から聴く / 片手で練習する / テンポを変更する

ここでは練習曲の途中から聴く方法と、練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法、テンポを変更する方法を説明します。

■ 練習曲の途中から聴く

1. 聴きたい曲を選択した後、[REW]ボタンまたは[FF]ボタンを押します。[REW]ボタンを押すと1小節戻り、[FF]ボタンを押すと1小節進みます。押し続けると早く進み(戻り)ます。

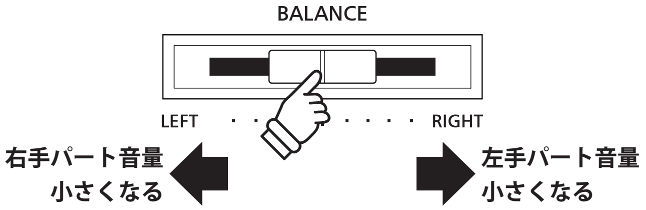
2. [PLAY/STOP]ボタンを押すと1小節メトロノームが鳴った後、指定した小節から再生が始まります。



■ 片手で練習する

1. 練習曲を選択した後、[BALANCE]スライダーで練習したいパートのバランスを設定します。
右手パートを練習したいときはスライダーを左側へ、左手パートを練習したいときは右側へ動かします。

2. [PLAY/STOP]ボタンを押すと1小節メトロノームが鳴った後、セットしたバランスで再生が始まりますので、見本曲に合わせて片方のパートを演奏して練習します。

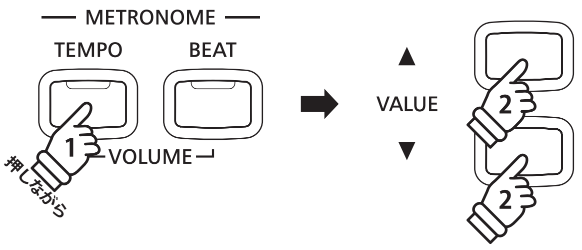


* 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消して下さい。

* バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、左の値を大きくすると生徒のパートが小さくなり、右の値を大きくすると先生のパートが小さくなります。

■ テンポを変更する

[TEMPO]ボタンを押しながら[VALUE]ボタンを押してテンポを変更できます。
元のテンポに戻す場合には、[テンポ]ボタンを押しながら2つの[VALUE]ボタンを同時に押します。



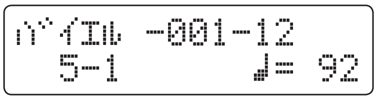
4 フレーズを指定して練習する

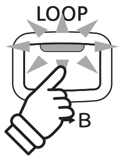
ここでは練習曲の中の小節位置を2ヶ所指定してその区間を繰り返し再生したり（リピート再生）、繰り返して練習をする方法を説明します。

1. フレーズの始まり（A点）の指定

練習曲を選択し再生します。繰り返し演奏を始めたい位置まで再生が進んだら［LOOP］ボタンを押します。

繰り返しの最初の小節が設定され、［LOOP］ボタンのランプが点滅します。



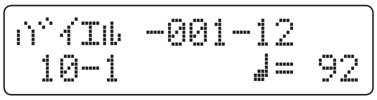


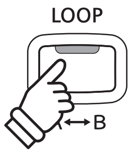
2. フレーズの終わり（B点）の指定

繰り返し演奏を終わりたい位置まで再生が進んだらもう一度［LOOP］ボタンを押します。

繰り返しの終わりの小節が設定され、［LOOP］ボタンが点灯します。

これで繰り返し区間が決定し、この小節の再生が終了するとA点に戻って再生を続けます。





3. 繰り返し演奏の解除

もう一度［LOOP］ボタンを押すと繰り返し再生が解除され、通常の再生を続けます。

* ここで設定したリピート区間（A点とB点）は、別の曲を選ぶと解除されます。

また、リピート区間は、停止中に［REW］ボタン、［FF］ボタンで小節位置を選んで設定することもできます。ただし最初の小節より前の位置に終わりの小節を設定することはできません。

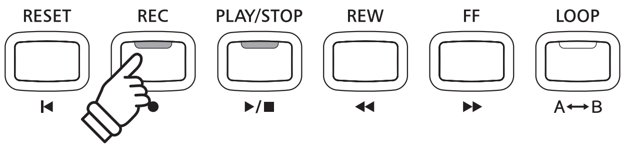
5 練習曲に合わせて録音する

ここでは練習曲に合わせて練習しながらそれを聞いてチェックする方法を説明します。

* リピート再生の設定をしている場合、リピートは無効になります。

1. 録音をする

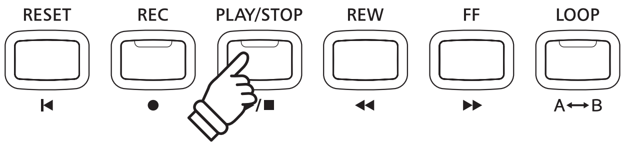
練習曲を選択し[REC]ボタンを押します。[REC]ボタンと[PLAY/STOP]ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後、練習曲の再生と演奏の録音が始まります。



録音をはじめる前に、[FF]ボタンと[REW]ボタンで録音開始位置を変えることができます。

2. 録音の終了

[PLAY/STOP]ボタンを押して、録音を終了します。練習曲の再生と演奏の録音が終了し、[REC]ボタンと[PLAY/STOP]ボタンが消灯します。

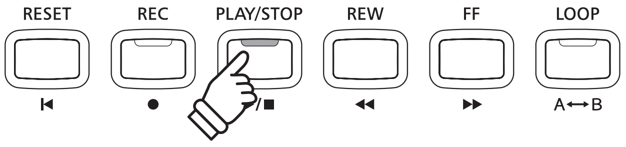


録音した演奏は[REC]ボタンと[PLAY/STOP]ボタンを同時に押すと消去することができます。

* 録音した演奏は別の見本曲を選ぶと消去されます。

3. 録音した演奏を聴く

もう一度[PLAY/STOP]ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴ったあと見本曲と録音した演奏が再生されます。
[FF]ボタンと[REW]ボタンで再生開始位置を変えることができます。



さらにもう一度[PLAY/STOP]ボタンを押すと練習曲と練習の演奏が止まります。

Int.（内部ソング）レコーダー

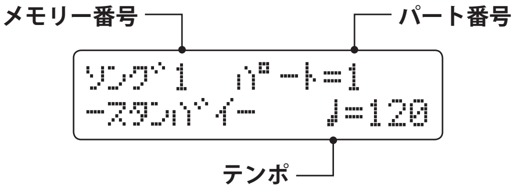
CN34本体のメモリーに3曲まで録音することができます。自分の演奏を録音しあとでじっくり聴いたり、指導者の方にお手本に録音してもらうなど、使い方は様々です。各曲とも2パートに分けて録音できるため、左手パートを先に録音しておき、再生しながら右手パートを録音することができます。また、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させることもできます。

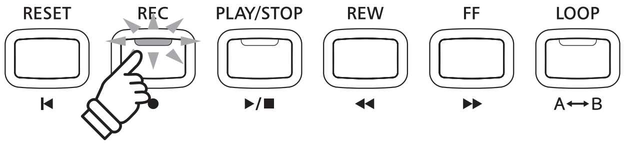
1 本体のメモリーに録音する

1. Int.レコーダーに入る

［REC］ボタンを押します。

ボタンが点滅し、Int.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます。





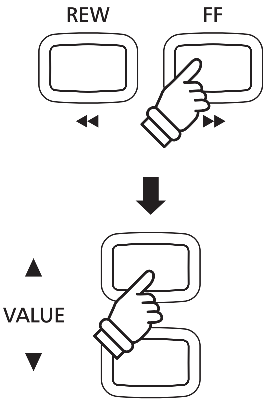
* USBメモリーが接続されている場合は、［MENU▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

2. メモリー/パートを選ぶ

［REW］［FF］ボタンで、録音するメモリーをソング1～3から選びます。

［VALUE］ボタンで、録音するパート（1または2）を選びます。

* そのパートがすでに録音されている場合は、'*'マークが表示されます。



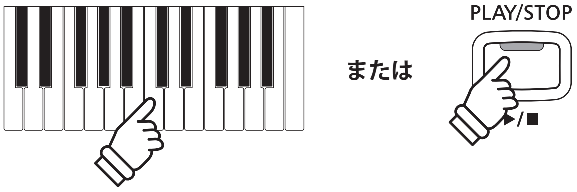
録音するメモリーやパートを選ぶ場合は、すでに録音したパートを誤って上書きしてしまわないようにご注意ください。

3. 録音を開始する

演奏を始めます。

［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンが点灯して、録音が始まります。

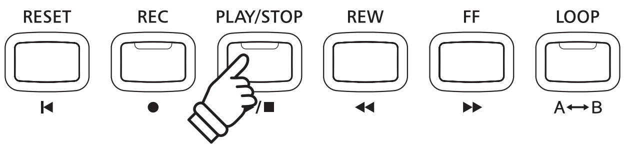
現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。



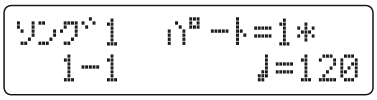
* 曲の始めに休みを入れたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押して録音を開始することもできます。

4. 録音を終了する

［PLAY/STOP］ボタンを押します。［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンが消灯して、録音が終了します。



録音した曲は内部のメモリーへ自動的に保存され、再生待機状態になります。



Int.レコーダーの再生については、44ページを参照してください。

* レコーダーの総記憶容量は、ソング1～3の合計で約90,000音です。ボタンやペダルの操作も、1音として扱われます。

* 録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

* 録音した曲は、電源を切った後も内部メモリーへ保存されています。

■ 別のパートに録音する

別のパートに録音するときは、録音していないパートを選び、前述の手順を再度行ってください。

■ メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音すると、パートを分けて録音する場合や、正確なテンポで録音したい場合に便利です。
メトロノームの音は録音されません。

* メトロノームを使った録音の手順については33ページを参照して下さい。

■ 録音中のパネル操作に関して

録音中に音色などを変更をしたい場合があります。レコーダーで記録されるかされないかの一覧は次のとおりです。

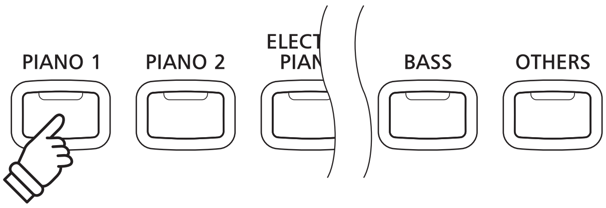
記録されるパネル操作
音色変更
デュアル/スプリットモードの移行
デュアル/スプリットバランスの変更

記録されないパネル操作
リバーブ設定の変更
エフェクト設定の変更
テンポ変更
トランスポーズ、チューニング、タッチカーブの変更

* 新しい曲を録音する前に、希望するテンポなどを選んでください。

5. レコーダーモードを終わる

音色ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。

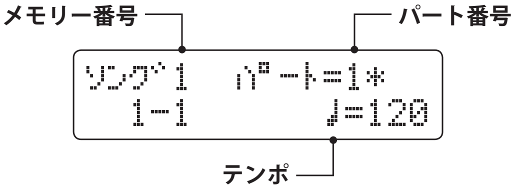


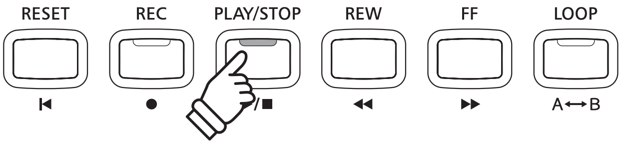
2 内部ソングを聴く

　レコーダーの内部のメモリーに保存されたソングを再生します。録音したすぐ後に再生する場合は、ステップ2から初めてください。

1. Int.レコーダーに入る

［PLAY/STOP］ボタンを押します。
Int.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます。

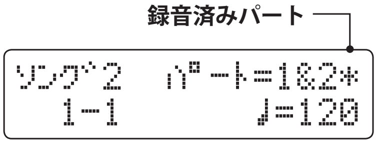


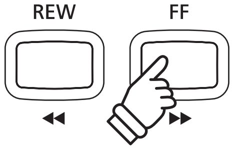


* USBメモリーが接続されている場合は、［MENU▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

2. メモリーを選ぶ

［REW］［FF］ボタンで、再生する内部ソングを選びます。



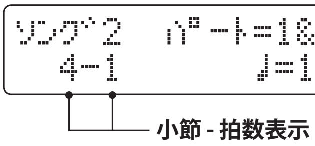


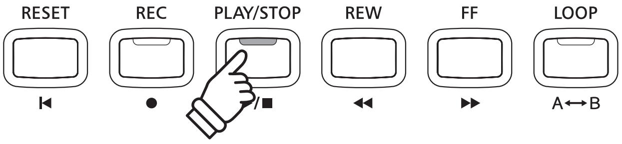
* 録音されているパートは、'*'マークが表示されます。

3. 再生を開始する

［PLAY/STOP］ボタンを押します。

　選んだメモリー/パートの再生が始まり、現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。





■ レコーダーの再生を操作する

再生中、[RECORDER]のボタンで次の操作ができます。

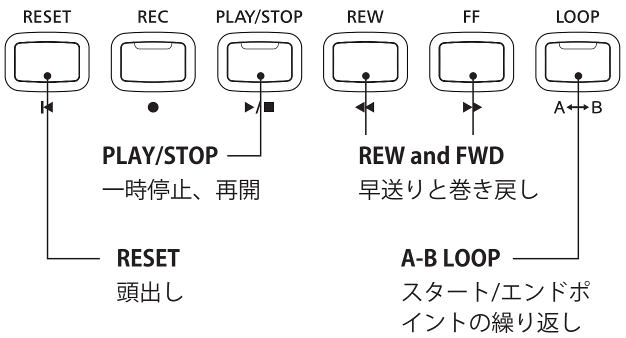
[REW] [FF]ボタン：曲を早送り、巻き戻しします。

[LOOP]ボタン：2回押して、スタートポイント(A)とエンドポイント(B)を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。

* 3回目で、繰り返しをオフします。

[PLAY/STOP]ボタン:押すと再生を一時停止し、再度押すと、再開します。

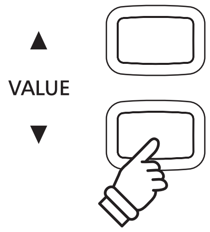
[RESET]ボタン：曲を頭出しします。



■ 再生テンポを調整する

再生中に、[VALUE]ボタンを押して、テンポを選びます。

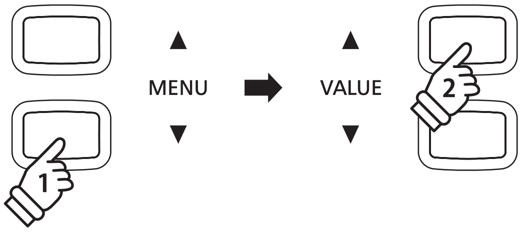
* 再生テンポは、10〜400の範囲で設定できます。



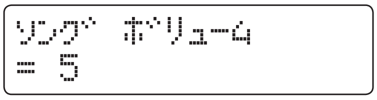
■ 再生の設定を変更する

ソングボリューム、ソングトランスポーズ、再生パートを変更します。

再生中に[MENU]ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。



[VALUE]ボタンを押して、設定を変更します。

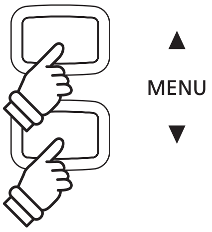


* ソングボリュームは、1〜10の範囲で選ぶことができます。

* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。

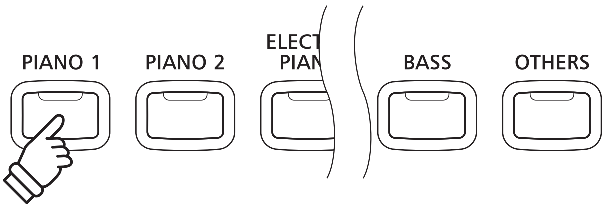
* 再生パートは、パート1、パート2、パート1&2から選びます。

[MENU]ボタンを同時に押して、再生画面へ戻ります。



4. レコーダーモードを終わる

音色ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。



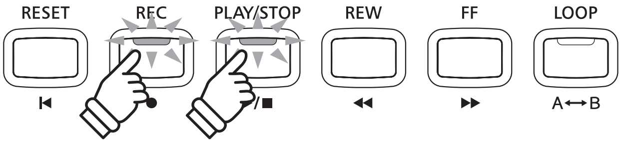
3 録音済みのパートを消去する

録音に失敗したり、いらなくなった内部ソングを１パートづつ消去することができます。
USBメモリー内の曲を消去する場合は56ページを参照してください。

1. 消去モードに入る

［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンを同時に押します。
［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンが点滅して、現在選ばれているメモリー番号とパート番号が消去画面に表示されます。

```
ﾃﾞﾘｰﾄ         →REC
ｿﾝｸﾞ1   ﾊﾟｰﾄ=1*
```



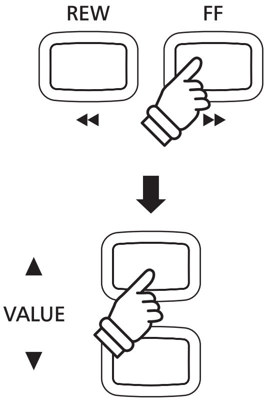
2. 消去したいソングとパートを選ぶ

［REW］［FF］ボタンを押して消去したいメモリー番号1〜3を選びます。

```
ﾃﾞﾘｰﾄ         →REC
ｿﾝｸﾞ2   ﾊﾟｰﾄ=1&2*
```

録音済みパート

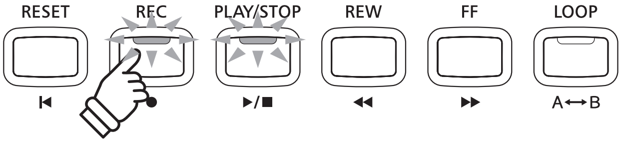
［VALUE］ボタンを押して、消去したいパート番号を、1、2、1&2（曲全体）から選びます。
* 録音されているパートは、‘*’マークが表示されます。



3. 消去する

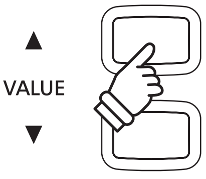
［REC］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ?
           → VALUE▲
```



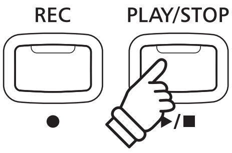
［VALUE▲］ボタンを押すと、選択したメモリー/パートの消去を実行し、再生画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押します。



（実行する場合）

または

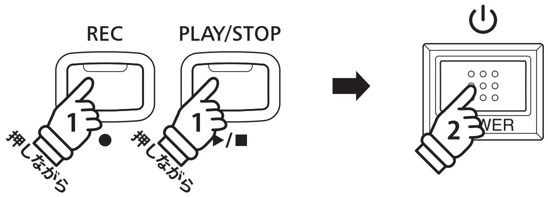


（キャンセルする場合）

■ すべての曲を消去する

［PLAY/STOP］ボタンと［REC］ボタンを押しながら電源を入れてください。

レコーダーの全てのメモリーが消去されます。



USBレコーダー

1 オーディオファイルを録音する

MP3やWAV形式で、USBメモリーにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションでリミックスしたりと、様々な使い方ができます。

■ オーディオ録音フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz、16bit、ステレオ	192 kbit/s（固定）
WAV	44.1 kHz、16bit、ステレオ	1,411 kbit/s

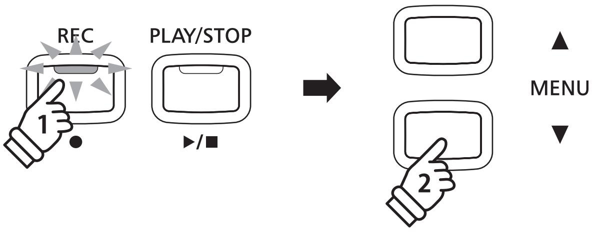
MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT.

1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

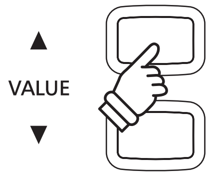
［REC］ボタンを押してボタンを点滅させ、［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

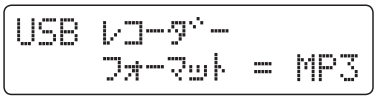
ディスプレイにUSBレコーダー（ファイル形式選択）画面が表示されます。



2. ファイル形式を選ぶ

［VALUE］ボタンを押して、録音したいファイル形式（MP3またはWAV）から選びます。





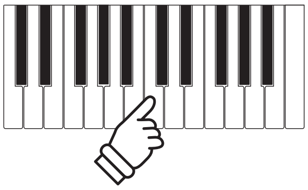
* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリーの容量を必要としません。
* 1Gバイトのメモリーの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

3. 録音を開始する

演奏を始めます。

［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンが点灯して、録音が始まります。

録音時間がディスプレイに表示されます。



または

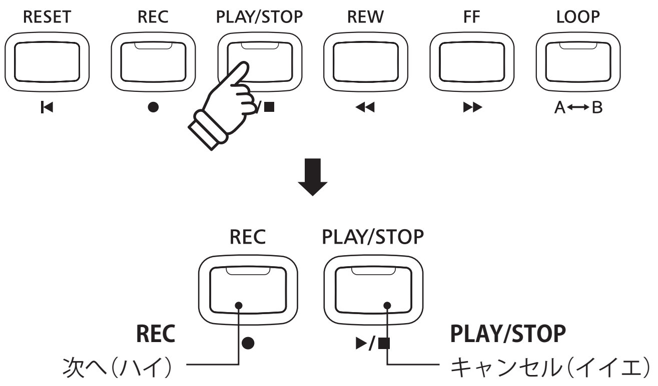
* 曲の始めに休みを入れたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押して録音を開始することもできます。

4. 録音をストップして保存する

演奏が終わったら[PLAY/STOP]ボタンを押して録音を終了します。[PLAY/STOP]ボタンと[REC]ボタンが消灯し録音が停止します。

録音した演奏をUSBメモリーに保存するか決めます。保存する場合は[REC]ボタンを、保存しない場合は[PLAY/STOP] ボタンを押してください。

```
USBﾍ ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?
ﾊｲ→REC   ｲｲｴ→STOP
```

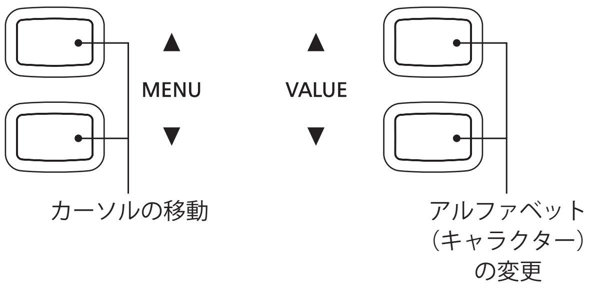


[REC]ボタンを押すと次へ進みます。[PLAY/STOP]ボタンを押した場合、録音結果は破棄されます。

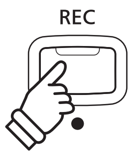
5. ファイル名をつける

[REC]ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

```
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:      →REC
 Jazzy Tune   MP3
```



[MENU]ボタンを押してカーソルを移動し、[VALUE]ボタンを押して、ファイル名をつけます。



[REC] ボタンを押すと、編集したファイル名でオーディオファイルに保存されます。

ディスプレイにUSBレコーダー画面が表示され、再生待機状態になります。

```
Jazzy Tume.MP3
 00'00"   Vol.=5
```

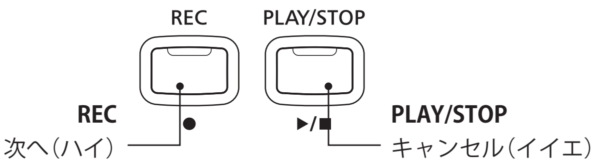
USBレコーダーの再生については、49ページを参照してください。

* 初期ファイル名には、“Audio-000.MP3”,“Audio-000.WAV”のように、自動的に新たな番号がつけられています。
* ファイル名は最大11文字です。
* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。
* ラインインの音は録音されません。

■ ファイルの上書きについて

編集したファイル名のファイルがすでにある場合は、ディスプレイに、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

```
ｳﾜｶﾞｷｼﾏｽｶ?
ﾊｲ→REC   ｲｲｴ→STOP
```



[REC]ボタンを押すと上書きされます。[PLAY/STOP]ボタンを押した場合は、ファイル名編集画面へ戻ります。

演奏を録音再生する

2 オーディオファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。
本格的なバッキングトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いて、コードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

■ オーディオ再生フォーマット仕様

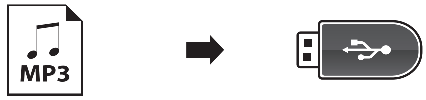
ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ	8～320 kbit/s
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ、16bit	ー

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT.

■ USBメモリーの準備

まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリーへコピーします。

* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

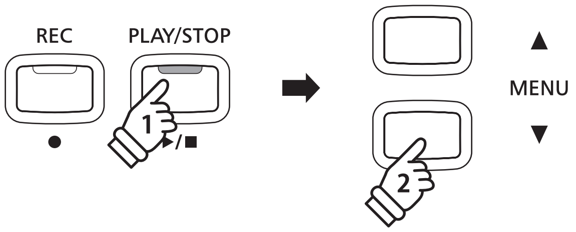


1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

［PLAY/STOP］ボタンを押して、［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

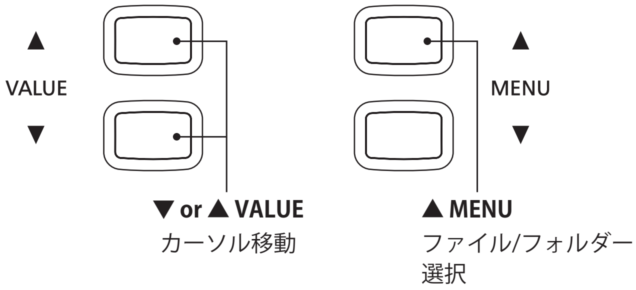


■ ファイルリスト画面表示について

ファイルリスト画面は、USBメモリーに保存されているファイルとフォルダーをリスト表示します。

► は、選択中のファイル/フォルダーを示すカーソルです。
<　　>は、フォルダー名です。

ファイルリスト画面は次の様になります。
実際に表示されるのは2行までですが、下記のイラストは、カーソルより上の表示イメージを拡張しています。



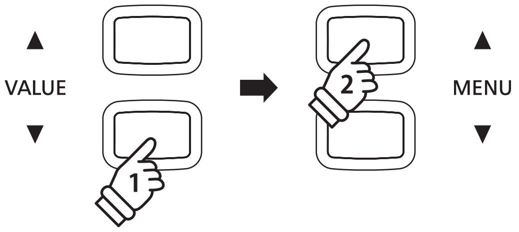
* フォルダーはリストのトップに、ファイルはアルファベット順に配置されます。

* USBレコーダーでは、MP3、WAV、MIDファイルのみリストに表示されます。

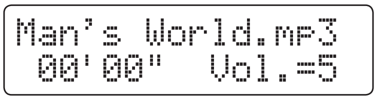
* ファイル名は、最大11文字まで表示され、それ以降は表示されません。

2. ファイルを選び再生を開始する

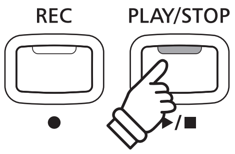
［VALUE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。



ディスプレイに再生画面が表示されます。



［PLAY/STOP］ボタンを押します。
［PLAY/STOP］ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。



<チェイン再生>
［PLAY/STOP］ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のファイルをアルファベット順に順次再生します。

* ID3タグ等、CN34が認識可能なアーティスト名や曲名情報は、ファイル名に続いてディスプレイの1行目に表示されます。
* ファイル名やID3タグに日本語表記が使用されている場合は、正しく表示されません。

■ レコーダーの再生を操作する

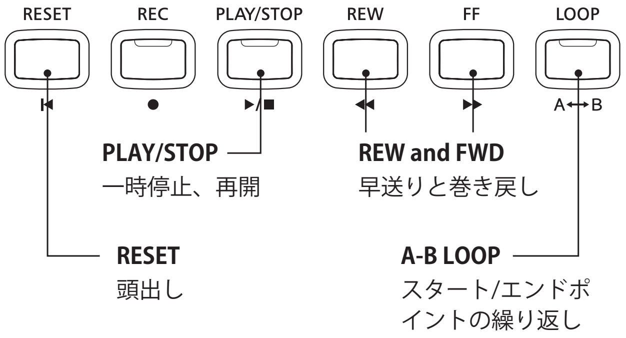
再生中、［RECORDER］ボタンで次の操作ができます。
［REW］［FF］ボタン：曲を早送り、巻き戻しします。

［LOOP］ボタン：2回押して、スタートポイント（A）とエンドポイント（B）を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。

* 3回目で、繰り返しをオフします。

［PLAY/STOP］ボタン：押すと再生を一時停止し、再度押すと、再開します。

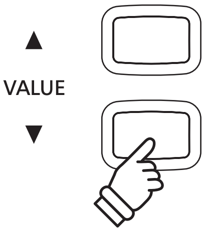
［RESET］ボタン：曲を頭出しします。



■ 再生の音量を調整する

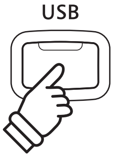
再生中に、［VALUE］ボタンを押して音量を調節します。

* 音量は、1〜10の範囲で設定できます。
* 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器（ピアノ）はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した波形は小さくなります。そこに大きな音量差が生まれるため、音量調整やデフォルトの音量設定が必要になります。



3. レコーダーモードを終わる

［USB］ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。



3 MIDIファイルを録音する

スタンダードMIDIファイル形式でUSBメモリーに録音することができます。1パートずつ重ねて録音していき、最大で16パートの曲を作ることができます。

■ MIDIファイル録音フォーマット仕様

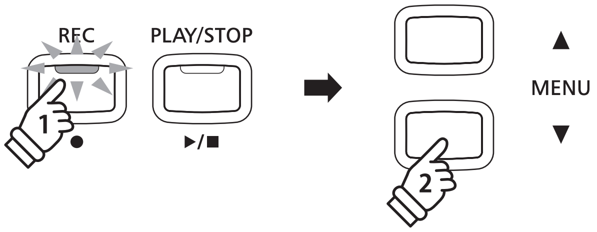
ファイル形式	仕様
MID	フォーマット0

1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

［REC］ボタンを押してボタンを点滅させ［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイル形式選択）画面が表示されます。

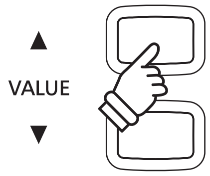


* 既存のファイルの1パートを録音し直すこともできます。その場合［REC］ボタンを押す前にあらかじめファイルを選んでおきます。ファイルの選び方は（53ページ）を参照して下さい。

2. ファイル形式を選ぶ

［VALUE］ボタンを押してファイル形式（MID）を選びます。

```
USB レコーダー
    フォーマット = MID
```

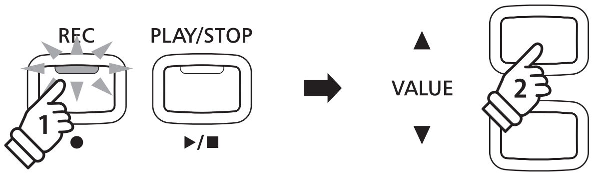


3. 録音するパートを選ぶ

［REC］ボタンを押します。

ディスプレイにパート選択画面が表示されます。
［VALUE］ボタンを押して録音したいパートを選びます。

```
Rec Part=1
-スタンバイ-    ♩=120
```



* 1～16, MIDIを選ぶことができます。

* 10はドラムパートで、10を選んだ時は鍵盤の音色がリズム音になります。

* MIDIはMIDIから入ってきた情報を録音します。

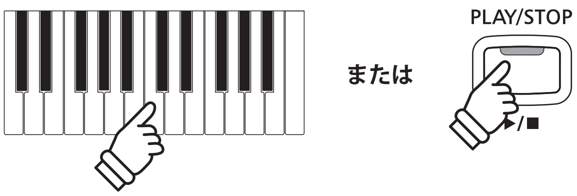
* 既に録音されているパートを選んだ場合、パート番号の右に‘*’マークが表示されます。

4. 録音を開始する

演奏を始めます。

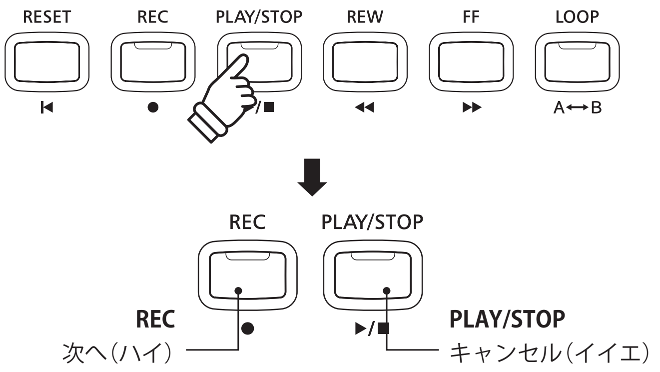
［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンが点灯して、録音が始まります。

```
Rec Part=1
  2-3          ♩=120
```



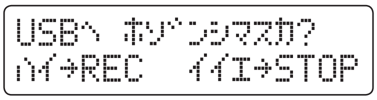
* 曲の始めに休みを入れたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押して録音を開始することもできます。

5. 録音をストップして保存する



演奏が終わったら［PLAY/STOP］ボタンを押して録音を終了します。［PLAY/STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し録音が停止します。

録音した演奏をUSBメモリーに保存するか決めます。保存する場合は［REC］ボタンを、保存しない場合は［PLAY/STOP］ボタンを押してください。

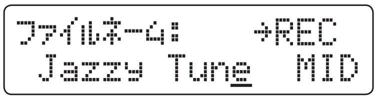


［REC］ボタンを押すと次へ進みます。

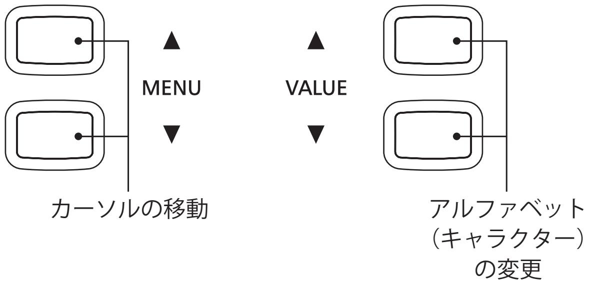
［PLAY/STOP］ボタンを押した場合、録音結果は破棄されます。

6. ファイル名をつける

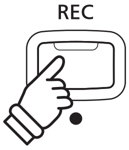
［REC］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。



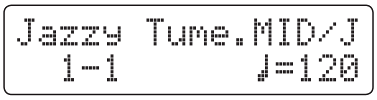
［MENU］ボタンを押してカーソルを移動し、［VALUE］ボタンを押して、ファイル名をつけます。



［REC］ボタンを押すと、編集したファイル名でMIDIファイルに保存されます。



ディスプレイにUSBレコーダー画面が表示され、再生待機状態になります。



USBレコーダーの再生については、53ページを参照してください。

続けて他のパートを録音するには、ステップ3から繰り返します。

* 初期ファイル名には、“Song-000.MID”のように、自動的に新たな番号がつけられています。

* ファイル名は最大11文字です。

* 新規に録音した場合ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。
  異なるフォルダーへは保存できません。

4 MIDIファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMIDIファイルを再生できます。
お手持ちのSMF形式のMIDIファイルを、CN34の『プログレッシブハーモニックイメージング（PHI）音源』で聴くことができます。

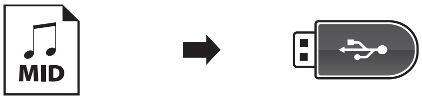
■ MIDIファイル再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様
MID	フォーマット0、フォーマット1
KSO	内部ソングフォーマット

■ USBメモリーの準備

まず、用意したMIDIファイルをUSBメモリーへコピーします。

* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



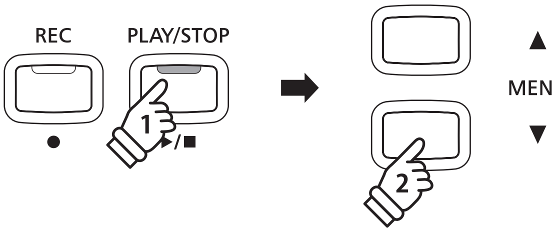
1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

［PLAY/STOP］ボタンを押して、［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

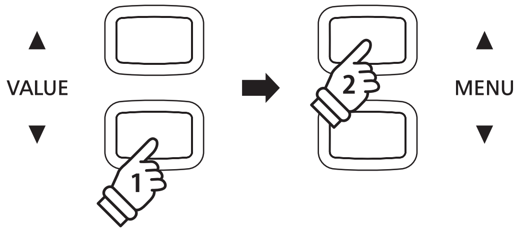
ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、49ページを参照してください。



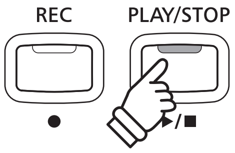
2. ファイルを選び再生を開始する

［VALUE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。



ディスプレイに再生画面が表示されます。

［PLAY/STOP］ボタンを押します。
［PLAY/STOP］ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。



<チェイン再生>
［PLAY/STOP］ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のファイルをアルファベット順に順次再生します。

■ レコーダーの再生を操作する

再生中、[RECORDER]のボタンで次の操作ができます。

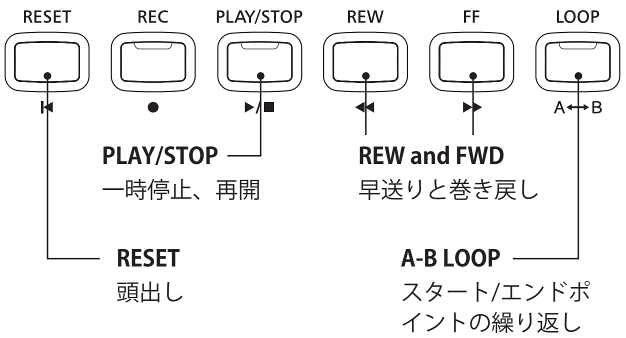
[REW] [FF]ボタン：曲を早送り、巻き戻しします。

[LOOP]ボタン：2回押して、スタートポイント(A)とエンドポイント(B)を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。

* 3回目で、繰り返しをオフします。

[PLAY/STOP]ボタン:押すと再生を一時停止し、再度押すと、再開します。

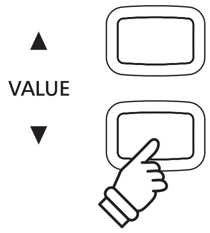
[RESET]ボタン：曲を頭出しします。



■ 再生のテンポを調整する

再生中に、[VALUE]ボタンを押してテンポを調節します。

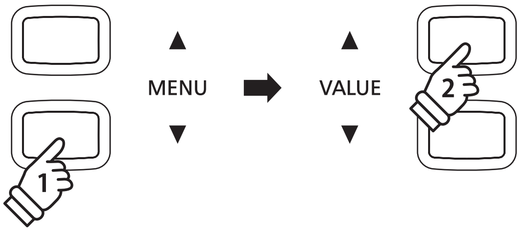
* 再生テンポは、10〜400の範囲で設定できます。



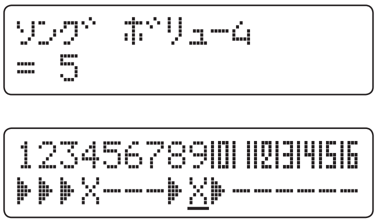
■ 再生の設定を変更する

ソングボリューム、ソングトランスポーズ、再生パート(ソングパート)を変更します。

再生中に[MENU]ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。



[VALUE]ボタンを押して、設定を変更します。

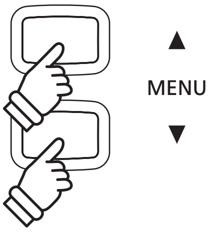


* ソングボリュームは、1〜10の範囲で選ぶことができます。
* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。
* ソングパートは1パートごとに再生パートのミュートを設定することができます。[VALUE▲]ボタンを押してソングパート画面に入り、[MENU]ボタンでパートを選び、[VALUE]ボタンで再生/ミュートを設定します。

  ▶：再生パート　✕：ミュートパート　┅：データの無いパート

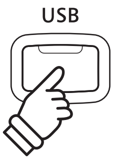
  [MENU]ボタンを同時に押して設定メニューに戻ります。

[MENU]ボタンを同時に押して、再生画面へ戻ります。



3. レコーダーモードを終わる

[USB]ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。



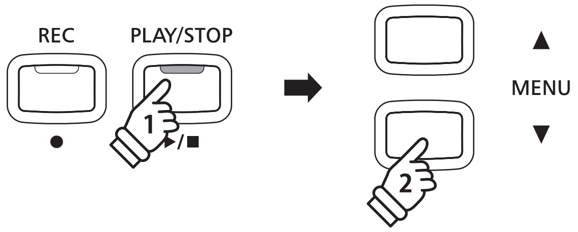
5 内部ソングをオーディオファイルにする

内部メモリーに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリーへ録音することができます。

1. 内部ソングを選ぶ

USBメモリーを接続してください。

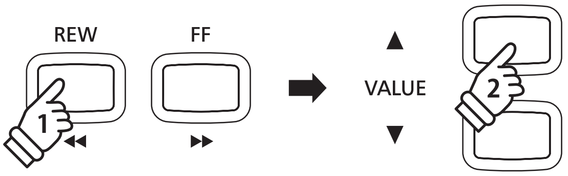
［PLAY/STOP］ボタンを押して、［MENU▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。



ディスプレイにInt.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます

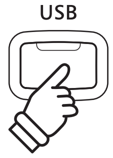
```
ソング゛1   パ゜ート=1*
  1-1        ♩=120
```

［REW］［FF］ボタンで、再生する内部ソングを選びます。



2. オーディオ変換機能を選ぶ

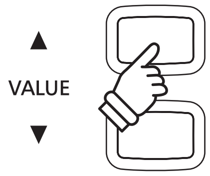
［USB］ボタンを押します。



ディスプレイにオーディオ変換画面が表示されます。

```
オーデ゛ィオ ヘンカン
      フォーマット = MP3
```

［VALUE］ボタンを押して、変換したいファイル形式（MP3またはWAV）から選びます。



3. 変換を開始する

［PLAY/STOP］ボタンを押すと、変換が始まります。

ディスプレイに変換状態が表示されます。

```
ソング゛1   パ゜ート=1*
 00'00" ヘンカンチュウ
```

* 鍵盤を弾いた音もオーディオファイルへ録音されます。

* 再生が終わると変換は終了し、自動的に保存の確認画面が表示されます。

4. ファイル名をつけて保存する

48ページを参照してください。

6 USBメモリー内のファイルを消去する

USBメモリー内のMP3/WAVファイルやMIDIソングファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

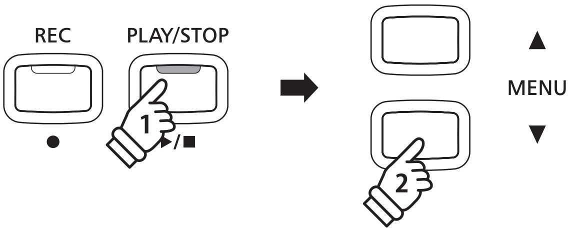
1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

[PLAY/STOP]ボタンを押して、[MENU▼]ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、49ページを参照してください。

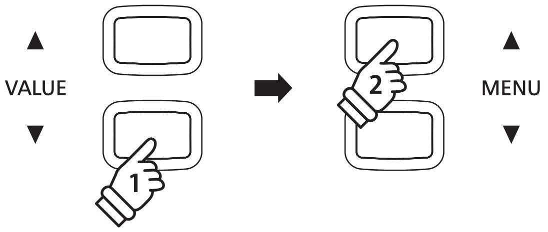


2. ファイルを選ぶ

[VALUE]でファイルを選び、[MENU▲]ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

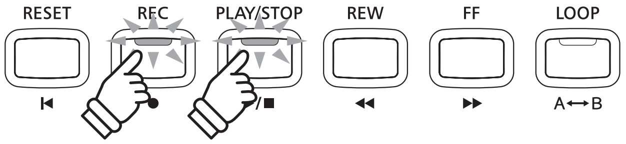
```
Audio-001.MP3
 00'00"  Vol.=5
```



3. 消去モードに入る

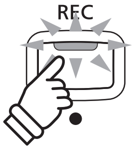
[REC]ボタンと[PLAY/STOP]ボタンを同時に押します。
[REC]ボタンと[PLAY/STOP]ボタンが点滅して、消去画面が表示されます。

```
ﾃﾞﾘｰﾄ          →REC
Audio-001      MP3
```



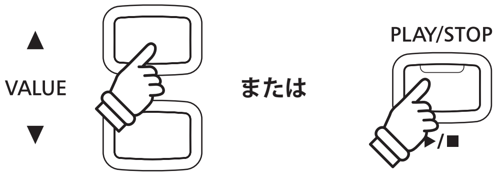
[REC]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
         →VALUE▲
```



[VALUE▲]ボタンを押すと、選択したファイルの消去を実行し、ファイルリスト画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、[PLAY/STOP]ボタンを押します。



USBメモリーの接続

この楽器にはUSB［TO DEVICE］端子があります。USB［TO DEVICE］端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

USB対応の記憶装置（フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ）動作確認済みUSB機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外のUSB機器（マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど）は、接続しても使えません。

■ USB機器の接続

USB［TO DEVICE］端子には、USBフロッピーディスクドライブを接続できますが、フロッピーディスクドライブは、USBレコーダーでのMP3/WAV録音には使用できません。SMF/内部ソング、レジストレーションのファイル保存にのみ使用できます。

■ USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB［TO DEVICE］端子にUSB記憶装置を接続したとき（またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき）に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください（66ページ）。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

他の機器で使用したUSBメモリーには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

■ USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

* CN34を起動中にUSBメモリーが差し込まれると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

* USBメモリーが差し込まれた状態で電源スイッチを押して起動すると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

USBメニューについて

USBメモリーを接続して、本体に録音したデータをUSBメモリーに保存したり、USBメモリーをフォーマットするなどの操作を行います。

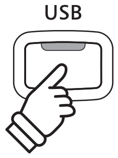
■ USBメニューの内容

ページ	項目	内容
1	ロード内部ソング	USBメモリー内の内部フォーマットソングを本機のメモリーに読み込みます。
2	ロードレジスト	USBメモリー内のレジストファイルを本機のメモリーに読み込みます。
3	セーブSMFソング	本体に録音した曲を、パソコンなどで再生可能なSMFでUSBメモリーに保存します。
4	セーブ内部ソング	本体に録音した曲を、再ロード可能な内部フォーマットでUSBメモリーに保存します。
5	セーブレジスト	本体に保存したレジストレーション設定を、USBメモリーに保存します。
6	リネーム	USBメモリー内のファイル名を変更します。
7	デリート	USBメモリー内のファイルを消去します。
8	フォーマット	USBメモリーを初期化します。

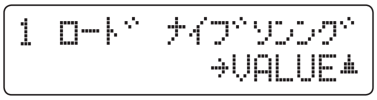
1. USBメニューへ入る

USBメモリーを接続してください。

[USB] ボタンを押します。

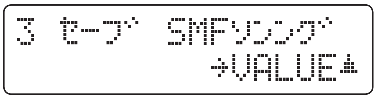


[USB] ボタンが点灯し、USBモードのメニューリスト画面が表示されます。

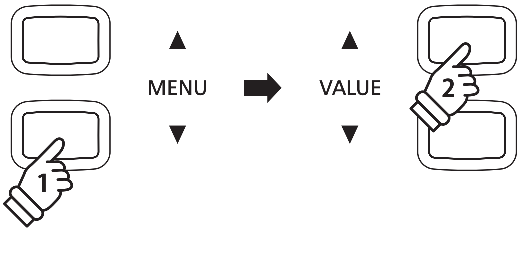


2. USBメニューの機能を選ぶ

[MENU] ボタンを押して、目的のUSBメニューの機能ページを選びます。

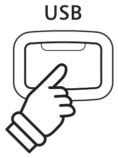


[VALUE▲] ボタンを押して、決定します。



3. USBメニューを終わる

[USB] ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。



1 内部ソングをロードする

USBメモリーを接続して、USBメモリー内の本機でセーブした曲を読み込む（ロードする）ことができます。読み込んだ曲はCN34で再生することができます。

1. 内部ソングロード機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［MENU］ボタンで、「ロード ナイブソング」を選び、［VALUE▲］ボタンを押して、内部ソングのロード機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、49ページを参照してください。

```
1 ﾛｰﾄﾞ ﾅｲﾌﾞｿﾝｸﾞ
         →VALUE▲
```

⬇

```
▶Kendo Strut KSO
 FnkyMiracle KSO
```

内部ソングの拡張子（*.KSO）

2. ロードするファイルを選ぶ

［VALUE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイにロード先指定画面が表示されます。

```
▶FnkyMiracle KSO
 Simple Song KSO
```

3. ロード先の内部メモリーを指定する

［VALUE］でロード先の内部メモリーを指定します。

* すでに録音されているパートには、'*'マークがついています。

```
ｿﾝｸﾞﾒﾓﾘ      →REC
= Song1*
```

録音されているパート

4. ロードする

［REC］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［VALUE▲］ボタンを押すと、選択したファイルのロードを実行します。
キャンセルしたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押します。

ロードした曲を聞くときは、44ページを参照してください。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
         →VALUE▲
```

⬇

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡
```

5. USBメニューを終わる

［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

2 レジストレーションをロードする

USBメモリーを接続して、USBメモリー内の本機でセーブしたレジストレーションファイルを読み込む（ロードする）ことができます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

■ レジストレーションファイルの種類

種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての9レジストレーションを格納します。	KM3

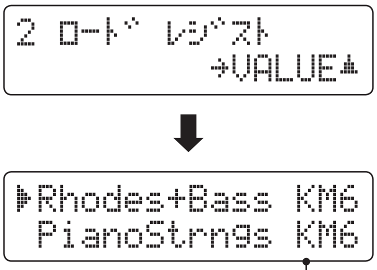
1. レジストレーションのロード機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「ロード レジスト」を選び、[VALUE▲]ボタンを押して、レジストレーションのロード機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、49ページを参照してください。

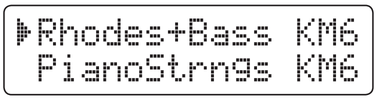


レジストの拡張子
（*.KM3/*.KM6）

2. ロードするファイルを選ぶ

[VALUE]でファイルを選び、[MENU▲]ボタンを押して決定します。

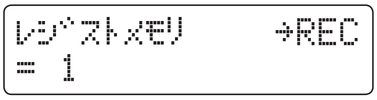
ディスプレイにロード先指定画面が表示されます。



3. ロード先のレジストレーションメモリーを指定する

[VALUE]でロード先のレジストレーションメモリーを指定します。

*「オール」（KM3）のファイルを選んだ場合は、この画面はスキップされます。

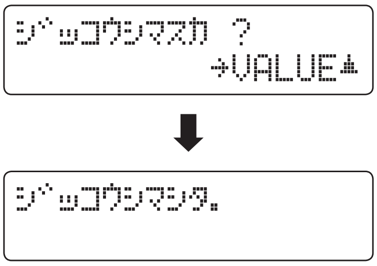


4. ロードする

[REC]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE▲]ボタンを押すと、選択したファイルのロードを実行します。
キャンセルしたい場合は、[PLAY/STOP]ボタンを押します。

ロードしたレジストレーションを使うときは、35ページを参照してください。



3 SMF（MIDIファイル）形式で保存する

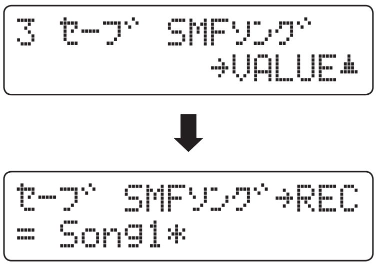
内部レコーダーのソングメモリーの内容を、SMF形式でUSBメモリーに保存します。

1. SMFセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［MENU］ボタンで、「セーブ SMFソング」を選び、［VALUE▲］ボタンを押して、SMFソングのセーブ機能を選びます。

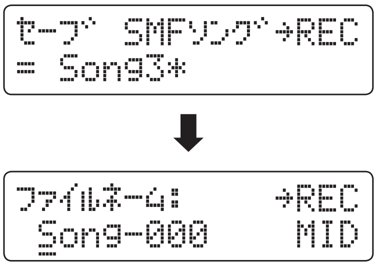
ディスプレイにソングメモリー選択画面が表示されます。



2. 保存したいソングを選ぶ

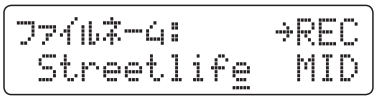
［VALUE］で保存したい内部ソングメモリーを選びます。

［REC］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。



3. ファイル名をつける

［MENU］ボタンを押してカーソルを移動し、［VALUE］ボタンを押して、ファイル名をつけます。



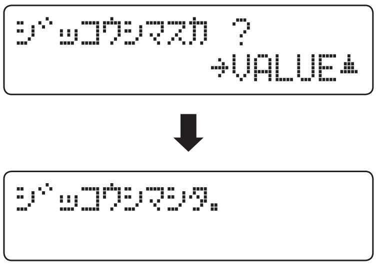
* ファイル名は最大11文字です。

* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

4. 保存する

［REC］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［VALUE▲］ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押します。



5. USBメニューを終わる

［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

4 内部ソング形式で保存する

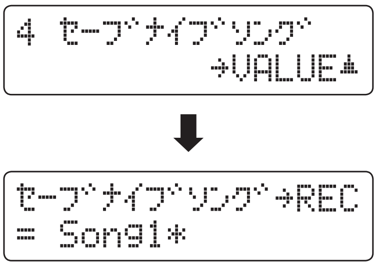
内部レコーダーのソングメモリーの内容を、内部ソング形式でUSBメモリーに保存します。

1. 内部ソングセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「セーブ ナイブソング」を選び、[VALUE▲]ボタンを押して、内部ソングのセーブ機能を選びます。

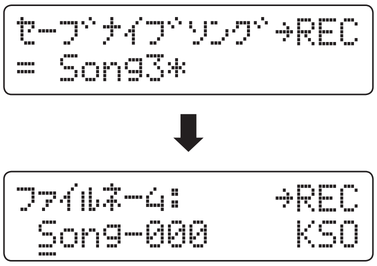
ディスプレイにソングメモリー選択画面が表示されます。



2. 保存したいソングを選ぶ

[VALUE]で保存したい内部ソングメモリーを選びます。

[REC]ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

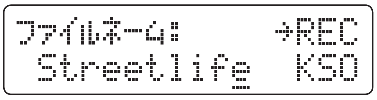


3. ファイル名をつける

[MENU]ボタンを押してカーソルを移動し、[VALUE]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

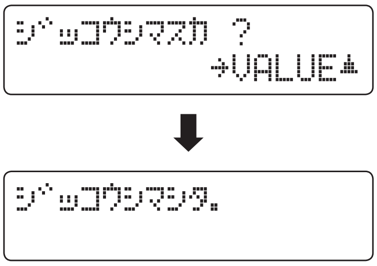
* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。
  異なるフォルダーへは保存できません。



4. 保存する

[REC]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE▲]ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、[PLAY/STOP]ボタンを押します。



5. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

5 レジストレーションを保存する

本機のレジストレーションメモリーの内容をUSBメモリーに保存できます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

■ レジストレーションファイルの種類

種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての9レジストレーションを格納します。	KM3

1. レジストセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［MENU］ボタンで、「セーブ レジスト」を選び、［VALUE▲］ボタンを押して、レジストレーションのセーブ機能を選びます。

ディスプレイにレジストレーションメモリー選択画面が表示されます。

```
5 ｾｰﾌﾞ ﾚｼﾞｽﾄ
          →VALUE▲
```

⬇

```
ｾｰﾌﾞ ﾚｼﾞｽﾄ   →REC
= All
```

2. 保存したいレジストレーションを選ぶ

［VALUE］で保存したいレジストレーションメモリーを選びます。

* 「All」を選ぶと、全てのレジストレーションを一つのファイルへ保存します。

［REC］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

```
ｾｰﾌﾞ ﾚｼﾞｽﾄ   →REC
= 2
```

⬇

```
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:      →REC
 OneReg-000   KM6
```

3. ファイル名をつける

［MENU］ボタンを押してカーソルを移動し、［VALUE］ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

```
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:      →REC
 DonnyH_      KM6
```

4. 保存する

［REC］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［VALUE▲］ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押します。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
          →VALUE▲
```

⬇

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡
```

6 ファイル名を変更する

USBメモリー内のファイル名を変更することができます。

1. リネーム機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「リネーム」を選び、[VALUE▲]ボタンを押して、ファイル名の変更(リネーム)機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、49ページを参照してください。

```
6 ﾘﾈｰﾑ
         →VALUE▲
```

⬇

```
▶Audio_002   MP3
 Audio_003   MP3
```

2. リネームしたいファイルを選ぶ

[VALUE]でファイルを選び、[MENU▲]ボタンを押して決定します。

ディスプレイにファイル名の編集画面が表示されます。

```
▶Audio_003   MP3
 Audio_004   MP3
```

3. ファイル名をつける

[MENU]ボタンを押してカーソルを移動し、[VALUE]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

```
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:    →REC
 James'G     MP3
```

4. リネームを実行する

[REC]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE▲]ボタンを押すと、選択したファイルのリネームを実行します。
キャンセルしたい場合は、[PLAY/STOP]ボタンを押します。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
         →VALUE▲
```

⬇

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡
```

5. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

7 ファイルを消去する

USBメモリー内のファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

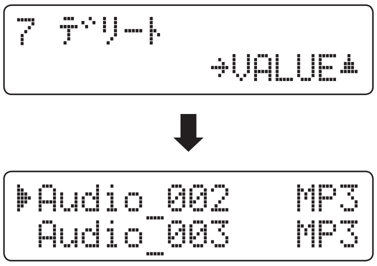
1. デリート機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「デリート」を選び、[VALUE▲]ボタンを押して、ファイルの消去（デリート）機能を選びます。

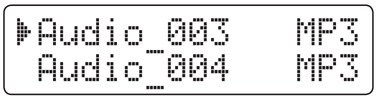
ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、49ページを参照してください。



2. デリートしたいファイルを選ぶ

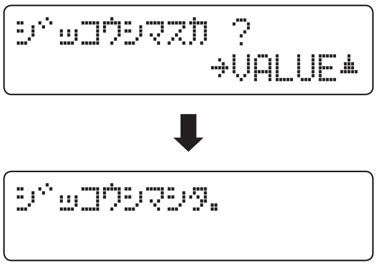
[VALUE]でファイルを選び、[MENU▲]ボタンを押して決定します。



3. デリートを実行する

[REC]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE▲]ボタンを押すと、選択したファイルのデリートを実行します。
キャンセルしたい場合は、[PLAY/STOP]ボタンを押します。



4. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

8 フォーマット（初期化）する

接続したUSBメモリーをフォーマットすることができます。

> ⚠ **フォーマットを実行するとUSBメモリー内のデータがすべて消去されますので、十分ご注意ください。**

1. フォーマット機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［MENU］ボタンで、「フォーマット」を選び、［VALUE▲］ボタンを押して、USBメモリーのフォーマット機能を選びます。

ディスプレイに確認のメッセージが表示されます。

```
8 ﾌｫｰﾏｯﾄ
          →VALUE▲
```

```
ﾌｫｰﾏｯﾄ ?
ﾊｲ→REC  ｲｲｴ→STOP
```

2. 確認する

［REC］ボタンを押すと、次の確認画面へ進みます。
［PLAY/STOP］ボタンを押した場合は、フォーマットはキャンセルされます。

```
ﾌｫｰﾏｯﾄ ?
ﾊｲ→REC  ｲｲｴ→STOP
```

3. フォーマットを実行する

［VALUE▲］ボタンを押すと、フォーマットを実行します。
キャンセルしたい場合は、［PLAY/STOP］ボタンを押します。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
          →VALUE▲
```

```
ﾌｫｰﾏｯﾄﾁｭｳ...
              30%
```

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡
```

4. USBメニューを終わる

［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

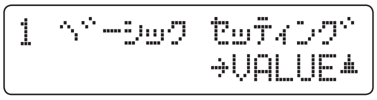
設定メニューについて

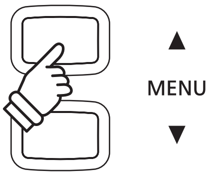
設定メニューでは、演奏を楽しむためのさまざまな設定ができます。

これらの設定は、9つのレジストレーションメモリーへ保存したり、ユーザーメモリー機能で、電源オン時の設定とすることができます。

■ 設定メニューへ入る

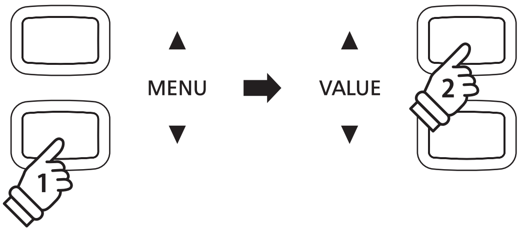
通常の演奏画面で［MENU］ボタンを押すと、メニューリスト画面が表示されます。





［MENU］ボタンを押して、目的のメニューを選びます。

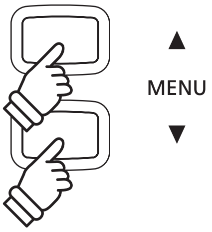
［VALUE▲］ボタンを押すと、そのメニューの設定画面へ入ります。



■ 設定メニューを終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、メニューリスト画面に戻ります。

再度［MENU］ボタンを同時に押すと、通常の演奏画面へ戻ります。



■ 設定メニュー 一覧

1. ベーシックセッティング
イコライザー、スピーカーボリューム、
ヘッドホンボリューム、ラインアウトボリューム、録音レベル、
チューニング、ダンパーホールド、4ハンズ、ユーザーメモリー、
ファクトリーリセット、表示言語

2. コンサートチューナー
ダンパーレゾナンス、ストリングレゾナンス、
キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、音律、
音律の主音

3. キーセッティング
ロワーオクターブシフト、ロワーペダルオン／オフ、
レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、

4. MIDIセッティング
MIDIチャンネル、プログラムチェンジ送信、
ローカルコントロール、プログラムチェンジ送信オン／オフ、
マルチティンバーモード、チャンネルミュート

5. 電源セッティング
オートパワーオフ

ベーシックセッティング

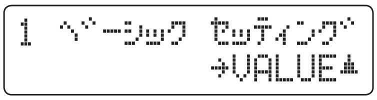
ベーシックセッティングでは通常演奏時に関わる設定を操作したり、各種設定を保存したりすることができます。

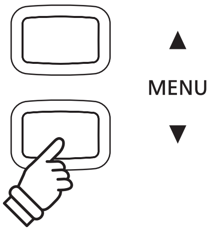
■ ベーシックセッティングの内容と工場出荷時の設定

ページ	項目	内容	初期設定
1-1	イコライザー	全体の音質を変えます。	オフ
1-2	スピーカーボリューム	スピーカー出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-3	ヘッドホンボリューム	ヘッドホン出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-4	ラインアウトボリューム	ラインアウト出力のレベルを調節します。	10
1-5	録音レベル	MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを調節します。	0dB
1-6	チューニング	0.5Hz単位で、ピッチを調節します。	440.0Hz
1-7	ダンパーホールド	オルガンやストリングスの音へのサスティンペダルの効果を選びます。	オフ
1-8	4ハンズモード	「4ハンズモード」をオン／オフします。	オフ
1-9	ユーザーメモリー	電源オン時の設定として、パネル設定を保存します。	ー
1-10	ファクトリーリセット	工場出荷時の状態へ戻します。	ー
1-11	表示言語	ディスプレイに表示される言語を選びます。	ニホンゴ

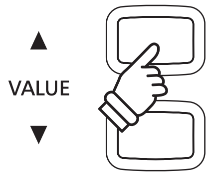
■ ベーシックセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、［MENU］ボタンを押して「ベーシックセッティング」を選びます。



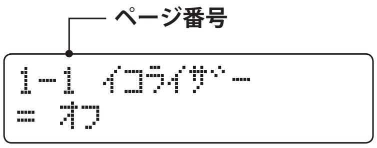


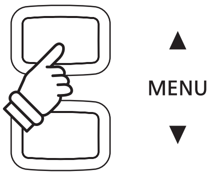
［VALUE▲］ボタンを押すと、「ベーシックセッティング」の設定画面へ入ります。



■ 変更したい項目を選ぶ

ベーシックセッティング画面で［MENU］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。





1-1 全体の音質を変える（イコライザー）

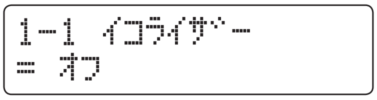
イコライザーによって演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。イコライザーの種類は以下のようになっています。

■ イコライザーの種類

種類	効果
オフ	イコライザーはかかりません。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。

1. イコライザーの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、イコライザーの設定ページを選びます。

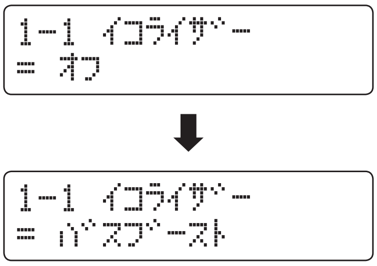


2. イコライザーの種類を変更する

［VALUE］ボタンを押すと、イコライザーの種類が変更されます。

* イコライザーの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* イコライザーの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）



3. イコライザーの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、イコライザーの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

ベーシックセッティング

■ ユーザーEQ設定項目

周波数帯域	内容
ロー	低音域をブースト/カットします。
ミッドロー	中低音域をブースト/カットします。
ミッドハイ	中高音域をブースト/カットします。
ハイ	高音域をブースト/カットします。

1. ユーザーEQ設定へ入る

イコライザーの設定ページで［VALUE］ボタンを押して、「ユーザー」を選びます。

［MENU▲］ボタンを押すと、ユーザーEQの設定ページが表示されます。

```
1-1 イコライザー
= ユーザー
```

⬇

```
1-1 ユーザー ロー
=  0 dB
```

2. ユーザーEQを設定する

［MENU］ボタンを押して、設定したい周波数帯域を選びます。
［VALUE］ボタンを押して、選んだ周波数帯域を調節します。

* 各帯域は、-6dB～+6dBの範囲で調節できます。

```
1-1 ユーザー ロー
=  0 dB
```

⬇

```
1-1 ユーザー ハイ
= +6 dB
```

3. ユーザーEQ設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ユーザーEQの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-2 スピーカーボリューム

初期設定は、『ノーマル』になっています。『チイサイ』に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要ない場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

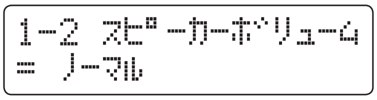
* この設定は、ヘッドホン出力やラインアウトには効きません。

■ スピーカーボリュームの設定

種類	内容
ノーマル（初期設定）	通常の音量でスピーカーが鳴ります。
チイサイ	小さい音量でスピーカーが鳴ります。

1. スピーカーボリュームの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、スピーカー音量の設定ページを選びます。

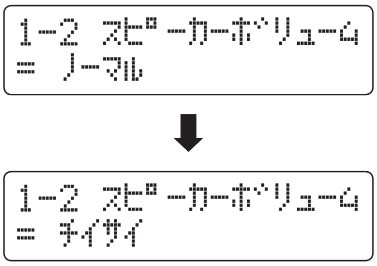


2. スピーカーボリュームの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、スピーカー音量の「ノーマル」と「チイサイ」を選択します。

* スピーカー音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* スピーカー音量の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→78ページ）



3. スピーカーボリュームの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、スピーカー音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-3 ヘッドホンボリューム

初期設定は、『ノーマル』になっています。『オオキイ』に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

* この設定は、スピーカー出力やラインアウトには効きません。

■ ヘッドホンボリュームの設定

種類	内容
ノーマル（初期設定）	通常の音量でヘッドホンが鳴ります。
オオキイ	大きい音量でヘッドホンが鳴ります。

1. ヘッドホンボリュームの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、ヘッドホン音量の設定ページを選びます。

1-3 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾉｰﾏﾙ

2. ヘッドホンボリュームの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ヘッドホン音量の「ノーマル」と「オオキイ」を選択します。

* ヘッドホン音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ヘッドホン音量の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→78ページ）

1-3 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾉｰﾏﾙ

⬇

1-3 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ｵｵｷｲ

3. ヘッドホンボリュームの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ヘッドホン音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-4 ラインアウトボリューム

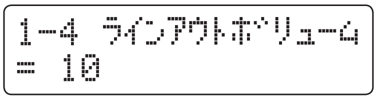
ラインアウトの音量を調節します。

ラインアウトボリュームとマスターボリューム（→12ページ）は独立して効きますので、PA機器に接続した場合など、ライン出力と内蔵スピーカーのモニター音量をそれぞれ調節することができます。

* この設定は、スピーカー/ヘッドホン出力には効きません。

1. ラインアウトボリュームの設定に入る

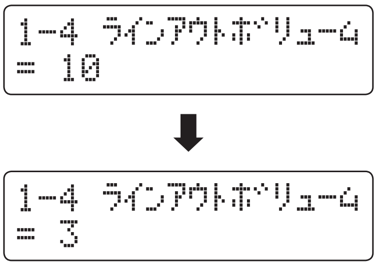
ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、ラインアウトボリュームの設定ページを選びます。



2. ラインアウトボリュームの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ラインアウトボリュームを調節します。

* ラインアウトボリュームは、0～10の範囲で調節できます。
* ラインアウトボリュームの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ラインアウトボリュームの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→78ページ）



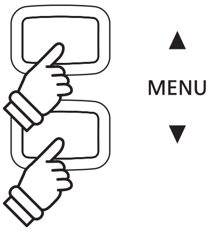
3. ラインアウトボリュームの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ラインアウトボリュームの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

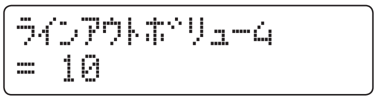
または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

■ 演奏中のラインアウトボリュームの調節

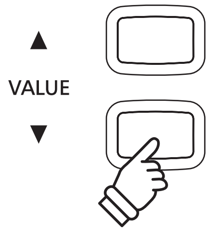
演奏中などに素早くラインアウトボリュームを調節したい場合は、次の手順で調節します。



通常画面で［MENU］ボタンを同時に押すと、ラインアウトボリューム調節画面が表示されます。



［VALUE］ボタンを押して、ラインアウトボリュームを調節します。



音色ボタンを押すか、そのまま数秒すると元の画面へ戻ります。

1-5 オーディオ録音レベル

一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器(ピアノ)はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した波形は小さくなります。ここでは、MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを+15dBまで上げることができます。

1. オーディオ録音レベルの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→68ページ)で[MENU]ボタンを押し、オーディオ録音レベルの設定ページを選びます。

```
1-5 ロクオン レヘ゛ル
= 0 dB
```

2. オーディオ録音レベルの設定を変更する

[VALUE]ボタンを押して、オーディオ録音レベルを調節します。

* オーディオ録音レベルは、0～+15dBの範囲で調節できます。

* オーディオ録音レベルを上げると、大きな音やフォルティッシモでの演奏で録音が歪むことがありますのでご注意ください。

* オーディオ録音レベルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* オーディオ録音レベルの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→78ページ)

```
1-5 ロクオン レヘ゛ル
= 0 dB
```

⬇

```
1-5 ロクオン レヘ゛ル
= +10 dB
```

3. オーディオ録音レベルの設定を終わる

2つの[MENU]ボタンを同時に押すと、オーディオ録音レベルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-6 チューニング

チューニングとは他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

1. チューニングの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、チューニングの設定ページを選びます。

```
1-6 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= 440.0 Hz
```

2. チューニングの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、チューニングを、0.5Hz単位で調節します。

* チューニングは、427.0Hzから453.0Hzの範囲で調節できます。

* チューニングの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* チューニングの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
1-6 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= 440.0 Hz
```

⬇

```
1-6 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= 437.5 Hz
```

3. チューニングの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、チューニングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-7 ダンパーホールドのON/OFF

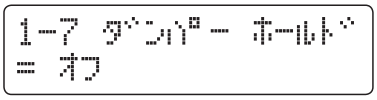
ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。

■ ダンパーホールドの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。
オン	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音が持続します。

1. ダンパーホールドの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、ダンパーホールドの設定ページを選びます。

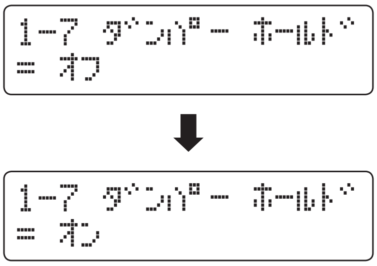


2. ダンパーホールドの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ダンパーホールドをオン/オフします。

* ダンパーホールドの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ダンパーホールドの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）



3. ダンパーホールドの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ダンパーホールドの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-8 4ハンズモードのON/OFF

4ハンズモードのオン/オフができます。4ハンズモードの操作は［SPLIT］ボタンとペダルを使って入ったときと同様です。初期設定ではスプリットポイントは F3（ファ）に設定されています。

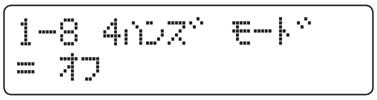
* 4ハンズモードについては、20ページを参照してください。

■ 4ハンズモードの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	4ハンズモードをオフします。
オン	4ハンズモードをオンします。

1. 4ハンズモードの設定に入る

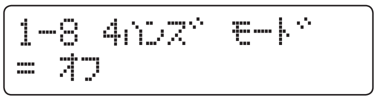
ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、4ハンズモードの設定ページを選びます。

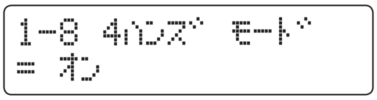


2. 4ハンズモードの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、4ハンズモードをオン/オフします。

* 4ハンズモードをオンにすると、［SPLIT］ボタンが点滅します。
* 4ハンズモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* 4ハンズモードの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）





3. 4ハンズモードの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、4ハンズモードの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-9 ユーザーメモリーの使い方

自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。その操作をユーザーメモリーと言います。記憶される内容は以下のとおりです。

■ ユーザーメモリーに記憶される内容

パネル
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）
スプリットポイント
リバーブ、エフェクト
タッチ、トランスポーズ（キートランスポーズのみ）
メトロノーム設定

設定メニュー
ベーシックセッティング
コンサートチューナー
キーセッティング
MIDIセッティング

* 電源セッティングは自動的に記憶されます。

1. ユーザーメモリー機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で［MENU］ボタンを押し、ユーザーメモリー機能ページを選びます。

1-9 ユーザ゛ー メモリー
ホゾ゛ンシマスカ?　→REC

2. ユーザーメモリーに保存する

［REC］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。
［VALUE▲］ボタンを押すと、保存を実行します。

シ゛ッコウシマスカ?
→VALUE▲

⬇

シ゛ッコウシマシタ。

保存が終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

* 電源セッティングは、ユーザーメモリーには記憶されません。
電源オフ時に、自動的に記憶されます。

1-10 ファクトリーリセットの使い方

ファクトリーリセットを行うとユーザーメモリーで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

* この機能は、レジストレーションやレコーダーの内容は消去しません。

1. ファクトリーリセット機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で[MENU]ボタンを押し、ファクトリーリセット機能ページを選びます。

```
1-10 ﾌｧｸﾄﾘｰ ﾘｾｯﾄ
ﾘｾｯﾄｼﾏｽｶ?    →REC
```

2. リセットを実行する

[REC]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。
[VALUE▲]ボタンを押すと、リセットを実行します。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ?
          →VALUE▲
```

⬇

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡
```

リセットが終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

* レジストレーションの設定を購入時の設定に戻すには36ページを参照してください。

* レコーダーのデータを全て消去して購入時の状態に戻すには46ページを参照してください。

1-11 表示言語の設定

ディスプレイに表示される言語を日本語と英語の 2 言語より選択できます。

1. 表示言語の設定ページに入る

ベーシックセッティング画面（→68ページ）で[MENU]ボタンを押し、表示言語の設定ページを選びます。

```
1-11 ﾋｮｳｼﾞｹﾞﾝｺﾞ
= ﾆﾎﾝｺﾞ
```

2. 表示言語を選択する

[VALUE]ボタンを押して、日本語か英語かを選びます。

```
1-11 Language
= English
```

3. 表示言語の設定を終わる

2つの[MENU]ボタンを同時に押すと、表示言語の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

```
 Concert Grand
```

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

コンサートチューナー

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

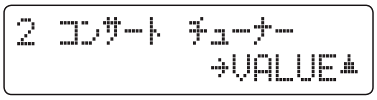
「コンサートチューナー」はこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。またこれらの設定は、レジストレーションに記憶することができます。レジストレーションについては35ページをご参照ください。

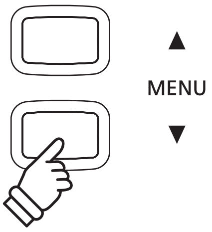
■ コンサートチューナーの内容と工場出荷時の設定

ページ	項目	内容	初期設定
2-1	ダンパーレゾナンス	ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果音の量を調整します。	5
2-2	ストリングレゾナンス	ピアノの弦の共鳴効果音の量を調整します。	5
2-3	キーオフエフェクト	ピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときのダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。	5
2-4	キーアクションノイズ	鍵盤のアクションが戻るときの音の音量を調整します。	5
2-5	音律設定	音律を選択します。	平均律（ピアノ）
	音律の主音	平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。	C

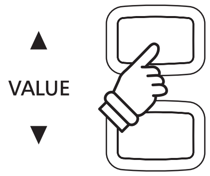
■ コンサートチューナーへ入る

メニューリスト画面に入った後、[MENU] ボタンを押して「コンサートチューナー」を選びます。



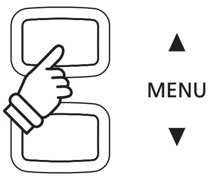


[VALUE▲] ボタンを押すと、「コンサートチューナー」の設定画面へ入ります。



■ 変更したい項目を選ぶ

コンサートチューナー画面で [MENU] ボタンを押し、変更したい項目を選びます。



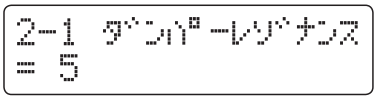
2-1 ダンパーレゾナンス

ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を調整することができます。

* ダンパーレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

1. ダンパーレゾナンスの設定に入る

コンサートチューナー画面（→80ページ）で［MENU］ボタンを押し、ダンパーレゾナンスの設定ページを選びます。



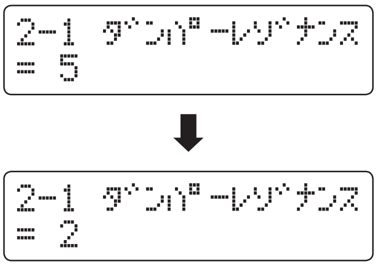
2. ダンパーレゾナンスの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ダンパーレゾナンスの設定を選びます。

* ダンパーレゾナンスは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。

* ダンパーレゾナンスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ダンパーレゾナンスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）



3. ダンパーレゾナンスの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ダンパーレゾナンスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-2 ストリングレゾナンス

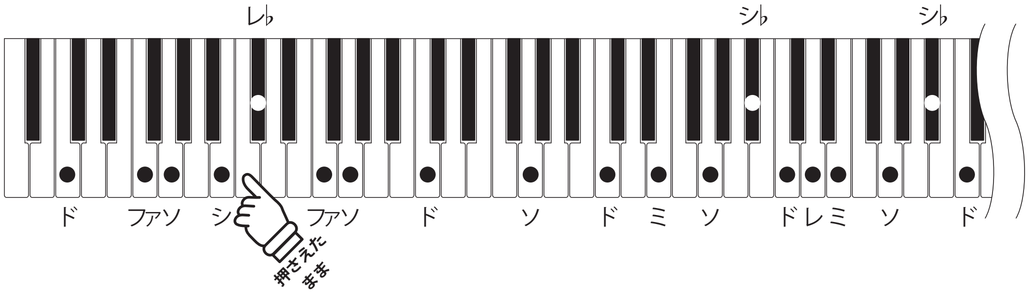
ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて調整することができます。

* ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はストリングレゾナンス効果はありません。

* ストリングレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

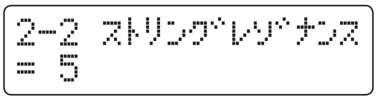
■ ストリングレゾナンスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「ストリングレゾナンス」です。
例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。



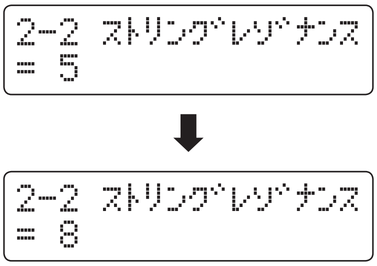
1. ストリングレゾナンスの設定に入る

コンサートチューナー画面（→80ページ）で［MENU］ボタンを押し、ストリングレゾナンスの設定ページを選びます。



2. ストリングレゾナンスの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ストリングレゾナンスの設定を選びます。



* ストリングレゾナンスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。

* ストリングレゾナンスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ストリングレゾナンスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

3. ストリングレゾナンスの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ストリングレゾナンスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-3 キーオフエフェクト

キーオフエフェクトは、特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

* キーオフエフェクトは、ピアノ音色にのみ効果があります。

1. キーオフエフェクトの設定に入る

コンサートチューナー画面（→80ページ）で［MENU］ボタンを押し、キーオフエフェクトの設定ページを選びます。

```
2-3 キーオフエフェクト
= 5
```

2. キーオフエフェクトの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、キーオフエフェクトの設定を選びます。

* キーオフエフェクトは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。
* キーオフエフェクトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* キーオフエフェクトの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
2-3 キーオフエフェクト
= 5
```

↓

```
2-3 キーオフエフェクト
= 10
```

3. キーオフエフェクトの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、キーオフエフェクトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-4 キーアクションノイズ

　鍵盤を離したときの、鍵盤アクションが戻った時に発生する音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

* キーアクションノイズは、ピアノ音色にのみ効果があります。

1. キーアクションノイズの設定に入る

　コンサートチューナー画面（→80ページ）で［MENU］ボタンを押し、キーアクションノイズの設定ページを選びます。

```
2-4 ｷｰｱｸｼｮﾝﾉｲｽﾞ
= 5
```

2. キーアクションノイズの設定を変更する

　［VALUE］ボタンを押して、キーアクションノイズの設定を選びます。

* キーアクションノイズは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
* キーアクションノイズの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* キーアクションノイズの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
2-4 ｷｰｱｸｼｮﾝﾉｲｽﾞ
= 5
```

⬇

```
2-4 ｷｰｱｸｼｮﾝﾉｲｽﾞ
= ｵﾌ
```

3. キーアクションノイズの設定を終わる

　2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、キーアクションノイズの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-5 音律の設定

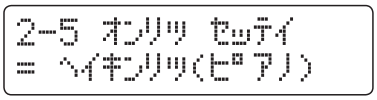
CN34ではピアノの調律法として最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

■ 音律の種類

音律名	音律の説明
平均律（ピアノ） （Equal P.only）	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律（フラット）に従います。
純正律〈長調/短調〉 （Pure Major/minor）	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
ピタゴラス音律 （Pythagorean）	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
中全音律 （Meantone）	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第Ⅲ法 （Werkmeister） キルンベルガー第Ⅲ法 （Kirnberger）	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した"調性の性格"を反映することのできる調律法です。
平均律（フラット） （Equal Flat）	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特徴があります。
平均律 （Equal Stretch）	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。

1. 音律の設定に入る

コンサートチューナー画面（→80ページ）で［MENU］ボタンを押し、音律の設定ページを選びます。

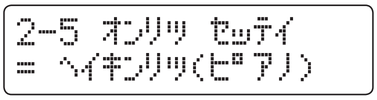


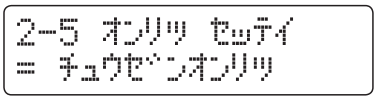
2. 音律の設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、音律の設定を選びます。

* 音律の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* 音律の設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）



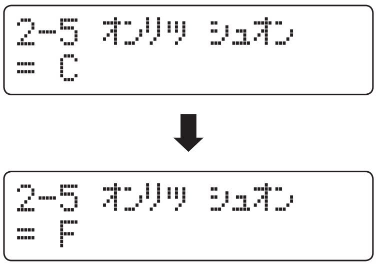


音律の主音の設定

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。演奏する曲の調号に合わせます。この機能は「純正律（長調/短調）」「ピタゴラス音律」「中全音律」「ヴェルクマイスター第III法」「キルンベルガー第III法」が選ばれている時のみディスプレイに表示されます。

■ 音律の主音の設定を変更する

音律で「純正律（長調/短調）」「ピタゴラス音律」「中全音律」「ヴェルクマイスター第III法」「キルンベルガー第III法」が選ばれている時に、[MENU]ボタンを押して、音律の主音の設定ページを選びます。



[VALUE]ボタンを押して、音律の主音を変更します。

* 音律の主音は、C音からB音の12音の範囲で選びます。

キーセッティング

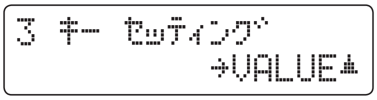
キーセッティングではデュアル演奏やスプリット演奏時における、音色のオクターブ設定やダンパーの設定を行います。

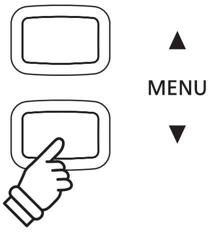
■ キーセッティングの内容

ページ	種類	説明	初期設定
3-1	ロワーオクターブ	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のピッチをオクターブ単位で上げます。	0
3-2	ロワーペダル	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のペダル機能をオン/オフします。	オフ
3-3	レイヤーオクターブ	デュアル演奏時、重ねる音色のピッチをオクターブ単位で上げ下げします。	0
3-4	レイヤーダイナミクス	デュアル演奏時、重ねる音色のタッチ変化を調整します。	10

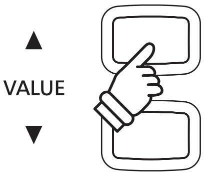
■ キーセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、［MENU］ボタンを押して「キーセッティング」を選びます。



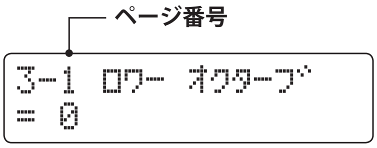


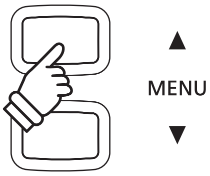
［VALUE▲］ボタンを押すと、「キーセッティング」の設定画面へ入ります。



■ 変更したい項目を選ぶ

キーセッティング画面で［MENU］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。





3-1 ロワーオクターブシフト

ロワーオクターブシフトとは、スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。

1. ロワーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティング画面（→87ページ）で［MENU］ボタンを押し、ロワーオクターブシフトの設定ページを選びます。

```
3-1 ロワー オクターブ
= 0
```

2. ロワーオクターブシフトの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ロワーオクターブシフトを設定します。

* 低音側の鍵盤のピッチを3オクターブまで上げることができます。
* ロワーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ロワーオクターブシフトの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
3-1 ロワー オクターブ
= 0
```

⬇

```
3-1 ロワー オクターブ
= +3
```

3. ロワーオクターブシフトの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ロワーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-2 ロワーペダルのON/OFF

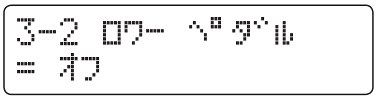
スプリット演奏時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定できます。高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

■ ロワーペダルの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。
オン	ペダルを踏んで演奏したときに低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。

1. ロワーペダルの設定に入る

キーセッティング画面（→87ページ）で［MENU］ボタンを押し、ロワーペダルの設定ページを選びます。

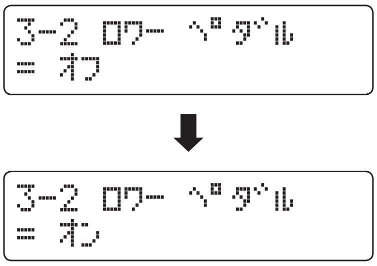


2. ロワーペダルの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ロワーペダルをオン/オフします。

* ロワーペダルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ロワーペダルの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）



3. ロワーペダルの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ロワーペダルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-3 レイヤーオクターブシフト

レイヤーオクターブシフトとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色）の音域をオクターブ単位で移動することです。

例えば「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて（あるいは下げて）演奏することができます。

1. レイヤーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティング画面（→87ページ）で［MENU］ボタンを押し、レイヤーオクターブシフトの設定ページを選びます。

```
3-3 レイヤー オクターブ
= 0
```

2. レイヤーオクターブシフトの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、レイヤーオクターブシフトを設定します。

* レイヤー音色のピッチを上下2オクターブまで変更することができます。
* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
3-3 レイヤー オクターブ
= 0
```

```
3-3 レイヤー オクターブ
= +2
```

3. レイヤーオクターブシフトの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、レイヤーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-4 レイヤーダイナミクス

レイヤーダイナミクスとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色）のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、通常の設定ではどちらの音色も同じように強弱が変化しますが、「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

1. レイヤーダイナミクスの設定に入る

キーセッティング画面（→87ページ）で［MENU］ボタンを押し、レイヤーダイナミクスの設定ページを選びます。

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 10
```

2. レイヤーダイナミクスの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、レイヤーダイナミクスの設定を選びます。

* レイヤーダイナミクスは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。
* レイヤーダイナミクスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* レイヤーダイナミクスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 10
```

⬇

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 5
```

3. レイヤーダイナミクスの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、レイヤーダイナミクスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

MIDIセッティング

MIDIについて

MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

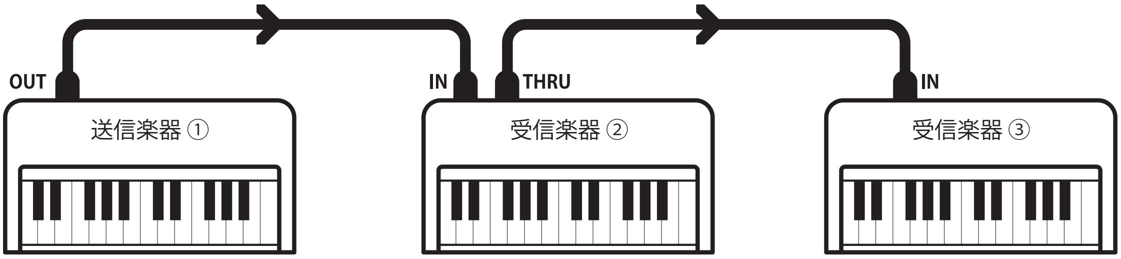
■ MIDI端子の種類

MIDI端子名	機能
MIDI IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
MIDI OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

■ MIDIチャンネルについて

MIDIにはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常 MIDI機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

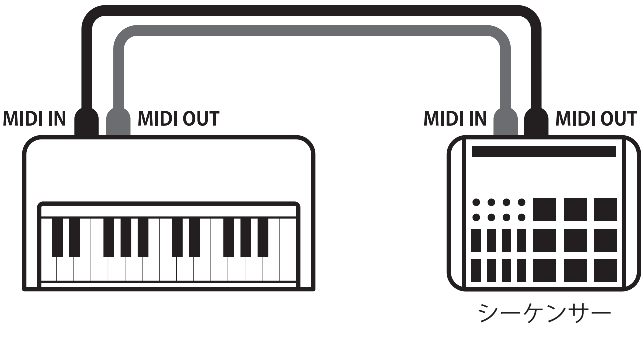
例えば 3 台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②・③に送ります。
受信楽器②・③には①からの情報が送られてきます。基本的には受信楽器②・③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。
チャンネル番号は、送信 / 受信とも 1 ～ 16 までの番号を使用することができます。

■ MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、CN34の演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、CN34の設定をマルチティンバーオンにして録音/再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。



■ MIDI機能

CN34の MIDI機能は以下の通りです。

鍵盤情報の送信・受信

CN34を弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

送信・受信チャンネルの設定

送信受信チャンネルを1〜16の範囲で設定することができます。

エクスクルーシブデータの送信・受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

マルチティンバーの設定

CN34が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

プログラム（音色）ナンバーの送信

CN34を弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON/OFF情報の送信・受信ができます。

ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、CN34の音を出しているとき、シンセサイザーでCN34の音量をコントロールすることができます。

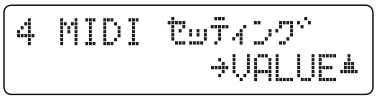
* CN34のMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」（124ページ）をご覧ください。

■ MIDIセッティングの内容

ページ	変更項目	内容	初期設定
4-1	MIDIチャンネル	MIDI送受信チャンネルを設定します。	1
4-2	プログラムナンバー送信	1〜128のプログラムチェンジを送信します。	1
4-3	ローカルコントロール	本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定します。	オン
4-4	プログラムナンバー送信のオン／オフ	音色を変更した時にプログラムチェンジを送信するか・しないかを設定します。	オン
4-5	マルチティンバーモード	複数のMIDIチャンネルを受信して異なる音色を同時に出すことができます。	オフ
	チャンネルミュート	MIDIチャンネル毎に、受信するか・しないかを設定します。	全てプレイ

■ MIDIセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、［MENU］ボタンを押して「MIDIセッティング」を選びます。

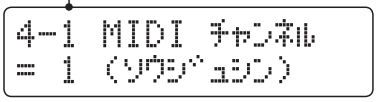


［VALUE▲］ボタンを押すと、「MIDIセッティング」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

MIDIセッティング画面で［MENU］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

ページ番号



4-1 MIDI送受信チャンネル

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、CN34では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

1. MIDI送受信チャンネルの設定に入る

MIDIセッティング画面（→92ページ）で［MENU］ボタンを押し、MIDI送受信チャンネルの設定ページを選びます。

```
4-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
= 1 (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

2. MIDI送受信チャンネルの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、MIDIチャンネルを変更します。

* MDIチャンネルは、1〜16チャンネルから選ぶことができます。

* MIDIチャンネルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* MIDIチャンネルの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
4-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
= 1 (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

⬇

```
4-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
= 5 (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

3. MIDI送受信チャンネルの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、MIDIチャンネルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

■ オムニオン/オムニオフについて

CN34は電源オン時には、1〜16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから 1 に戻してください。

■ マルチティンバーモードがオンのとき

スプリット演奏時

低音側の演奏は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信されます。
例えば、ここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

デュアル演奏時

第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信されます。
例えば、ここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、デュアル演奏の第2音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

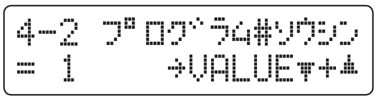
* チャンネルを 16 に設定した場合は、1 チャンネルで送信します。

4-2 プログラムナンバー送信

CN34では1～128までのプログラムナンバーを送信することができます。

1. プログラムナンバー送信ページに入る

MIDIセッティング画面（→92ページ）で［MENU］ボタンを押し、プログラムナンバー送信ページを選びます。

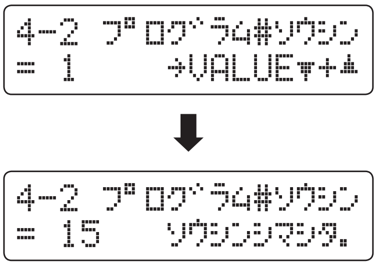


2. プログラムナンバーを送信する

［VALUE］ボタンを押して、プログラムナンバーを選びます。

* プログラムナンバーは、1～128から選ぶことができます。

2つの［VALUE］ボタンを同時に押すと、プログラムナンバーの送信が実行されます。



3. プログラムナンバー送信を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、プログラムナンバー送信を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

4-3 ローカルコントロール

このモードは本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。

■ ローカルコントロールの設定

種類	内容
オフ	鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけで MIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。
オン（初期設定）	通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

1. ローカルコントロールの設定に入る

MIDIセッティング画面（→92ページ）で［MENU］ボタンを押し、ローカルコントロールの設定を選びます。

```
4-3 ローカルコントロール
= オン
```

2. ローカルコントロールの設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、ローカルコントロールをオン/オフします。

* ローカルコントロールの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ローカルコントロールの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
4-3 ローカルコントロール
= オン
```

⬇

```
4-3 ローカルコントロール
= オフ
```

3. ローカルコントロールの設定を終わる

2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、ローカルコントロールの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

4-4 プログラムナンバー送信のON/OFF

CN34では音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。

また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

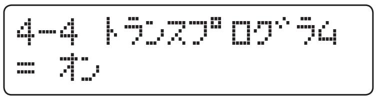
■ プログラムナンバー送信の設定

プログラム送信設定	マルチティンバー設定	内容
オン（初期設定）	オフ、オン1	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン	オン2	音色を変更すると、音色リストの右列のプログラムナンバーを送信します。
オフ	オフ	プログラムチェンジは送信されません。

* 各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧（106ページ）をご参照ください。

1. プログラムナンバー送信の設定に入る

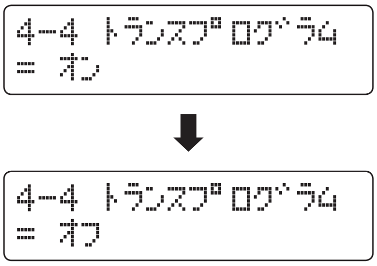
MIDIセッティング画面（→92ページ）で［MENU］ボタンを押し、プログラムナンバー送信の設定を選びます。



2. プログラムナンバー送信の設定を変更する

［VALUE］ボタンを押して、プログラムナンバー送信をオン/オフします。

* プログラムナンバー送信の設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* プログラムナンバー送信の設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）



■ デュアル・スプリットモードのときについて

- デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。
- マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

4-5 マルチティンバーモード

　通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。

　この機能により、外部にシーケンサーを使って、CN34 1台で複数の音色（マルチティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

■ マルチティンバーモードの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン1	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン2	音色を変更すると、音色リストの右列のプログラムナンバーを送信します。

* 受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧（106ページ）をご参照ください。

1. マルチティンバーモードの設定に入る

　MIDIセッティング画面（→92ページ）で［MENU］ボタンを押し、マルチティンバーモードの設定を選びます。

```
4-5 ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰ
= ｵﾌ
```

2. マルチティンバーモードの設定を変更する

　［VALUE］ボタンを押して、マルチティンバーモードを設定します。

* マルチティンバーモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* マルチティンバーモードの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
4-5 ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰ
= ｵﾌ
```

⬇

```
4-5 ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰ
= ｵﾝ1
```

3. マルチティンバーモードの設定を終わる

　2つの［MENU］ボタンを同時に押すとマルチティンバーモードの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

チャンネルミュート

　マルチティンバーモードがオンのときのみ、この画面が表示されます。ここでは、各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

■ チャンネルミュートの設定

種類	内容
プレイ（初期設定）	指定されたMIDIチャンネルでMIDI情報を送信します。
ミュート	指定されたMIDIチャンネルはMIDI情報を送信しません。

1. チャンネルミュートの設定に入る

　MIDIセッティング画面（→92ページ）で［MENU］ボタンを押し、変更したいチャンネルのチャンネルミュートの設定ページを選びます。

```
4-5 ﾁｬﾝﾈﾙ1 ﾐｭｰﾄ
= ﾌﾟﾚｲ
```

2. チャンネルミュートの設定を変更する

　［VALUE］ボタンを押して、「プレイ」「ミュート」を切り換えます。

* チャンネルミュートの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* チャンネルミュートの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→35ページ、78ページ）

```
4-5 ﾁｬﾝﾈﾙ1 ﾐｭｰﾄ
= ﾌﾟﾚｲ
```

⬇

```
4-5 ﾁｬﾝﾈﾙ1 ﾐｭｰﾄ
= ﾐｭｰﾄ
```

3. チャンネルミュートの設定を終わる

　2つの［MENU］ボタンを同時に押すと、チャンネルミュートの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

USB MIDIについて（to HOST端子）

■ USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。
お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows ME Windows XP（SPなし, SP1, SP2, SP3） Windows XP 64-bit Windows Vista（SP1, SP2） Windows Vista 64-bit（SP1, SP2） Windows 7 Windows 7 64-bit	Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとしてWindows ME / XP / XP 64bitの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bitの場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista（SPなし）	指定の専用USB-MIDIドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vistaの場合は必ずXP互換モードでインストールしてください。 **http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/** ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit（SPなし）	USB-MIDIをサポートしておりません。SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9以前のMacintosh	OS9以前のMacintoshにはサポートしておりません。市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

■ USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。
デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。
下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。 **「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」**
お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

* Macintoshは、Apple Computer.Inc.の登録商標です。

* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

電源オン / オフの設定

5-1 電源セッティング（オートパワーオフ）

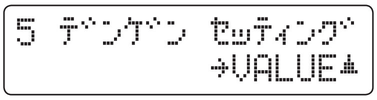
CN34では、何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

■ 電源セッティングの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
30min	30分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

1. 電源セッティングの設定に入る

メニューリスト画面に入った後、[MENU]ボタンを押して「デンゲンセッティング」を選びます。

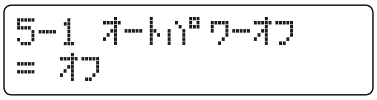


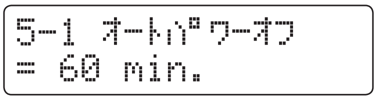
[VALUE▲]ボタンを押すと、「デンゲンセッティング」の設定画面へ入ります。

オートパワーオフの設定ページが表示されます。

2. 電源セッティングの設定を変更する

[VALUE]ボタンを押して、オートパワーオフの設定を変更します。





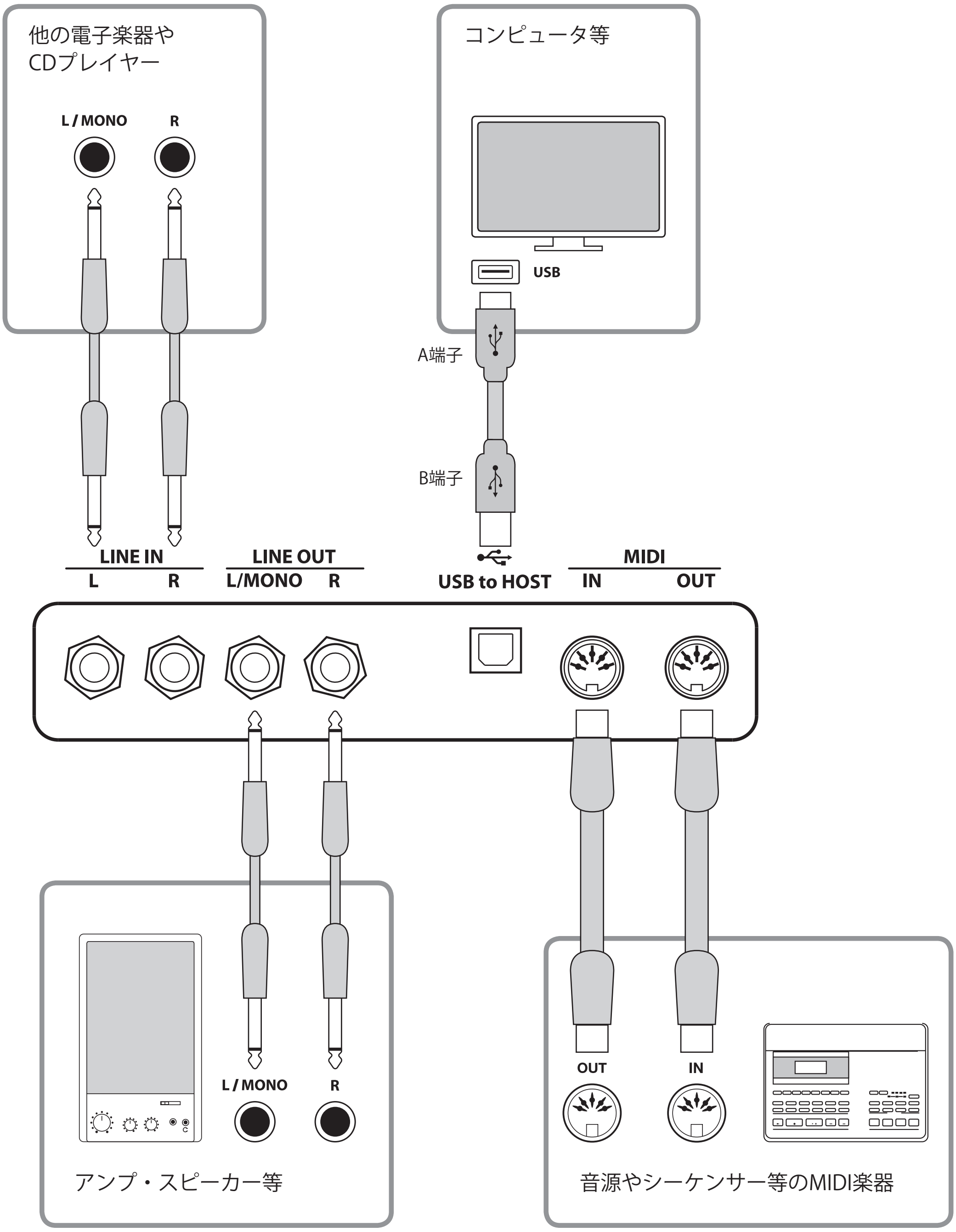
3. 電源セッティングの設定を終わる

2つの[MENU]ボタンを同時に押すと、オートパワーオフの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

他の機器との接続

CN34デジタルのピアノの本体底面には、MIDI機器、コンピューター、スピーカー、およびミキサーと接続することができる各種の端子を搭載しています。また、外部のオーディオのソース（MP3プレーヤー、タブレット機器、CDプレーヤーなど）をCN34のスピーカーシステムと接続することができます。下図は、代表的な接続例です。



- 他の機器と接続する時はCN34の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行うとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働きCN34の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直して下さい。

- CN34のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。発振音が発生し、故障の原因になります。

困ったときは？

	症状	考えられる原因と解決方法	参照ページ
電源	電源が入らない	電源コードが正しく接続されていますか？ コンセント側と本体側の両方をご確認ください。 接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。	P. 10
電源	電源が突然切れた	「オートパワーオフ」機能が設定されていませんか？ （「電源セッティング」をご確認ください。）	P. 101
発音	電源が入っているのに、音が出ない	音量が0になっていませんか？	P. 12
		ヘッドホンが接続されていませんか？	P. 12
		ローカルコントロールがオフになっていませんか？	P. 96
発音	特定の演奏、特定の音域で音が歪む	ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。 ラインアウト端子を使って外部ミキサー等を使用している場合は、ベーシックセッティングの「ラインアウトボリューム」の設定を、使用する外部機器に合わせて調節してください。	P. 73
発音	特定のピアノ音色で異音やノイズが聴こえる	グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことで豊かな音色を実現しています。それらの響きの中には、金属的な音やノイズ系の音も含まれています。また1鍵1鍵異なる響きをもっています。本機はピアノに限りなく近い音を実現させているため、このような音も聴こえることがあります。これは異常ではありません。 なお、本機はピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することが可能です。 「コンサートチューナー」の下記の設定をご確認ください。 ノイズや金属的な音がする。→ ダンパーレゾナンス P. 81	P. 80
ペダル	高音でダンパーが効かない	ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤18音には"ダンパー"という止音装置が付いておりません。CN34ではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びますので、その場合は故障ではありません。	–
ヘッドホン	ヘッドホンの音量が小さい	ご使用のヘッドホンの仕様をご確認の上、ヘッドホンのインピーダンスが100Ω以下の場合は、ベーシックセッティングの「ヘッドホンボリューム」を、「オオキイ」に設定してください。	P. 72
USB	USBメモリーが認識されない、または動作しない	動作確認されているUSBメモリーをご使用下さい。（弊社ホームページから使用できるUSB装置を確認出来ます。）	P. 57
USB	USBメモリーを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリーを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	P. 57
MP3／WAV／SMFオーディオ	曲（MP3,WAVE）を再生しても音が出ない	USB AUDIO PLAYERのボリュームが0になっていませんか？	P. 50
		再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。"オーディオ再生フォーマット仕様"の表をご確認ください。	P. 49
MP3／WAV／SMFオーディオ	USBメモリーに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。"オーディオ再生フォーマット仕様"の表をご確認ください。	P. 49
		お使いのUSBメモリーの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリーをお試しください。	P. 57
MP3／WAV／SMFオーディオ	MP3/WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる（歪んでいる）	ベーシックセッティングの「オーディオ録音レベル」の設定を調節してください。	P. 74

デモ曲一覧/レッスン曲一覧

■ デモ曲

音色名	曲名	作曲者名
PIANO1		
コンサートグランド	ハンガリー狂詩曲第6番	リスト
スタジオグランド	オリジナル	カワイ
メローグランド	ソナタ第30番	ベートーベン
モダンピアノ	オリジナル	カワイ
PIANO2		
コンサートグランド2	子犬のワルツ	ショパン
スタジオグランド2	オリジナル	カワイ
メローグランド2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
ロックピアノ	オリジナル	カワイ
ELECTRIC PIANO		
クラシックE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ2	オリジナル	カワイ
ORGAN		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲 “目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
HARPSI & MALLETS		
ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
STRINGS		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
ストリング　パッド	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季 “春”	ヴィヴァルディ
VOCAL & PAD		
クワイア	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア2	オリジナル	カワイ
ニューエイジ	オリジナル	カワイ
アトモスフィア	オリジナル	カワイ
BASS & GUITAR		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
ウッド.ベース＆ライド	オリジナル	カワイ
OTHERS		
	ラプソディー第2番（アレンジ）	ブラームス
	ピアノ協奏曲イ短調作品16	グリーグ

■ レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本　全曲　（ただし予備練習、付録を除く）（カワイ出版）
2. ブルクミュラー25の練習曲　全曲　（カワイ出版）
3. チェルニー100番練習曲　全曲　（カワイ出版）
4. チェルニー30番練習曲　全曲　（カワイ出版）

コンサートマジック曲目一覧

	曲名	作曲者名
	子供の曲（27曲）	
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	七つの子	本居長世
8	10人のインディアン	アメリカ民謡
9	さくらさくら	日本古謡
10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
11	ひらいたひらいた	わらべうた
12	かくれんぼ	下総皖一
13	虫のこえ	文部省唱歌
14	アイアイ	宇野誠一郎
15	うみ	井上武士
16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
17	かたつむり	文部省唱歌
18	春がきた	岡野貞一
19	森のくまさん	アメリカ民謡
20	夕やけこやけ	草川信
21	ドレミの歌	O. ハマースタイン、 R. ロジャース
22	北風こぞうの寒太郎	福田和禾子
23	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
24	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
25	パフ	P.ヤーロウ、L.リプトン
26	河はよんでいる	G. ベアール
27	こいぬのマーチ	外国曲
	ディズニー / アニメ / スクリーン（13曲）	
28	狼なんか怖くない	F.チャーチル
29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
30	ハイホー	F.チャーチル
31	ビビディバビディブー	マーク・デイヴィッド 他2名
32	星に願いを	L.ハーライン
33	小さな世界	シャーマン兄弟
34	ミッキーマウスマーチ	J.ドッド
35	さんぽ	久石譲
36	エーデルワイス	O. ハマースタイン、 R. ロジャース
37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟
38	虹の彼方に	H.アーレン
39	となりのトトロ	久石譲
40	サザエさん	筒美京平
	アメリカのクラシック音楽（9曲）	
41	聖者の行進	アメリカ民謡
42	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
43	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
44	アルプス一万尺	アメリカ民謡
45	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
46	ケンタッキーの我が家	フォスター
47	故郷の人々	フォスター
48	草競馬	フォスター
49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡

	曲名	作曲者名
	クラシック（31曲）	
50	喜びの歌	ベートーベン
51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
52	天国と地獄	オッフェンバック
53	新世界より家路	ドボルザーク
54	エンターティナー	ジョプリン
55	メヌエット　ト長調	バッハ
56	花のワルツ	チャイコフスキー
57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
58	美しく青きドナウ	ヨハン･シュトラウス
59	闘牛士の歌	ビゼー
60	ピチカート ポルカ	ヨハン･シュトラウス
61	ブラームスの子守歌	ブラームス
62	ワシントンポストマーチ	スーザ
63	アメリカン パトロール	ミーチャム
64	眠りの森の美女	チャイコフスキー
65	ガボット	ゴセック
66	軍隊行進曲	シューベルト
67	ジムノペディ　1番	サティ
68	前奏曲作品28-7	ショパン
69	皇帝円舞曲	ヨハン･シュトラウス
70	メープル リーフ ラグ	ジョプリン
71	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
72	びっくりシンフォニー	ハイドン
73	凱旋行進曲	ヴェルディ
74	エリーゼのために	ベートーベン
75	アヴェマリア	シューベルト
76	ハバネラ	ビゼー
77	ジプシーの歌	ビゼー
78	未完成交響曲	シューベルト
79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
80	婚礼の合唱	ワグナー
	クリスマスの曲（4曲）	
81	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
82	ジングルベル	ピアポント
83	もろ人こぞりて	讃美歌
84	きよしこの夜	グルーバー
	世界の民謡（4曲）	
85	フニクリフニクラ	デンツァ
86	こぎつね	ドイツ民謡
87	アニーローリー	スコットランド民謡
88	サンタルチア	ナポリ民謡

■ 別売コンサートマジック曲集について

「コンサートマジック曲集 Vol.2」では、本体に内蔵されている全コンサートマジック曲の演奏譜とメロディー譜を掲載しています。演奏譜はご自分で曲を演奏するときに、メロディー譜はコンサートマジックでのマジカルメロディーモード又はマジカルメロディー＆キーモードで演奏するときにご利用いただけます。ご注文方法など詳細は、付属の「楽譜集のご案内」をご覧ください。

送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
PIANO1					
コンサート グランド	1	0	1	121	0
スタジオ グランド	2	0	1	121	1
メロー グランド	3	0	1	121	2
モダン ピアノ	4	0	2	121	0
PIANO2					
コンサート グランド 2	5	0	1	95	16
スタジオ グランド 2	6	0	1	95	17
メロー グランド 2	7	0	1	95	18
ロック ピアノ	8	0	2	121	1
ELECTRIC PIANO					
クラシック E. ピアノ	9	0	5	121	0
モダン E. ピアノ	10	0	6	121	0
60'sエレクトリックピアノ	11	0	5	121	3
モダン E. ピアノ 2	12	0	6	121	1
ORGAN					
ジャズ オルガン	13	0	18	121	0
ブルース オルガン	14	0	17	121	0
バラード オルガン	15	0	17	95	5
ゴスペル オルガン	16	0	17	95	3
チャーチ オルガン	17	0	20	121	0
ディアパソン	18	0	20	95	7
フル アンサンブル	19	0	21	95	1
オクターブ ディアパソン	20	0	20	95	6
HARPSI&MALLETS					
ハープシコード	21	0	7	121	0
ハープシコード 2	22	0	7	121	3
ビブラホン	23	0	12	121	0
クラビ	24	0	8	121	0
STRINGS					
スロー ストリングス	25	0	45	95	1
ストリング パッド	26	0	49	95	8
ウォーム ストリングス	27	0	49	95	1
ストリング アンサンブル	28	0	49	121	0
CHOIR&PAD					
クワイア	29	0	53	121	0
クワイア 2	30	0	54	95	53
ニューエイジ	31	0	89	121	0
アトモスフィア	32	0	100	121	0
BASS					
ウッドベース	33	0	33	121	0
エレクトリックベース	34	0	34	121	0
フレットレス ベース	35	0	36	121	0
ウッドベース & ライド	36	0	33	95	1

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
OTHERS:PIANO					
ジャズ グランド	37	0	1	95	8
ニューエイジ ピアノ	38	0	1	95	9
ニューエイジ ピアノ 2	39	0	1	95	10
ニューエイジ ピアノ 3	40	0	1	95	11
オクターブ ピアノ	41	0	1	95	1
エレクトリック グランド	42	0	3	121	0
エレクトリック グランド2	43	0	3	121	1
ホンキートンク ピアノ	44	0	4	121	0
ワイドホンキートンクピアノ	45	0	4	121	1
OTHERS:E.PIANO					
ソフト エレクトリックピアノ	46	0	5	95	2
クリスタル E.ピアノ	47	0	6	95	1
トレモロエレクトリックピアノ	48	0	5	95	1
クラシック E. ピアノ 2	49	0	5	121	1
クラシック E. ピアノ 3	50	0	5	121	2
ニューエイジ E.ピアノ	51	0	6	95	2
モダン E. ピアノ 3	52	0	6	121	2
レジェンド E.ピアノ	53	0	6	121	3
フェイズ E.ピアノ	54	0	6	121	4
OTHERS:HARPSI&MALLET					
オクターブハープシコード	55	0	7	121	1
ワイド ハープシコード	56	0	7	121	2
シンセ クラビ	57	0	8	121	1
チェレスタ	58	0	9	121	0
グロッケン	59	0	10	121	0
ミュージックボックス	60	0	11	121	0
ワイド ビブラホン	61	0	12	121	1
マリンバ	62	0	13	121	0
ワイド マリンバ	63	0	13	121	1
シロホン	64	0	14	121	0
ハンドベル	65	0	15	95	1
チューブラベル	66	0	15	121	0
チャーチ ベル	67	0	15	121	1
カリロン	68	0	15	121	2
ダルシマー	69	0	16	121	0
OTHERS:DRAWBAR					
ドローバー オルガン	70	0	17	95	1
ドローバー オルガン 2	71	0	17	95	2
ドローバー オルガン 3	72	0	18	121	2
ドローバー オルガン 4	73	0	17	121	3
ドローバー オルガン 5	74	0	17	121	1
ドローバー オルガン 6	75	0	18	95	1
ソフト ソロ オルガン	76	0	17	95	8
エレクトロニック オルガン	77	0	17	95	9

送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
60's オルガン	78	0	17	121	2
パーカス オルガン	79	0	18	121	1
ティビア ベース	80	0	18	95	14
ロック オルガン	81	0	19	121	0
OTHERS:CHURCHORGAN					
オクターブ プリンシパル	82	0	20	95	24
シアター オルガン	83	0	20	95	1
8' セレステ	84	0	20	95	5
スモール アンサンブル	85	0	20	95	8
リーズ	86	0	20	95	10
パイプ&エアー	87	0	20	95	17
プリンシパル パイプ	88	0	20	95	22
チャーチ オルガン 2	89	0	20	121	1
チャーチ オルガン 3	90	0	20	121	2
リード オルガン	91	0	21	121	0
パフ オルガン	92	0	21	121	1
OTHERS:ACCORDION					
フレンチ アコーディオン	93	0	22	121	0
フレンチ アコーディオン 2	94	0	22	95	1
アコーディオン	95	0	22	121	1
アコーディオン 2	96	0	22	95	2
ブルース ハーモニカ	97	0	23	95	2
ハーモニカ	98	0	23	121	0
タンゴ アコーディオン	99	0	24	121	0
OTHERS:GUITAR					
フィンガー ナイロンギター	100	0	25	95	4
ナイロン ギター	101	0	25	121	0
ナイロン ギター 2	102	0	25	121	2
ナイロン ギター 3	103	0	25	121	3
ウクレレ	104	0	25	121	1
フォーク ギター	105	0	26	121	0
フォーク ギター 2	106	0	26	121	3
12 ゲン ギター	107	0	26	121	1
マンドリン	108	0	26	121	2
バラード ギター	109	0	26	95	6
ジャズ ギター	110	0	27	121	0
モダンジャズギター	111	0	27	95	10
ペダル スチール	112	0	27	121	1
リズム ギター	113	0	28	121	2
エレクトリック ギター	114	0	28	121	0
エレクトリック ギター 2	115	0	28	121	1
エレクトリック ギター 3	116	0	29	121	2
カッティング ギター	117	0	28	95	3
カッティング ギター 2	118	0	29	121	1
カッティング ギター 3	119	0	28	95	5

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
ミュート ギター	120	0	29	121	0
カントリー リード ギター	121	0	29	121	3
オーバードライブギター	122	0	30	121	0
ダイナミックOvドライブ	123	0	30	121	1
ディストーション ギター	124	0	31	121	0
ディスト フィードバック	125	0	31	121	1
ディスト リズム	126	0	31	121	2
E.ギターハーモニクス	127	0	32	121	0
ギター フィードバック	128	0	32	121	1
OTHERS:BASS					
ウッドベース 2	1	1	33	95	2
ウッドベース 3	2	1	33	95	4
ウッドベース 4	3	1	33	95	5
エレクトリックベース 2	4	1	34	95	5
エレクトリックベース 3	5	1	34	95	6
フィンガースラップベース	6	1	34	121	1
ピックベース	7	1	35	121	0
スラップベース	8	1	37	121	0
スラップベース 2	9	1	38	121	0
シンセ ベース	10	1	39	121	0
シンセ ベース 2	11	1	40	121	0
シンセ ベース 3	12	1	39	121	2
シンセ ベース 4	13	1	40	121	1
ウォーム シンセ ベース	14	1	39	121	1
クラビ ベース	15	1	39	121	3
ハンマーベース	16	1	39	121	4
ラバー ベース	17	1	40	121	2
アタック ベース	18	1	40	121	3
OTHERS:STRINGS&ORCHINST					
バイオリン	19	1	41	121	0
スロー バイオリン	20	1	41	121	1
ビオラ	21	1	42	121	0
チェロ	22	1	43	121	0
コントラバス	23	1	44	121	0
トレモロ ストリングス	24	1	45	121	0
ストリングス & ブラス	25	1	49	121	1
60's ストリングス	26	1	49	121	2
ストリングスフォルツァンド	27	1	49	95	9
ストリング アンサンブル2	28	1	50	121	0
シンセ ストリングス	29	1	51	121	0
シンセ ストリングス 2	30	1	52	121	0
シンセ ストリングス 3	31	1	51	121	1
ピチカット	32	1	46	121	0
ハープ	33	1	47	121	0
ケルティック ハープ	34	1	47	121	1
ティンパニー	35	1	48	121	0

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
OTHERS:CHOIR&HIT					
クワイア 3	36	1	53	121	1
ボイス ウー	37	1	54	121	0
ハミング	38	1	54	121	1
シンセ ボーカル	39	1	55	121	0
アナログ ボイス	40	1	55	121	1
オーケストラヒット	41	1	56	121	0
ベース ヒット プラス	42	1	56	121	1
6th ヒット	43	1	56	121	2
ユーロ ヒット	44	1	56	121	3
OTHERS:BRASS					
トランペット	45	1	57	121	0
ソロ トランペット	46	1	57	121	1
フリューゲル ホルン	47	1	57	95	1
センチメンタルトロンボーン	48	1	58	95	7
トロンボーン	49	1	58	121	0
トロンボーン 2	50	1	58	121	1
ブライト トロンボーン	51	1	58	121	2
チューバ	52	1	59	121	0
カップミュートトランペット	53	1	60	95	1
カップミュートトロンボーン	54	1	60	95	2
ミュート トランペット	55	1	60	121	0
ミュート トランペット 2	56	1	60	121	1
フレンチ ホルン	57	1	61	121	0
ウォーム フレンチ ホルン	58	1	61	121	1
ブラスセクション	59	1	62	121	0
ブラスセクション 2	60	1	62	121	1
シンセ ブラス	61	1	63	121	0
シンセ ブラス 2	62	1	64	121	0
シンセ ブラス 3	63	1	63	121	1
シンセ ブラス 4	64	1	64	121	1
ジャンプ ブラス	65	1	63	121	3
アナログ ブラス	66	1	63	121	2
アナログ ブラス 2	67	1	64	121	2
OTHERS:REED					
オーボエ & ストリングス	68	1	69	95	5
ソプラノ サックス	69	1	65	121	0
アルト サックス	70	1	66	121	0
ソフト テナー サックス	71	1	67	95	2
テナー サックス	72	1	67	121	0
バリトン サックス	73	1	68	121	0
オーボエ	74	1	69	121	0
イングリッシュホルン	75	1	70	121	0
バスーン	76	1	71	121	0
クラリネット	77	1	72	121	0

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
OTHERS:PIPE					
フルート & ストリングス	78	1	74	95	8
ピッコロ	79	1	73	121	0
ジャス フルート	80	1	74	95	1
ビッグバンドウインズ	81	1	74	95	2
オーケストラ ウインズ	82	1	74	95	3
フルート	83	1	74	121	0
バラード フルート	84	1	74	95	13
リコーダー	85	1	75	121	0
パンフルート	86	1	76	121	0
ブロウ ボトル	87	1	77	121	0
シャクハチ	88	1	78	121	0
ホイッスル	89	1	79	121	0
オカリナ	90	1	80	121	0
OTHERS:SYNTH LEAD					
スクエア リード1	91	1	81	121	0
スクエア リード2	92	1	81	121	1
サイン	93	1	81	121	2
クラシック シンセ	94	1	82	121	0
クラシック シンセ 2	95	1	82	121	1
リード	96	1	82	121	2
クラシック シンセ 3	97	1	82	121	3
シーケンス アナログ	98	1	82	121	4
カリオペ	99	1	83	121	0
チフ	100	1	84	121	0
チャラング	101	1	85	121	0
ワイアー リード	102	1	85	121	1
ボイス リード	103	1	86	121	0
フィフス リード	104	1	87	121	0
ベース & リード	105	1	88	121	0
ソフト ワイアー リード	106	1	88	121	1
OTHERS:SYNTH PAD					
ファンタジック クワイア	107	1	92	121	1
ニューエイジ 2	108	1	89	95	1
ニューエイジ 3	109	1	89	95	2
ニューエイジ 4	110	1	89	95	3
ウォーム パッド	111	1	90	121	0
サイン パッド	112	1	90	121	1
ブライトウォームパッド	113	1	90	95	1
ポリシンセ	114	1	91	121	0
クワイア パッド	115	1	92	121	0
ボウド パッド	116	1	93	121	0
メタリック パッド	117	1	94	121	0
ハロ パッド	118	1	95	121	0
スィープ パッド	119	1	96	121	0
マルチ スイープ	120	1	96	95	1

送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
OTHERS:SYNTH SFX					
レイン パッド	121	1	97	121	0
サウンドトラック	122	1	98	121	0
クリスタル	123	1	99	121	0
シンセ マレット	124	1	99	121	1
ブライトネス	125	1	101	121	0
ブライトネス 2	126	1	101	95	1
ゴブリン	127	1	102	121	0
エコーズ	128	1	103	121	0
エコー ベル	1	2	103	121	1
エコー パン	2	2	103	121	2
サイエンス フィクション	3	2	104	121	0
OTHERS:ETHNIC					
シタール	4	2	105	121	0
シタール 2	5	2	105	121	1
バンジョー	6	2	106	121	0
シャミセン	7	2	107	121	0
コト	8	2	108	121	0
タイショウゴト	9	2	108	121	1
カリンバ	10	2	109	121	0
バグパイプ	11	2	110	121	0
フィドル	12	2	111	121	0
シャナイ	13	2	112	121	0
OTHERS:PERCUSSION					
ティンクル ベル	14	2	113	121	0
アゴゴ	15	2	114	121	0
スチールドラム	16	2	115	121	0
ウッドブロック	17	2	116	121	0
カスタネット	18	2	116	121	1
タイコ	19	2	117	121	0
コンサート バスドラム	20	2	117	121	1
メロディック タム	21	2	118	121	0
メロディック タム 2	22	2	118	121	1
シンセ ドラム	23	2	119	121	0
リズム ボックス タム	24	2	119	121	1
エレクトリック ドラム	25	2	119	121	2
リバース シンバル	26	2	120	121	0
ギター フレット ノイズ	27	2	121	121	0
ギターカッティングノイズ	28	2	121	121	1
カッティングノイズ 2	29	2	121	95	1
ウッドベース スラップ	30	2	121	121	2
OTHERS:SFX					
ブレス ノイズ	31	2	122	121	0
フルート キークリック	32	2	122	121	1
ナミ	33	2	123	121	0

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
アメ	34	2	123	121	1
カミナリ	35	2	123	121	2
カゼ	36	2	123	121	3
オガワ	37	2	123	121	4
アワ	38	2	123	121	5
トリ	39	2	124	121	0
イヌ	40	2	124	121	1
ウマノヒヅメ	41	2	124	121	2
トリ 2	42	2	124	121	3
デンワ	43	2	125	121	0
デンワ 2	44	2	125	121	1
ドア	45	2	125	121	2
ドア 2	46	2	125	121	3
スクラッチ	47	2	125	121	4
ウインドチャイム	48	2	125	121	5
ヘリコプター	49	2	126	121	0
カー エンジン	50	2	126	121	1
カー ストップ	51	2	126	121	2
カー パス	52	2	126	121	3
カー クラッシュ	53	2	126	121	4
サイレン	54	2	126	121	5
キシャ	55	2	126	121	6
ジェットキ	56	2	126	121	7
ウチュウセン	57	2	126	121	8
バーストノイズ	58	2	126	121	9
ハクシュ	59	2	127	121	0
ワライゴエ	60	2	127	121	1
サケビゴエ	61	2	127	121	2
パンチ	62	2	127	121	3
シンゾウ	63	2	127	121	4
アシオト	64	2	127	121	5
ジュウセイ	65	2	128	121	0
マシンガン	66	2	128	121	1
レーザーガン	67	2	128	121	2
バクハツ	68	2	128	121	3
OTHERS:DRUMKIT					
スタンダード セット	69	2	1	120	0
ルーム セット	70	2	9	120	0
パワー セット	71	2	17	120	0
エレクトロニック セット	72	2	25	120	0
アナログ セット	73	2	26	120	0
ジャズ セット	74	2	33	120	0
ブラシ セット	75	2	41	120	0
オーケストラ セット	76	2	49	120	0
SFX セット	77	2	57	120	0

送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバーオン2の時			
	プログラムナンバー	バンクLSB	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB	
アンビエンス セット	78	2	1	120	0	*1
プラチナ セット	79	2	1	120	0	*2
バラード セット	80	2	1	120	0	*3

*1 プログラムチェンジメッセージの後に、エクスクルーシングメッセージ（F0, 40, 7F, 33, 04, 02, 10, ch, 7F, 02, F7）が必要です。
*2 プログラムチェンジメッセージの後に、エクスクルーシングメッセージ（F0, 40, 7F, 33, 04, 02, 10, ch, 7F, 04, F7）が必要です。
*3 プログラムチェンジメッセージの後に、エクスクルーシングメッセージ（F0, 40, 7F, 33, 04, 02, 10, ch, 7F, 05, F7）が必要です。
"ch"は、MIDIチャネルの番号です（00～0F）

ドラム音色一覧

		スタンダードセット	ルームセット	パワーセット	エレクトロニックセット
	C#				
	D				
	D#	High Q	High Q	High Q	High Q
	E	Slap	Slap	Slap	Slap
	F	Scratch Push	Scratch Push	Scratch Push	Scratch Push
	F#	Scratch Pull	Scratch Pull	Scratch Pull	Scratch Pull
	G	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks
	G#	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click
	A	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click
	A#	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell
	B	Acoustic Bass Drum	Acoustic Bass Drum	Acoustic Bass Drum	Acoustic Bass Drum
C1	C	Bass Drum 1	Bass Drum 1	Power Kick Drum	Electric Bass Drum
	C#	Side Stick	Side Stick	Side Stick	Side Stick
	D	Acoustic Snare	Acoustic Snare	Power Snare Drum	Electric Snare 1
	D#	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap
	E	Electric Snare	Electric Snare	Electric Snare	Electric Snare 2
	F	Low Floor Tom	Room Low Tom 2	Power Low Tom 2	Electric Low Tom 2
	F#	Closed Hi-hat	Closed Hi-hat	Closed Hi-hat	Closed Hi-hat
	G	High Floor Tom	Room Low Tom 1	Power Low Tom 1	Electric Low Tom 1
	G#	Pedal Hi-hat	Pedal Hi-hat	Pedal Hi-hat	Pedal Hi-hat
	A	Low Tom	Room Mid Tom 2	Power Mid Tom 2	Electric Mid Tom 2
	A#	Open Hi-hat	Open Hi-hat	Open Hi-hat	Open Hi-hat
	B	Low-Mid Tom	Room Mid Tom 1	Power Mid Tom 1	Electric Mid Tom 1
C2	C	High-Mid Tom	Room Hi Tom 2	Power Hi Tom 2	Electric Hi Tom 2
	C#	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1
	D	Hi Tom	Room Hi Tom 1	Power Hi Tom 1	Electric Hi Tom 1
	D#	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1
	E	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Reverse Cymbal
	F	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell
	F#	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine
	G	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal
	G#	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell
	A	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2
	A#	Vibra-slap	Vibra-slap	Vibra-slap	Vibra-slap
	B	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2
C3	C	High Bongo	High Bongo	High Bongo	High Bongo
	C#	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo
	D	Mute Hi Conga	Mute Hi Conga	Mute Hi Conga	Mute Hi Conga
	D#	Open Hi Conga	Open Hi Conga	Open Hi Conga	Analog Mid Conga
	E	Low Conga	Low Conga	Low Conga	Analog Low Conga
	F	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale
	F#	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale
	G	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo
	G#	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo
	A	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa
	A#	Maracas	Maracas	Maracas	Maracas
	B	Short Whistle	Short Whistle	Short Whistle	Short Whistle
C4	C	Long Whistle	Long Whistle	Long Whistle	Long Whistle
	C#	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro
	D	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro
	D#	Claves	Claves	Claves	Claves
	E	Hi Wood Block	Hi Wood Block	Hi Wood Block	Hi Wood Block
	F	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block
	F#	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica
	G	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica
	G#	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle
	A	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle
	A#	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker
	B	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell
C5	C	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree
	C#	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets
	D	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo
	D#	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo
	E				

ドラム音色一覧

		アナログセット	ジャズセット	ブラシセット	オーケストラセット
	C#				
	D				
	D#	High Q	High Q	High Q	Closed Hi-hat 2
	E	Slap	Slap	Slap	Pedal Hi-hat
	F	Scratch Push	Scratch Push	Scratch Push	Open Hi-hat 2
	F#	Scratch Pull	Scratch Pull	Scratch Pull	Ride Cymbal 1
	G	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks
	G#	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click
	A	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click
	A#	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell
	B	Acoustic Bass Drum	Jazz Kick 2	Jazz Kick 2	Concert BD 2
C1	C	Analog Bass Drum	Jazz Kick 1	Jazz Kick 1	Concert BD 1
	C#	Analog Rim Shot	Side Stick	Side Stick	Side Stick
	D	Analog Snare 1	Acoustic Snare	Brush Tap	Concert SD
	D#	Hand Clap	Hand Clap	Brush Slap	Castanets
	E	Electric Snare	Electric Snare	Brush Swirl	Concert SD
	F	Analog Low Tom 2	Low Floor Tom	Low Floor Tom	Timpani F
	F#	Analog CHH 1	Closed Hi-hat	Closed Hi-hat	Timpani F#
	G	Analog Low Tom 1	High Floor Tom	High Floor Tom	Timpani G
	G#	Analog CHH 2	Pedal Hi-hat	Pedal Hi-hat	Timpani G#
	A	Analog Mid Tom 2	Low Tom	Low Tom	Timpani A
	A#	Analog OHH	Open Hi-hat	Open Hi-hat	Timpani A#
	B	Analog Mid Tom 1	Low-Mid Tom	Low-Mid Tom	Timpani B
C2	C	Analog Hi Tom 2	High-Mid Tom	High-Mid Tom	Timani c
	C#	Analog Cymbal	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Timppani c#
	D	Analog Hi Tom 1	Hi Tom	Hi Tom	Timpani d
	D#	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Timpani d#
	E	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Timpani e
	F	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Timpani f
	F#	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine
	G	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal
	G#	Analog Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell
	A	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Concert Cymbal 2
	A#	Vibra-slap	Vibra-slap	Vibra-slap	Vibra-slap
	B	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Concert Cymbal 1
C3	C	High Bongo	High Bongo	High Bongo	High Bongo
	C#	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo
	D	Analog Hi Conga	Mute Hi Conga	Mute Hi Conga	Mute Hi Conga
	D#	Analog Mid Conga	Open Hi Conga	Open Hi Conga	Open Hi Conga
	E	Analog Low Conga	Low Conga	Low Conga	Low Conga
	F	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale
	F#	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale
	G	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo
	G#	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo
	A	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa
	A#	Analog Maracas	Maracas	Maracas	Maracas
	B	Short Whistle	Short Whistle	Short Whistle	Short Whistle
C4	C	Long Whistle	Long Whistle	Long Whistle	Long Whistle
	C#	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro
	D	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro
	D#	Analog Claves	Claves	Claves	Claves
	E	Hi Wood Block	Hi Wood Block	Hi Wood Block	Hi Wood Block
	F	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block
	F#	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica
	G	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica
	G#	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle
	A	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle
	A#	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker
	B	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell
C5	C	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree
	C#	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets
	D	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo
	D#	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo
	E				Applause

		SFXセット	アンビエンスセット	プラチナセット	バラードセット
	C#		Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll
	D		Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap
	D#		High Q	High Q	High Q
	E		Slap	Slap	Slap
	F		Scratch Push	Scratch Push	Scratch Push
	F#		Scratch Pull	Scratch Pull	Scratch Pull
	G		Sticks	Sticks	Sticks
	G#		Square Click	Square Click	Square Click
	A		Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click
	A#		Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell
	B		Ambi BD2	Plat BD2	Bala BD2
C1	C		Ambi BD1	Plat BD1	Bala BD1
	C#		Ambi Rim	Plat Rim	Plat Rim
	D		Ambi SD1	Plat SD1	Bala SD1
	D#	High Q	Ambi Clap	Ambi Clap	Ambi Clap
	E	Slap	Ambi SD2	Plat SD2	Bala SD2
	F	Scratch Push	AmbiLowTom2	FunkLowTom2	FunkLowTom2
	F#	Scratch Pull	Ambi HHC	Funk HHC	Funk HHC
	G	Sticks	AmbiLowTom1	FunkLowTom1	FunkLowTom1
	G#	Square Click	Ambi HHP	Funk HHP	Funk HHP
	A	Metronome Click	AmbiMidTom2	FunkMidTom2	FunkMidTom2
	A#	Metronome Bell	Ambi HHO	Funk HHO	Funk HHO
	B	Guitar Fret Noise	AmbiMidTom1	FunkMidTom1	FunkMidTom1
C2	C	Guitar Cutting Noise Up	AmbiHiTom2	FunkHiTom2	FunkHiTom2
	C#	Guitar Cutting Noise Down	Ambi Crash1	Funk Crash1	Ambi Crash1
	D	String Slap of Double Bass	AmbiHiTom1	FunkHiTom1	FunkHiTom1
	D#	Fl. Key Click	Ambi Ride1	Ambi Ride1	Ambi Ride1
	E	Laughing	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal
	F	Scream	Ambi Cup	Ambi Cup	Ambi Cup
	F#	Punch	Tambourlne	Tambourlne	Tambourlne
	G	Heart Beat	Funk Splash	Funk Splash	Funk Splash
	G#	Footsteps 1	Cowbell	Cowbell	Cowbell
	A	Footsteps 2	Funk Crash2	Funk Crash2	Funk Crash2
	A#	Applause	Vibra slap	Vibra slap	Vibra slap
	B	Door Creaking	Ambi Ride2	Ambi Ride2	Ambi Ride2
C3	C	Door	Hi Bongo	Hi Bongo	Hi Bongo
	C#	Scratch	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo
	D	Wind Chimes	Mute Hi Conga	Mute Hi Conga	Mute Hi Conga
	D#	Car-Engine	Hi Conga	Hi Conga	Hi Conga
	E	Car-Stop	Low Conga	Low Conga	Low Conga
	F	Car-Pass	Hi Timbale	Hi Timbale	Hi Timbale
	F#	Car-Crash	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale
	G	Siren	Hi Agogo	Hi Agogo	Hi Agogo
	G#	Train	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo
	A	Jetplane	Cabasa	Cabasa	Cabasa
	A#	Helicoopter	Maracas	Maracas	Maracas
	B	Startship	Short Whistle	Short Whistle	Short Whistle
C4	C	Gun Shot	Long Whistle	Long Whistle	Long Whistle
	C#	Machine Gun	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro
	D	Lasergun	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro
	D#	Explosion	Claves	Claves	Claves
	E	Dog	Hi Wood Blk	Hi Wood Blk	Hi Wood Blk
	F	Horse-Gallop	Low Wood Blk	Low Wood Blk	Low Wood Blk
	F#	Birds	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica
	G	Rain	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica
	G#	Thunder	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle
	A	Wind	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle
	A#	Seashore	Shaker	Shaker	Shaker
	B	Stream	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell
C5	C	Bubble	Bar Chimes	Bar Chimes	Bar Chimes
	C#		Castanets	Castanets	Castanets
	D		Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo
	D#		Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo
	E				

リズム一覧

No.	リズム名
1	8ビート 1
2	8ビート 2
3	8ビート 3
4	16ビート 1
5	16ビート 2
6	16ビート 3
7	16ビート 4
8	16ビート 5
9	16ビート 6
10	ロック ビート 1
11	ロック ビート 2
12	ロック ビート 3
13	ハード ロック
14	ヘヴィ ビート
15	サーフ ロック
16	2ndライン
17	50ウェイズ
18	バラード 1
19	バラード 2
20	バラード 3
21	バラード 4
22	バラード 5
23	ライト ライド 1
24	ライト ライド 2
25	スムース ビート
26	リム ビート
27	スロー ジャム
28	ポップ 1
29	ポップ 2
30	エレクトロ ポップ 1
31	エレクトロ ポップ 2
32	ライド ビート 1
33	ライド ビート 2
34	ライド ビート 3
35	ライド ビート 4
36	スリップ ビート
37	ジャズ ロック
38	ファンキー ビート 1
39	ファンキー ビート 2
40	ファンキー ビート 3
41	ファンキー 1
42	ファンキー 2
43	ファンキー 3
44	ファンク シャッフル 1
45	ファンク シャッフル 2
46	バズ ビート
47	ディスコ 1
48	ディスコ 2
49	ヒップ ホップ 1
50	ヒップ ホップ 2

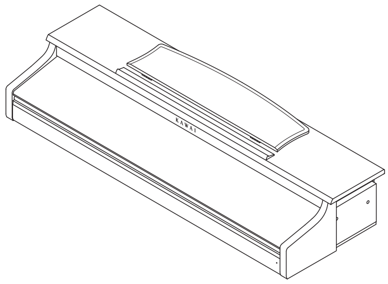
No.	リズム名
51	ヒップ ホップ 3
52	ヒップ ホップ 4
53	テクノ 1
54	テクノ 2
55	テクノ 3
56	ヘヴィ テクノ
57	8シャッフル 1
58	8シャッフル 2
59	8シャッフル 3
60	ブギ
61	16シャッフル 1
62	16シャッフル 2
63	16シャッフル 3
64	Tシャッフル
65	トリプレット 1
66	トリプレット 2
67	トリプレット 3
68	トリプレット 4
69	トリプレット バラード 1
70	トリプレット バラード 2
71	トリプレット バラード 3
72	モータウン 1
73	モータウン 2
74	ライド スウィング
75	H.H. スウィング
76	ジャズ ワルツ 1
77	ジャズ ワルツ 2
78	5/4スウィング
79	タム スウィング
80	ファースト 4ビート
81	H.H. ボサノバ
82	ライド ボサノバ
83	ビギン
84	マンボ
85	チャ チャ
86	サンバ
87	ライト サンバ
88	スルド サンバ
89	ラテン グルーブ
90	アフロ キューバン
91	ソンゴ
92	ベンベ
93	アフリカン ベンベ
94	メレンゲ
95	レゲエ
96	タンゴ
97	ハバネラ
98	ワルツ
99	ラグタイム
100	カントリー&ウエスタン

CN34の組み立て方

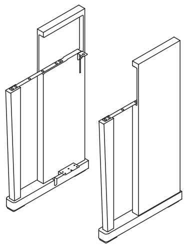
組立作業は必ず2人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

■ 部品の確認

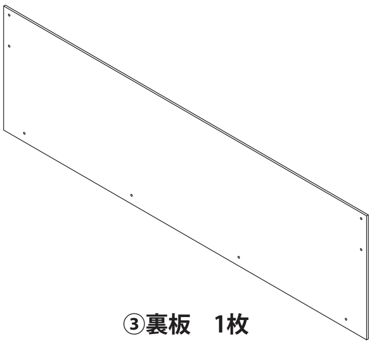
組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、＋ドライバーをご用意下さい。



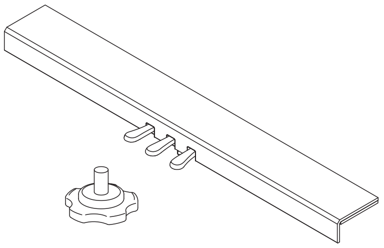
①本体



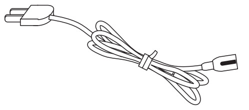
②側板　2枚（左右）



③裏板　1枚

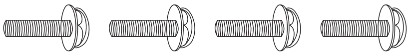


④ペダル土台　1個／ペダルアジャスター　1個



⑤電源コード　1本

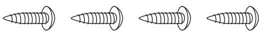
⑥ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）　4本



⑦タッピングネジ（黒長）4本

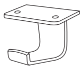
⑧タッピングネジ（黒中）4本

⑨タッピングネジ（銀短）4本



⑩ヘッドホンフックセット　1セット

ヘッドホンフック



ヘッドホンフック取付ネジ
φ4×14(２本)

付録

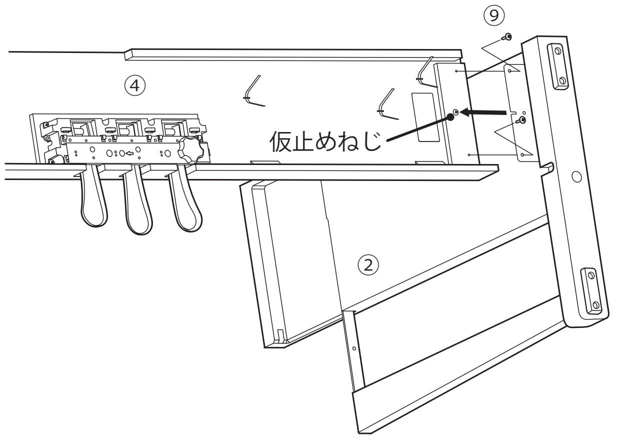
次のページへ→

1.「②側板」と「④ペダル土台、アジャスター」を組み立てる

「④ペダル土台」に結ばれているペダル接続コード（1箇所のみ）をほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

「④ペダル土台」に仮止めされているネジを側板の金属の溝にはめ込み、「②側板」とペダル土台をぴったりと押しあてて仮止めねじを締めます。「②側板」は、左右あるので組み合わせに注意してください。残りのネジ穴に先の尖った銀色のネジ⑨で固定します。

ここがポイント！
・側板（左／右）とペダル土台をしっかり密着させて下さい。

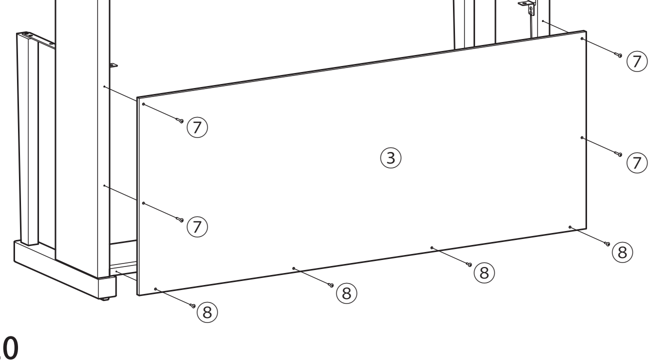


2.「③裏板」を固定する

ペダル土台を下向きにして起こします。

このとき、床に楽譜や部品がないことを確認ください。

「③裏板」を「②側板」に取り付けます。「⑦タッピングネジ（黒長）」で裏板上部を固定します。次に４本の「⑧タッピングネジ（黒中）」で下部を固定します。この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。

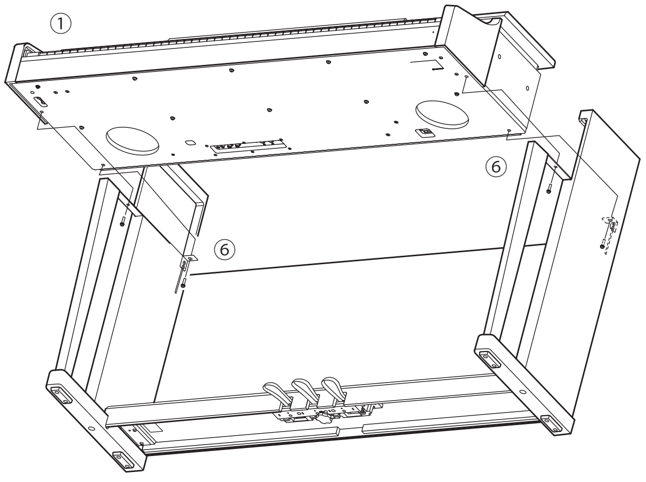


3.「①本体」と「②側板」を組み合わせる

組み立てた側板を壁にそわせ、スタンドが後ろに動かないようにし、２人以上で十分注意しながら、「①本体」をゆっくりスライドして入れます（側板を壁に沿わせずに「①本体」を挿入する場合は、側板が後方に動かないよう、足で押さえながら作業してください）。

本体とスタンドの間で手をはさまないよう注意してください。

本体と側板を「⑥ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）」4本で固定します。
まず、ネジを軽く締めて、４本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。この時、スプリングワッシャーがつぶれるまでしっかり締めてください。

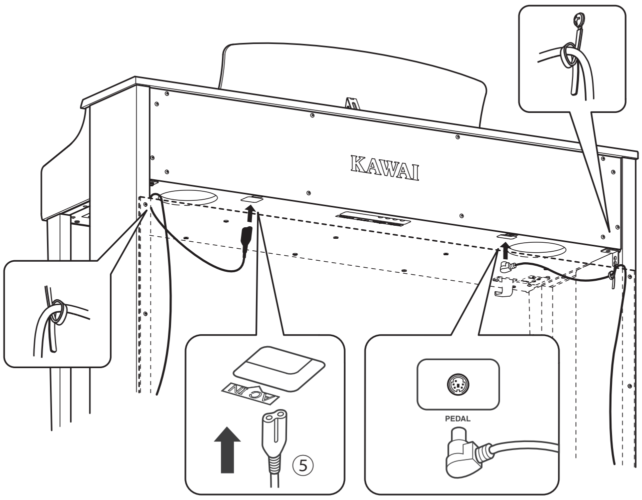


付録

4. コード類を接続する

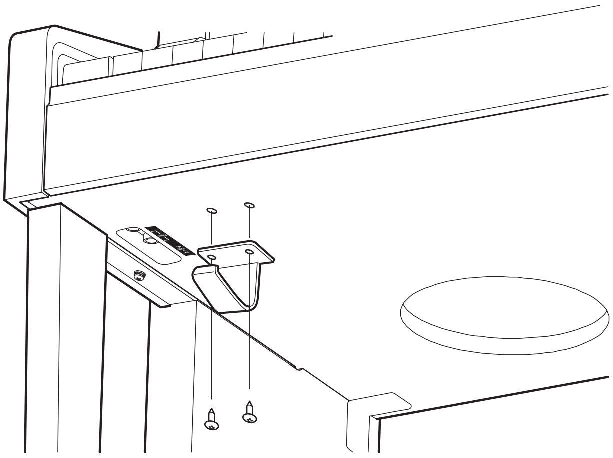
ペダル土台から出ているペダル接続コードを本体のペダル端子に差し込み、コードが適当な位置になるような場所にコード類をコードクランプで固定します。「⑤電源コード」の端子をAC INに差込み、裏板上の隙間よりプラグを後ろに通してください。

ここがポイント！
- **端子部の向きに注意して下さい。**
- **コネクターはまっすぐ差し込んで下さい。無理に押し込むと故障の 原因になります。**



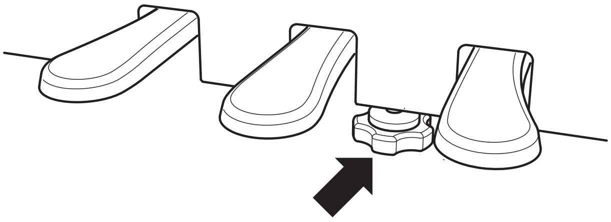
5. ヘッドホンフックを取り付ける

ヘッドホンフックは同じ袋に入っている２本のタッピングネジで図の穴に固定してください。



6. アジャスターを回す

ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。



アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。
尚、移動の際は、引きずらないで、必ず床から持ち上げて移動してください。

付録

主な仕様

鍵盤		88鍵　レスポンシブ・ハンマー・アクションII（RH II） アイボリータッチ、レットオフフィール
音源		プログレッシブ・ハーモニック・イメージング（PHI）　88鍵ステレオサンプリング
音色	324音色 +12ドラムセット：	PIANO1：4音色 PIANO2：4音色 ELECTRIC PIANO：4音色 ORGAN：8音色 HARPSI&MALLETS：4音色 STRINGS：4音色 CHOIR&PAD：4音色 BASS：4音色 OTHERS：300音色（12ドラムセット含む）
同時発音数		最大256音（音色により異なる）
演奏モード		デュアル、スプリット、4ハンズ（連弾演奏）　*音量バランス調整可
リバーブ	タイプ：	ルーム、ラウンジ、スモールホール、コンサートホール、ライブホール、カテドラル
エフェクト	タイプ：	ステレオディレイ、ピンポンディレイ、トリプルディレイ、コーラス、クラシックコーラス、トレモロ、クラシックトレモロ、フェイザー、ロータリー1、ロータリー2、ロータリー3、 コンビネーションエフェクトx2
コンサートチューナー	ピアノエフェクト：	ダンパーレゾナンス、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、キーアクションノイズ
	音律設定：	平均律（ピアノ）、純正律〈長調/短調〉、ピタゴラス音律、中全音律、ヴェルクマイスター第III法、 キルンベルガー第III法、平均律（フラット）、平均律（ストレッチ）、音律の主音
タッチカーブ		ライト+、ライト、ノーマル、ヘビー、ヘビー+、オフ
内部レコーダー		2パート x 3ソング、総記憶音数　約90,000音
USBファンクション	再生：	MP3（ビットレート：8k〜320kbps、サンプリング周波数：44.1kHz，48kHz，32kHz）、 WAV（44.1kHz、16bit）、SMF
	録音：	MP3（ビットレート：192kbps固定、サンプリング周波数：44.1kHz）、 WAV（44.1kHz，16bit）、SMF
	その他：	オーディオ変換、内部ソング セーブ/ロード、SMF セーブ、レジストレーション セーブ/ロード、 ファイルリネーム、ファイルデリート、フォーマット
メトロノーム		1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類、　*ボリューム/テンポ調整可
レッスン曲	281曲：	バイエル（126）、ブルクミュラー25（25）、チェルニー100（100）、チェルニー30（30）
デモ曲		全31曲
コンサートマジック		全88曲
その他機能		キー/ソングトランスポーズ、イコライザー、スピーカーボリューム、ヘッドホンボリューム、ラインアウトボリューム、 オーディオ録音レベル、チューニング、ダンパーホールド、4ハンズ、ユーザーメモリー、ファクトリーリセット、 ロワーオクターブシフト、ロワーペダル、レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、MIDIチャンネル、 プログラムナンバー送信、ローカルコントロール、プログラムチェンジ送信のON/OFF、マルチティンバーモード、 チャンネルミュート、オートパワーオフ、
ペダル		ダンパー（ハーフペダル対応）、ソフト、ソステヌート
キーカバー		スライド式
譜面台		可倒式（角度調整機能：3段階）
ディスプレイ		16 文字 x 2 行　液晶ディスプレイ（LCD）
外部端子		ヘッドホン（2系統）、MIDI（IN，OUT）、USB端子（TO HOST，TO DEVICE）、LINE OUT（L/MONO，R）、LINE IN（L/MONO，R）
スピーカー	スピーカー：	16cm x 2
	出力：	20 W x 2
定格電圧		AC100V，50/60Hz
消費電力		30 W
寸法		138.5（W）x 47.5（D）x 89.5（H）cm　（譜面台を倒した状態）
重量		55 kg
同梱品		本体 / スタンド / 木製高低自在椅子 / 電源コード / 取扱説明書（本書）/ ヘッドホン / ヘッドホンフック / スタンド組立図 / 保証書 /カワイデジタルピアノ ユーザー登録のご案内 / アフターサービスと音楽教室のご案内 / 楽譜集のご案内 / 「コンサートマジック曲集」注文払込用紙

MIDIエクスクルーシブデータ一覧

1st バイト	2nd バイト	3rd バイト	4th バイト	5th バイト	6th バイト	7th バイト	8th バイト	9th バイト	10th バイト
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

バイト	ID	説明
1	F0	エクスクルーシブ・ステータス
2	40	KAWAI ID ナンバー
3	00 - 0F	MIDI チャンネル
4	10, 30	ファンクションナンバー（30：マルチティンバーオン / オフ）
5	04	電子ピアノ ID
6	02	CA/CN モデル ID
7	データ 1	下表参照
8	データ 2	
9	データ 3	
10	F7	エンド・オブ・エクスクルーシブ

データ 1	データ 2	データ 3	機能
00	00	-	マルチティンバーオフ
01	00	-	マルチティンバーオン 1
02	00	-	マルチティンバーオン 2
0F	00 - 7F	-	スプリットポイント
14	00 - 7F	-	デュアル / スプリットバランス
16	1F - 60	-	チューニング 40=440Hz
17	00, 7F	-	00：プログラムチェンジオフ、7F：プログラムチェンジオン
18	00 - 05	-	00：ライト、01：ノーマル、02：ヘビー、03：オフ、04：ライト +、05：ヘビー +
19	00 - 03	-	ロワーオクターブシフト
20	00 - 7F	00 - 7F	デュアル、データ 2：主音色、データ 3：レイヤー音色
21	00 - 7F	00 - 7F	スプリット、データ 2：アッパー音色、データ 3：ロワー音色
22	00 - 7F	00 -7F	4 ハンズ、データ 2：アッパー音色、データ 3：ロワー音色
25	00 - 08	00 - 0B	データ 2：音律、データ 3：音律の主音
26	00, 7F	00 - 0F	マルチティンバー、データ 2：00（オン）、7F（オフ）、データ 3：チャンネル
27	00-02	00-02	デュアル時、データ 2：主音色のバンク LSB、データ 3：レイヤー音色のバンク LSB スプリット時、データ 2：アッパー音色のバンク LSB、データ 3：ロワー音色のバンク LSB

MIDIインプリメンテーションチャート

◇KAWAI［Model CN34］MIDIインプリメンテーションチャート

Date：June 2012 Version：1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシックチャンネル	電源 ON 時	1	1	
	設定可能	1 - 16	1 - 16	
モード	電源 ON 時	モード 3	モード 1	電源 ON 時オムニオン。MIDI チャンネル設定操作によりオムニオフ。
	メッセージ	×	モード 1, 3	
	代用	*********	×	
ノートナンバー		9 - 120**	0 - 127	** トランスポーズ設定範囲を含みます。
	音域	*********	0 - 127	
ベロシティ	ノート・オン	○	○	
	ノート・オフ	○	○	
アフタータッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	○	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロールチェンジ	0,32	×	○	バンクセレクト *1
	1	×	○	モジュレーションデプス
	5	×	○	ポルタメントタイム
	6,38	×	○	データエントリー
	7	○	○	ボリューム
	10	×	○	パンポット
	11	×	○	エクスプレッション
	64	○（右ペダル）	○	ダンパー
	65	×	○	ポルタメント
	66	○（中ペダル）	○	ソステヌート
	67	○（左ペダル）	○	ソフトペダル
	71	×	○	フィルターレゾナンス
	72	×	○	リリースタイム
	73	×	○	アタックタイム
	74	×	○	ブライトネス
	75	×	○	ディケイタイム
	76	×	○	ビブラートレイト
	77	×	○	ビブラートデプス
	78	×	○	ビブラートディレイ
	91	○	○	リバーブセンドレベル
	93	○	○	コーラスセンドレベル
	100,101	×	○	RPN の LSB/MSB
プログラムチェンジ		○ 0-127	○	*1
	設定可能範囲	*********		
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	オールサウンドオフ	×	○（120）	
	リセットオールコントローラー	×	○（121）	
	ローカル ON/OFF	×	○	
	オールノートオフ	×	○（123-127）	
	アクティブセンシング	×	○	
	リセット	×	×	
備　考		*1 プログラムチェンジ対応表参照		

モード 1：オムニオン、ポリ　　モード 2：オムニオン、モノ　　○：あり
モード 3：オムニオフ、ポリ　　モード 4：オムニオフ、モノ　　×：なし

付録

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665　浜 松 市 中 区 寺 島 町200番 地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
h t t p : / / w w w . k a w a i . c o . j p /

■ お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jpの「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

817582
KPSZ-0550 R101
Printed in Indonesia

©2012（株）河合楽器製作所
本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。
2012 年 6 月発行